

添付資料

## 目 次

添付資料－1 美浜発電所 第3号機 第27保全サイクル 保全計画

添付資料－2 美浜発電所 第3号機 設計の経年化評価（内的事象）

添付資料－1 美浜発電所 第3号機 第27保全サイクル 保全計画

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等について、「美浜発電所 第3号機 第27保全サイクル 保全計画」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

美浜発電所

第3号機

第27保全サイクル

保全計画

### 添付書類三 施設管理の実施に関する計画

## 目 次

1.	施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間	1
2.	発電用原子炉施設の工事の方法及び時期	1
3.	発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期	2
4.	発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置	2

別紙：点検計画（第27保全サイクル）

別図：定期事業者検査時の安全管理の計画

別表：長期施設管理方針実施状況総括

## 1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第27回定期事業者検査開始日から第28回定期事業者検査開始日の前日までの期間（第27回定期事業者検査終了日以降13ヶ月までの間（※））とし、以降、この期間を第27保全サイクルという。

ただし、この期間内に第28回定期事業者検査を開始した場合には、その前日までの期間とする。

※：第27回定期事業者検査終了日以降13ヶ月までの間を『実運転期間』という。

## 2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期

### （1）工事の計画

a. 火災感知器追加設置工事：設計及び工事計画認可申請

#### ○工事概要

新火災防護基準バックフィット対応として、火災区域に対し、異なる種類の火災感知器を消防法に準じた箇所に設置する。

#### ○予定時期

2019年2月～2024年1月

b. 電線管耐火隔壁他設置工事：設計及び工事計画認可申請

#### ○工事概要

火災防護対象ケーブルの系統分離対策を実施する。

#### ○予定時期

2023年6月～2024年1月

c. 1次系試料採取系統配管取替工事

#### ○工事概要

大飯3号機原子炉格納容器内の漏えい事象（H17.3）に鑑み、1次系試料採取系統の小口径配管の接続部について、信頼性向上の観点より、カップリング溶接式継手から、突合せ溶接式継手の配管に取り替える。

#### ○予定時期

第27回定期事業者検査期間中

d. 抽出水オリフィス取替工事

#### ○工事概要

余熱除去系統の信頼性向上の観点より、プラント起動時に化学体積制御系統を用いた一次冷却材系統の圧力調整が実施できるよう、当該系統の抽出水オリフィスを口径の大きいものに取り替える。

#### ○予定時期

第27回定期事業者検査期間中

### 3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期

#### (1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「美浜発電所 保修業務所則（平成15美原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「美浜発電所 土木建築業務所則（平成19美原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。※

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」等に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・安全性向上評価
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

### 4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査に伴う停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。※

また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特にない。

別紙

## 点 檢 計 画

(第27保全サイクル)

## 点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

### (1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a.定期事業者検査の対象となる設備

b.実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a)防護具、現地操作時に用いる工具類

(b)一般消耗品（電池類他）

(c)一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

②保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a.安全機能の重要度が高い設備

b.供給信頼性重要度が高い設備

c.リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

### (2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

・定期事業者検査に係る点検

・定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検

・定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検

・記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備<sup>※1</sup>の点検等）については、「美浜発電所 保修業務所則（平成15美原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」及び「美浜発電所 土木建築業務所則（平成19美原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

$$\left. \begin{array}{l} \text{潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、} \\ \text{レデューサ、フローグラス 等} \end{array} \right\}$$

### (3) 保全の重要度について

「グレード分け通達（平成18原品証通達第2号）」等の考え方従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定、事後保全は選定していない。

### (4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・事後保全を採用しているもの：BM

### (5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間（総合負荷性能検査～解列）に応じた値を示している。  
また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
- ・供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」<sup>※2</sup>表記している。なお、回転機器（ポンプ、ファン等）等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
- ・これ以外で性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」<sup>※2</sup>により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検がプラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
- ・機能・性能試験の結果等を踏まえて適宜実施する点検については、「X」により表記している。

**※2**：「B」、「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検や定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“定期事業者検査起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備は備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。
- ・状態監視技術のうち振動診断の頻度については、年度におけるデータ採取回数を「M」表示となるよう平均し記載している。

なお、第27保全サイクル中に点検を計画するものについては、「点検計画」に「○」<sup>※3</sup>を記載している。

また、「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）<sup>※4</sup>も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、最新実績を記載している。

点検計画 目次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/41
【炉心】	
【原子炉容器】	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/41
【燃料取扱設備】	
【使用済燃料貯蔵設備】	
【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】	
【燃料取替用水設備】	
原子炉冷却系統施設	3/41
【一次冷却材の循環設備】	
【主蒸気・主給水設備】	
【余熱除去設備】	
【非常用炉心冷却設備】	
【化学体積制御設備】	
【蒸気タービンの附属設備】	
【原子炉補機冷却設備】	
【原子炉補機冷却海水設備】	
【原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置】	
計測制御系統施設	11/41
【制御材】	
【制御棒駆動装置】	
【ほう酸注入機能を有する設備】	
【工学的安全施設等の作動信号】	
【制御用空気設備】	
【その他設備】	
放射性廃棄物の廃棄施設	14/41
【気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備】	
【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	
【原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置】	
放射線管理施設	19/41
【放射線管理用計測装置】	
【換気設備】	
【生体遮蔽装置】	
【その他設備】	

機器又は系統名	ページ
原子炉格納施設	27/41
【原子炉格納容器】	
【圧力低減設備その他の安全設備】	
原子力設備	31/41
【その他設備】	
原子力設備・タービン設備	31/41
【その他設備】	
蒸気タービン	32/41
【車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸】	
【調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁】	
【復水器】	
【蒸気タービンに附属する熱交換器】	
【蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備】	
【蒸気タービンに附属する管等】	
【その他設備】	
その他発電用原子炉の附属施設	38/41
【補助ボイラー】	
【非常用電源設備】	
【他の電源装置】	
【常用電源設備】	
【火災防護設備】	
【浸水防護設備】	
【補機駆動用燃料設備】	
【非常用取水設備】	
土木建築設備	41/41
プラント総合	41/41
全般機器	41/41

別表-1：クラス1機器供用期間中検査7年計画

別表-2：クラス2機器供用期間中検査10年計画

別表-3：クラス3機器供用期間中検査10年計画

別表-4：クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査7年計画

別表-5：クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査7年計画

別表-6：原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

別表-7：重大事故等クラス1機器供用期間中検査10年計画

別表-8：重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別表-9：重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

別表-10：クラス1配管特別検査計画

## 1. 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する 設備診断技術)
原子炉本体 [炉心]	照射燃料集合体 照射燃料集合体(取出燃料) 1. 燃料集合体 2. 内部物 (1) 制御棒 クラスター (2) バーナブルボイズン (3) ブラギングテバイス (4) 2 次中性子源	※1式 ※1式 157本 ※1式	1. 外観点検 1. 外観点検(炉内配置) 1. 外観点検(炉内配置)	HF HF HF	○ ○ ○	26回 26回 26回	燃料集合体外観検査 ※炉心設計による 燃料集合体内配置検査 ※炉心設計による
原子炉本体のうち炉心							
原子炉容器 [原子炉容器]	原子炉容器	1. 開放点検	高	HF	○	26回	定期事業者検査記動後 定期事業者検査起動後
核燃料質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	燃料移送装置	1. 機能・性能試験 (0万シガ・フルム) 2. 機能・性能試験 3. 簡易点検(点検手入)	高 HF HF	○ ○ ○	26回 26回 26回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	
燃料取扱クレーン	1台	1. 機能・性能試験 2. 機能・性能試験 3. 簡易点検(点検手入)	高 HF HF	○ ○ ○	26回 26回 26回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	先行実施(A/B側)
燃料ヒットクレーン	1台	1. 機能・性能試験 2. 機能・性能試験 3. 簡易点検(点検手入)	高・低 HF HF	○ ○ ○	26回 26回 26回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	
新燃料エレベーター	1台	1. 機能・性能試験 2. 機能・性能試験 3. 簡易点検(点検手入)	高 HF HF	○ ○ ○	26回 26回 26回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	先行実施
補助建屋クレーン	1台	1. 機能・性能試験 2. 機能・性能試験 3. 簡易点検(点検手入)	高 HF HF	○ ○ ○	26回 26回 26回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	年次点検 先行実施
燃料取扱工具	3台	1. 外観点検 1. 外観点検	低 HF HF	○ ○ ○	26回 26回 26回	燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等) 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	先行実施
制御棒取扱装置	1台	1. 分解点検他 1. 外観点検	高 低 低	○ ○ ○	13M~169M 63M~169M —	燃料取扱設備検査(使用済燃料取扱工 具) 燃料取扱設備検査(使用済燃料取扱工 具)	※: 使用の都度(前)実施 先行実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵設備〕	使用済燃料ビット温度 1台	1.特性能試験 1.特性試験 1.特性試験	高 高 高	13M 13M 13M	○ ○ ○	26回 26回 26回	計測制御系緊急機能検査 計測制御系監視機能検査 計測制御系監視機能検査
可搬型専用済燃料ビット水位 2台	1.特性能試験 1.特性試験	高 高	13M 13M	○ ○	26回 26回	プラント状態監視設備機能検査 プラント状態監視設備機能検査	
使用済燃料ビット温度(AM用) 1台	1.特性能試験 1.特性試験	高 高	13M 13M	○ ○	26回 26回	プラント状態監視設備機能検査 プラント状態監視設備機能検査	
使用済燃料ビット水位(伝感) 1台	1.機能・性能試験 1.機能・性能試験	高 高	13M 13M	○ ○	26回 26回	一部先行実施	
使用済燃料ビットエリア監視カメラ 1台	1.機能・性能試験 1.機能・性能試験 1.機能・性能試験(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.分解点検(電動機) 3.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 低 高 130W 130W 13M	13M 1F — — — ○	○ ○ — — — ○	26回 26回 25回 25回 26回	可搬型重大事故等対処設備機能検査 使用済燃料潤滑合剤浄化系機能検査 先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却净化設備〕	使用済燃料ビットポンプ・電動機 A燃料ビットポンプ・電動機 B燃料ビットポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機) 3.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 高 高	130W 130W 13M	— — ○	25回 25回 26回	先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)
送水車 大容量ポンプ(放水砲用)	1.機能・性能試験 2.外観点検 1.機能・性能試験 2.分解点検	高 高 高 10Y	1Y — ○ —	○ — ○ —	26回 26回 26回 —	可搬型重大事故等対処設備機能検査 先行実施	
燃料ビットフィルタ A 燃料ビットクーラ	1.開放点検 2.非破壊試験 1.開放点検 2.非破壊試験	高 低 高 低	130M 195M 195M 195M	— — — —	25回 25回 25回 —	可搬型重大事故等対処設備機能検査 先行実施	
B 燃料ビットクーラ	1.開放点検 2.非破壊試験 1.開放点検 2.非破壊試験	高 低 高 低	10M~260M 10M~260M 130M~195M 130M~195M	○ ○ ○ ○	26回 26回 26回 26回	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査	先行実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使用済燃料貯蔵槽冷却净化設備」その他機器 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使用済燃料貯蔵槽冷却净化設備」その他機器 取換用海水設備	1.分解点検 1.分解点検他 1.分解点検他 2.簡易点検(グランンドベッキン取替)	高 高 低 —	13M~169M 13M~169M 13M~169M —	○ ○ ○ —	26回 26回 26回 —	1次系逆止弁検査 1次系逆止弁検査 1次系逆止弁検査 —	先行実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取換用海水設備〕	A 燃料取替用海水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替)	高 高 高 高	B※ 130M 52M 13M B※	— — — —	25回 24回 25回 26回	1次系ポンプ機能検査 先行実施 (振動診断: 6M)
B 燃料取替用海水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(ポンプ)	高 高 高 高	130M 52M 13M B※	— — — —	26回 26回 25回 26回	1次系ポンプ機能検査 先行実施 (振動診断: 6M)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「燃料取換用海水設備」その他機器	3.簡易点検(グランンドベッキン取替)	高	39M~195M	—	23回	1次系安全弁検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「燃料取換用海水設備」その他機器	1.分解点検他 1.分解点検他	高 低	13M~195M 53M~169M	○ —	26回 22回	1次系空気破壊弁検査 1次系逆止弁検査	
					26回	1次系弁検査	

機器又は系統名 原子炉冷却系流路設備 〔一次冷却材の循環設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施時期 (定検回次)		検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
				前回実施時期 (計画) 26回	前回実施時期 (定検回次)		
A 蒸気発生器 〔一次冷却材の循環設備〕	伝熱管 3379本	1.非破壊試験	高	26M	—	蒸気発生器伝熱管点検	
	1.開放点検	高	13M	○	26回		
	2.開放点検 (スラッシュラン シング)	高	13M	○	26回		
	1.簡易点検 (ガスケット取 替他)	高	13M	○	26回		
	1.非破壊試験	高	26M	—	26回	蒸気発生器伝熱管点検	
B 蒸気発生器	伝熱管 3382本	1.開放点検	高	13M	○	26回	
	2.開放点検	高	13M	○	26回		
	1.簡易点検 (スラッシュラン シング)	高	13M	○	26回		
	1.簡易点検 (ガスケット取 替他)	高	13M	○	26回		
	1.非破壊試験	高	26M	○	25回	蒸気発生器伝熱管点検	
C 蒸気発生器	伝熱管 3382本	1.開放点検	高	13M	○	26回	
	2.開放点検	高	13M	○	26回		
	2.簡易点検 (スラッシュラン シング)	高	26M	—	26回	保全の有効性評価結果No.1の反映	
	1.簡易点検 (ガスケット取 替他)	高	13M	○	26回		
	1.機能・性能試験	高	IF	○	26回	加圧器安全弁機能検査	
	2.漏えい試験	高	B	○	26回	加圧器安全弁漏えい検査	
	3.分解点検	高	13M	○	26回	加圧器安全弁分解検査	
	1.機能・性能試験 (駆動部含む)	高	IF	○	26回	加圧器過がし弁機能検査	
加圧器安全弁	3個	1.漏えい試験	高	IF	○	26回	加圧器過がし弁漏えい検査
	2.分解点検	高	26M	—	26回	加圧器過がし弁分解検査	
	3PCV-444A	1.漏えい試験	高	IF	○	26回	加圧器過がし弁漏えい検査
	2.分解点検	高	26M	—	26回	加圧器過がし弁分解検査	
加圧器過がし弁駆動部	2個	1.分解点検	高	13M	○	26回	加圧器過がし弁元弁機能検査
加圧器過がし弁人口止弁	2個	1.機能・性能試験 (駆動部含む)	高	IF	○	26回	加圧器過がし弁元弁機能検査
	1.分解点検	高	13M	—	26回	加圧器過がし弁分解検査	
	2.分解点検 (グランドベッキ ン取替)	高	65M	—	25回		
	1.分解点検	高	13M	—	25回		
	2.分解点検 (グランドベッキ ン取替)	高	65M	—	25回		
加圧器過がし弁入口止弁駆動部	2個	1.分解点検	高	156M	—	25回	
A 冷却材ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	IF	○	26回	1次冷却材ポンプ機能検査
	2.分解点検 (ポンプ)	130M	—	23回			
	3.分解点検 (オカニカル シール)	13M	○	26回	1次冷却材ポンプシール分 解検査		
	4.分解点検 (フライホイー ル)	10M	—	26回			
	5.分解点検 (軸受点検) (電動機)	52M	—	26回			
	6.分解点検 (全分解) (電 動機)	10M	—	26回			
	7.簡易点検 (潤滑油入替 他)	13M	○	26回			

機器又は系統名 〔一次冷却材の循環設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画 (定検回次)	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
B冷却材ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(メカニカルシール) 4.分解点検(ライホイール)(電動機) 5.分解点検(軸受点検) 6.分解点検(全分解)(電動機) 7.簡易点検(潤滑油入替) 8.簡易点検(電動機)	高 130M 13M 10M 52M 10M 13M	1F ○ ○ — — — ○	26回 — 26回 — 26回 — 26回	1次冷却材ポンプ機能検査 1次冷却材ポンプメカニカルシール分 解検査 —	一部定期事業者検査起動後
C冷却材ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(メカニカルシール) 4.分解点検(ライホイール)(電動機) 5.分解点検(軸受点検) 6.分解点検(全分解)(電動機) 7.簡易点検(潤滑油入替) 8.簡易点検(電動機)	高 7M 13M 10M 52M 10M 13M	1F ○ ○ — — — ○	26回 — 26回 — 26回 — 26回	1次冷却材ポンプ機能検査 1次冷却材ポンプメカニカルシール分 解検査 —	一部定期事業者検査起動後
加圧器		1.開閉点検 2.簡易点検(マンホールガガット取替)	高 13M 13M	○ ○	26回 26回	—	—
原子炉冷却系統施設「一次冷却材の循環設備」その他弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(グランドベッキン取替)	高・低 B — B	26M~260M 26M~195M	○ ○	1次系逆止弁検査 1次系弁検査 —	—
原子炉冷却系統施設「一次冷却材の循環設備」その他の弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性点検)	高・低 B — B	13M~65M 13M~65M	○ ○	26回 26回	1次系弁検査 —
原子炉冷却系統施設「一次冷却材の循環設備」その他の弁	1式	1.分解点検他 2.分解点検他 3.簡易点検(特性点検)	高 32M~195M 30M~195M 13M~65M	○ ○ ○	26回 26回 26回	1次系弁検査 —	1次系弁検査 —
原子炉冷却系統施設「一次冷却材の循環設備」その他の弁	主蒸気安全弁	1.機能・性能試験 2.漏えい試験 3.分解点検	高 1F B 26M	○ — —	26回 26回 26回	主蒸気安全弁機能検査 主蒸気安全弁漏えい検査 —	主蒸気安全弁漏えい検査 —
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕							

機器又は系統名 〔原子炉冷却系施設 〔主蒸気・主給水設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画		前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 〔内面適用する 設備診断技術〕
				IF	B			
主蒸気安全弁	3MS-525A 3MS-525B 3MS-525C 3MS-526A 3MS-526B 3MS-526C 3MS-527A 3MS-527B 3MS-527C	1.機能・性能試験 2.漏えい試験 3.分解点検	高	○	○	26回 25回	主蒸気安全弁機能検査 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気逃がし弁	3個	1.機能・性能試験(駆動部 含む) 2.漏えい試験 3.分解点検	高	IF	○	26回 26回 26回	主蒸気逃がし弁機能検査 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
主蒸気逃がし弁駆動部	3個	1.分解点検	高	13M	○	26回		
主蒸気隔離弁	3個	1.機能・性能試験(駆動部 含む) 2.分解点検	高	IF	○	26回 —	主蒸気隔離弁機能検査 主蒸気隔離弁漏えい検査	
主蒸気隔離弁駆動部	3個	1.分解点検 2.簡易点検(特性点検)	高	26M	○	26回 —	2次系弁検査	
タービンバイパス弁	3個	1.機能・性能試験(駆動部 含む) 2.分解点検 3.簡易点検(特性点検)	高	13M	○	26回 —	タービンバイパス弁機能検査	
タービンバイパス弁駆動部	3個	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性点検)	高	52M	—	26回 —	2次系弁検査	
原子炉冷却系施設「主蒸気・主給水設 備」その他の中の弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(グランンドバシ キン取替)	高	39M～195M	○	26回 —	2次系弁検査 2次系弁検査	先行実施
原子炉冷却系施設「主蒸気・主給水設 備」その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性点検)	高	52M～195M	○	26回 —	2次系弁検査	
原子炉冷却系施設「主蒸気・主給水設 備」その他の弁	1式	1.分解点検他 2.分解点検(ポンプ)	低	13M～260M	○	26回 —	2次系弁検査	一部開閉あり
A余熱除去ボンブ・電動機		3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替)	高	38M～260M	○	25回 —	1次系ボンブ機能検査 非常用ポンプ機能検査	〔振動診断「電動機」：1M〕 保全の有効性評価結果No. 3の反映
B余熱除去ボンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替)	高	130M 130M 130M 26M	— — — ○	25回 25回 25回 25回	1次系ボンブ機能検査 非常用ポンプ機能検査 その他の原子炉往水系ポンプ分解検査	〔振動診断「電動機」：1M〕 保全の有効性評価結果No. 3の反映

機器又は系統名 〔余熱除去設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施時期 (定検回次)		検査名	備考 〔内は適用する 設備診断技術〕
				前回実施時期 (定検回次)	計画		
A 余熱除去クーラー		1.開放点検	高	130M	—	25回	
		2.非破壊試験	高	130M	—	25回	1次系熱交換器検査
B 余熱除去クーラー		1.開放点検	高	130M	—	25回	
		2.非破壊試験	高	130M	—	25回	1次系熱交換器検査
低圧注入系主要弁	3V-8935A	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3V-8935B	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3V-8973A	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3V-8973B	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3V-8973C	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
原子炉冷却系系統施設「余熱除去設備」その他の弁		1.機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系安全弁検査
		2.分解点検	39M～195M	○	26回	1次系逆止弁検査	
		3.簡易点検(グランドベッキシ取替)	52M～195M	○	26回	1次系弁検査	
原子炉冷却系系統施設「余熱除去設備」その他の弁駆動部		1.機能・性能試験	高	B	○	25回	1次系弁検査
		2.分解点検(特性点検)	52M～156M	○	25回		
		3.簡易点検(特性点検)	13M	○	26回		
原子炉冷却系系統施設「余熱除去設備」その他の機器		1.分解点検他	高	78M～195M	—	26回	非常用炉心冷却系構造検査
高压及び低圧注入系 (余熱除去設備(低圧注入機能)を含む) 〔非常用炉心冷却設備〕		1.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	26回	その他原子炉注入水系機能検査
A 光てん／高圧注入ポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ)	高	117M	—	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (振動診断: 3M)
		2.分解点検(電動機)	78M	—	25回		
		3.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	13M	○	26回		
		4.簡易点検(潤滑油入替) (電動機)	26M	○	25回		
B 充てん／高圧注入ポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ)	高	117M	—	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (振動診断: 3M)
		2.分解点検(電動機)	78M	—	25回		
		3.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	13M	○	26回		
		4.簡易点検(潤滑油入替) (電動機)	26M	—	26回		
C 充てん／高圧注入ポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ)	高	117M	—	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (振動診断: 3M)
		2.分解点検(電動機)	78M	—	25回		
		3.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	13M	○	26回		
		4.簡易点検(潤滑油入替) (電動機)	26M	○	25回		

機器又は系統名 [非常用炉心冷却設備]	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系施設 高圧注入系主要弁	3M0Y-8803A	1.分解点検	高	65M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3M0Y-8803B	1.分解点検	高	65M	—	25回	その他の原子炉注入水系機能検査
	3M0Y-8801A	1.分解点検	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3M0Y-8801B	1.分解点検	高	130M	—	19回	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査
	3I-CV-115D	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-CV-115E	1.分解点検	高	130M	—	25回	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査
	3I-8937A	1.分解点検	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8937B	1.分解点検	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8937C	1.分解点検	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8939A	1.分解点検	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8939B	1.分解点検	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8939C	1.分解点検	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8940A	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8940B	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8940C	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8942A	1.分解点検	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8942B	1.分解点検	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8942C	1.分解点検	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8944A	1.分解点検	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8944B	1.分解点検	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8944C	1.分解点検	高	260M	—	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8945A	1.分解点検	高	130M	○	25回	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査
	3I-8945B	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8945C	1.分解点検	高	130M	—	25回	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査
	1式	2.簡易点検(グランドベック) (シングル)	高	65M~130M	○	25回	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査
高圧注入系主要弁駆動部 蓄圧注入系	1式	1.分解点検	高	150M	—	22回	非常用炉心冷却系機能検査
		1.構造・性能試験(弁駆動 部含む)	高	1F	○	26回	その他の原子炉注入水系機能検査
	3M0Y-8808A	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3M0Y-8808B	1.分解点検	高	130M	—	25回	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査
	3M0Y-8808C	1.分解点検	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8948A	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8948B	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
	3I-8948C	1.分解点検	高	130M	—	25回	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査

機器又は系統名 [非常用炉心冷却設備]	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系流路 [非常用炉心冷却設備]	番号注入系主要弁 3V-8956A 3V-8956B 3V-8956C 1式	1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 3.簡易点検(グランドベシ キン取替)	高 高 高 高	130M 130M 130M 65M	— ○ — —	25回 25回 25回 25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査
番号注入系主要弁駆動部 A アキュムレータ B アキュムレータ C アキュムレータ	1式	1.分解点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.外観点検 1.外観点検	高 高 高 高 高 高 高 高	156M 130M 130M 130M 130M 130M 1F 10Y	— — — — — — — —	25回 24回 24回 24回 24回 24回 26回 25回	
原子炉冷却系流路 [非常用炉心冷却設備] 原子炉冷却系流路 [非常用炉心冷却設備]	1式 1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(グランドベシ キン取替) 1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性点検) 1.分解点検他 1.分解点検他 1.機能・性能試験	高・低 — — 高・低 — — 高 低 高	B 39M～260M 52M～195M B 52M～156M 52M 78M～195M 13M～195M 1F	○ ○ ○ ○ ○ ○ — ○ ○	26回 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査 26回 26回 26回 26回 26回 26回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査 振動診断[充てん／高压注入ポンプ補助油ポンプ用電動機, 充てん／高压注入ポンプ単速機] ; 3M 一部PMあり 一部先行実施 [対象設備] A,B低压注入系 A,B高压注入系(海水冷却) A,B,C充てん系 C充てん系(自己冷却)
原子炉冷却系流路 [非常用炉心冷却設備] 原子炉冷却系流路 [非常用炉心冷却設備]	1式 1式	1.機能・性能試験 3.簡易点検(特性点検) 1.分解点検他 1.分解点検他 1.機能・性能試験	— — — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	
その他原子炉注入水系 恒設代替低圧注入系	1台	1.機能・性能試験 (ポンプ・電動機含む)	高	1F	○	26回	その他原子炉注入水系機能検査
恒設代替低圧注入水ポンプ・電動機	1台	1.試運転 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(滑溜油入替) (ポンプ)	高 — — —	26M 130M 130M 26M	— — — —	26回 — — — 26回	(振動診断 : 1M)
原子炉下部キャビティ注入水ポンプ・電動機	1台	1.試運転 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(滑溜油入替) (ポンプ)	高 — — —	26M 130M 130M 26M	○ — — ○	— — — —	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 (振動診断 : 1M)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画 (前回実施時期 (定検回次))	検査名	( ) 内は適用する 備考 (設備診断技術)
		機能・性能試験	機能・性能試験				
原子炉冷却系施設 〔非常用炉心冷却設備〕	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	3台	1. 機能・性能試験 2. 作動確認 3. 分解点検 4. 潤滑油補給 (電動機)	高 3M 10Y 1Y	1Y ○ ○ —	26回 26回 —	可搬型重へ事故等対応設備機能検査 定期事業者検査定期後
	化学体積制御系 体積制御ダンク		1. 開放点検 2. 非破壊試験 (潜合ひ)	高 高 高	1F 130M 130M	○ — —	化学体積制御系機能検査 1次系交換器検査
	冶釣材フィルタ 非再生クーラ		1. 開放点検(ガスケット取 替含む) 2. 非破壊試験	高 高	130M 130M	— —	1次系交換器検査 1次系安全弁検査
	原子炉冷却系系統施設「化学体積制御設備」	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(グランンドベシ キン取替)	高 高 13M~195M	B ○	○ 26回 26回	1次系安全弁検査 1次系弁検査
原子炉冷却却系系統施設「化学体積制御設備」 その他の弁		1. 分解点検 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性点検)	高 高 13M~195M	○ ○ ○	— — —	23回 23回 26回	1次系弁検査 1次系弁検査
	原子炉冷却却系系統施設「化学体積制御設備」 その他の弁駆動部	1式	1. 分解点検 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性点検)	高 高 13M~78M	○ ○ ○	26回 26回 26回	1次系弁検査 1次系弁検査
		1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 低	26M~195M 13M~195M	○ ○	26回 26回	一部先行実施 一部先行実施
原子炉冷却却系系統施設「化学体積制御設備」 その他機器 補助給水系		1. 機能・性能試験(ポンプ、 電動機、原動機、弁、駆動 部等含む)	高 高	1F 130M	○ —	26回 25回	補助給水系機能検査 補助給水系ポンプ分解検査 (振動診断: ±1M)
	A 電動補助給水ポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) 4. 簡易点検(潤滑油入替)	高 78M 13M 26M	○ — ○ ○	26回 25回 26回 25回	補助給水系ポンプ分解検査 補助給水系ポンプ分解検査 (振動診断: ±1M)
	B 電動補助給水ポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) 4. 簡易点検(潤滑油入替)	高 78M 13M 26M	○ — ○ —	25回 25回 26回 26回	補助給水系ポンプ分解検査 補助給水系ポンプ分解検査 (振動診断: ±1M)
	タービン動補助給水ポンプ		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(潤滑油入替)	高 52M 13M	○ — ○	25回 25回 26回	2次系ポンプ機機能検査 補助給水系ポンプ分解検査 (振動診断: ±1M)
原子炉冷却却系系統施設「蒸気タービンの附属 設備」 〔その他の弁〕		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(グランンドベシ キン取替)	高 52M~195M 195M	B — —	25回 — —	2次系弁検査 2次系安全弁検査	1次系弁検査 (振動診断: ±1M)
	原子炉冷却却系施設「蒸気タービンの附属 設備」 〔その他の弁駆動部 設備〕	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性点検)	高 52M 13M	— ○ ○	25回 26回 26回	2次系安全弁検査 2次系安全弁検査
	原子炉冷却却系施設「蒸気タービンの附属 設備」 〔その他機器〕	1式	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 低	13M~260M 65M~195M	○ —	26回 26回

機器又は系統名 〔原子炉補機冷却設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画 回次	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考	
							( ) 内は適用する 設備診断技術	
A-1 次系冷却水ポンプ・電動機 〔原子炉補機冷却設備〕	原子炉補機冷却系	1.機能・性能試験(弁駆動 部等含む)	高	1F ○	26回	原子炉補機冷却系機能検査	(振動診断: 6M)	
B-1 次系冷却水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 78M 130M 13M ○	○ ○ — ○	25回 25回 25回 26回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M)	
C-1 次系冷却水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 78M 130M 13M ○	— — — ○	25回 25回 25回 26回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M)	
D-1 次系冷却水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 78M 130M 13M ○	— — — ○	25回 25回 25回 26回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M)	
1次系冷却水タック		1.開放点検 2.非破壊試験	高 — — — —	— — — —	26回 26回 26回 26回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M)	
A-1 次系冷却水クーラー		1.開放点検	高 — — — —	— — — —	26回 26回 26回 26回	1次系熱交換器検査	(振動診断: 6M)	
B-1 次系冷却水クーラー		1.開放点検 2.非破壊試験	高 — — — —	— — — —	26回 26回 26回 26回	1次系熱交換器検査	(振動診断: 6M)	
C-1 次系冷却水クーラー		1.開放点検 2.非破壊試験	高 — — — —	— — — —	26回 26回 26回 26回	1次系熱交換器検査	(振動診断: 6M)	
原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却水設備」その他弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検	高・低 — — — —	— — — —	26回 26回 26回 26回	1次系安全弁検査 1次系真空吸殻弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	(振動診断: 6M)	
原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却水設備」その他弁駆動部		3.簡易点検(グラシンドバッジ キン取替)	— — — —	— — — —	26回 26回 26回 26回	1次系弁検査	(振動診断: 6M)	
原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却水設備」その他機器	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性点検)	高・低 — — —	— — —	25回 25回 25回	1次系弁検査	(振動診断: 6M)	
その他AM(代替補機合羽、格納容器自然 対流冷却)機器		1.分解点検他 1.分解点検他	高 — — — —	— — — —	26回 26回 26回 26回	1次系弁検査	一部BMあり	
大容量ポンプ	3台	1.機能・性能試験 2.分解点検	高 — — — —	— — — —	26回 26回 26回 26回	可搬型重大事故等対処設備機能検査 先行実施	(振動診断: 6M)	
可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	2台	1.機能・性能試験	高 — — — —	— — — —	26回 26回 26回 26回		(振動診断: 6M)	

機器又は系統名 〔原子炉補機冷却海水設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画 回次	検査名		備考 〔設備診断技術〕 ( ) 内は適用する
					前回実施時期 (定検回次)	原子炉補機冷却系機能検査	
A 海水ポンプ・電動機	原子炉補機冷却海水系 〔原子炉補機冷却海水設備〕	1.機能・性能試験(弁駆動 部含む)	高	1F ○	26回	○	(振動診断「電動機」: 2M) 保全の有効性評価結果No. 6の反映 (ボンブ)
B 海水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(グランドベッ キン取替)(ボンブ)	高 52M 52M 26M	B ○ ○ ○	26回 26回 26回 26回	2次系ボンブ機能検査 2次系ボンブ分解検査	(振動診断「電動機」: 2M) 保全の有効性評価結果No. 6の反映 (ボンブ)
C 海水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(グランドベッ キン取替)(ボンブ)	高 52M 52M 26M	B ○ ○ ○	26回 26回 26回 26回	2次系ボンブ機能検査 2次系ボンブ分解検査	(振動診断「電動機」: 2M) 保全の有効性評価結果No. 6の反映 (ボンブ)
D 海水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(グランドベッ キン取替)(ボンブ)	高 52M 52M 26M	B ○ ○ ○	26回 26回 26回 26回	2次系ボンブ機能検査 2次系ボンブ分解検査	(振動診断「電動機」: 2M) 保全の有効性評価結果No. 6の反映 (ボンブ)
原子炉冷却系施設「原子炉補機冷却海水」式 [設備] その他の弁		1.機能・性能試験 2.分解点検	高・低 13M~130M	B ○	25回 26回	1次系弁検査 1次系弁検査	保全の有効性評価結果No. 7の反映
原子炉冷却系施設「原子炉補機冷却海水」式 [設備] その他の弁駆動部		1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性点検)	高 65M~156M 39M~65M	B ○ ○	26回 26回 26回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	
原子炉冷却系施設「原子炉補機冷却海水」式 [設備] その他の機器		1.分解点検他	高 13M~130M	○	26回	格納容器サンプル水位上昇率測定装置及 び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい 検出器機能検査	
原子炉冷却系施設 〔原予炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置〕	格納容器サンプル水位上昇率測定装置及び格 納容器内凝縮液量測定装置 設定器 伝送器	1.特性試験 2.機能・性能試験	低 13M	○ ○	26回 26回	格納容器サンプル水位上昇率測定装置及 び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい 検出器機能検査	
計測制御系統施設 〔制御棒〕		1.制御棒クラスター 2.バーナブルボイズン 3.ブランダーバイス 4.2次中性子源	※1式 ※1式 ※1式 ※1式	1F 1F 1F 1F	○ ○ ○ ○	制御棒クラスター検査 制御棒クラスター検査 制御棒クラスター検査 制御棒クラスター検査	※制心設計による ※制心設計による ※制心設計による ※制心設計による

機器又は系統名 計測制御系統施設 〔制御機動装置〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
A 制御棒駆動装置MGセット・電動機	48本	1.機能・性能試験 2.分解点検(発電機) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (発電機)	高 高 高 高	1F B 52M 52M 13M	○ — — — ○	26回 26回 25回 26回 26回	制御棒駆動系機能検査 制御棒クラスタ動作検査 (振動診断: 3M)
B 制御棒駆動装置MGセット・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(発電機) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (発電機)	高 高 高 高	B 52M 52M 13M	— — — ○	26回 25回 26回 26回	(振動診断: 3M)
計測制御系統施設 〔ほう酸注入機能を有する設備〕		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 高 高 高	B 39M 52M 13M	— — — ○	26回 26回 25回 26回	ほう酸ポンプ機能検査 ほう酸ポンプ分解検査 (振動診断: 4M)
B1 ほう酸ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 高 高 高	B 39M 52M 13M	— — — ○	25回 25回 25回 26回	ほう酸ポンプ機能検査 ほう酸ポンプ分解検査 (振動診断: 4M)
C ほう酸ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 高 高 高	B 39M 52M 13M	— — — ○	25回 25回 25回 26回	ほう酸ポンプ機能検査 ほう酸ポンプ分解検査 (振動診断: 4M)
A - 1 次系純水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 高 高 高	B 39M 52M 13M	○ — — ○	25回 25回 25回 26回	1次系ポンプ機能検査 1次系ポンプ分解検査 (振動診断: 5M)
B - 1 次系純水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 高 高 高	B 39M 52M 13M	○ — — ○	25回 25回 25回 26回	1次系ポンプ機能検査 1次系ポンプ分解検査 (振動診断: 5M)
A ほう酸タンク		1.開放点検 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 高 高 高	130M 39M 13M	○ — — ○	22回 23回 25回 26回	
B ほう酸タンク		1.開放点検 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 高 高 高	130M 130M 130M 130M	○ — — ○	22回 24回 25回 25回	
1次系純水タンク		1.開放点検 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 高 高 高	130M 130M 130M 130M	— — — —	24回 25回 25回 25回	1次系真空破壊弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査
ほう酸フィルタ		1.開放点検 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 高 高 高	39M~260M 39M~260M 39M~260M 39M~260M	— — — —	25回 25回 25回 25回	1次系真空破壊弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査
計測制御系統施設「ほう酸注入機能を有する設備」その他の弁	1式	1.分解点検 2.簡易点検(グランンドバッキン取替)	高 高	195M 63M~195M	— ○	25回 25回	
計測制御系統施設「ほう酸注入機能を有する設備」その他機器	1式	1.分解点検他 1.分解点検他	低 高	39M~195M 39M~195M	○ ○	26回 26回	一部則あり

機器又は系統名 計測制御系統施設 〔工学的安全施設等の作動信号〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
A TWS 緩和設備 〔力学的安全施設等の作動信号〕	1式	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	高	1F ○	26回	重大事故時安全停止回路機能検査	
計測制御系統施設 〔制御用空気圧縮機〕	2台	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他(圧縮機) 3. 簡易点検	高 13M CBM	1F ○ — ○	26回 26回 25回	重大事故時安全停止回路機能検査 制御用空気圧縮系機械検査	(振動診断「電動機」: 2M)
計器用空気圧縮機・電動機		1. 分解点検(電動機) 2. 分解点検(電動機)	高	13M CBM	○ —		(振動診断「電動機」: 2M)
B 計器用空気圧縮機・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(クラントドバッキン取替)	高 B 高	13M CBM —	○ — —		
計測制御系統施設「制御用空気設備」その他の弁	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検 3. 簡易点検	高 高 高	52M~260M 130M~195M 10M~260M	○ — —	1次系逆止弁検査	保全の有効性評価結果No. 8の反映
計測制御系統施設「制御用空気設備」その他機器		1. 分解点検他 1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験	高 高 高	13M~234M 1F 1F	○ ○ ○	26回	保全の有効性評価結果No. 9の反映
代替制御用空気供給設備	1式	1. 特性試験	高	13M	○	26回	
1. 安全炉保護系ロジック回路	33回路						
2. 安全炉保護系ロジック回路	26回路						
1. 原子炉格納容器等を用いたためのすべての伝送器、設定器及び保護離線電器 (1) 1次冷却材等計測装置 (2) 設定器(保護離線電器含む)	78個 141個 20個	1. 特性試験 2. 現場における重要な指示計器 ・ 1次冷却材等計測装置 ・ 現場指示計 ・ 核計測装置 現場指示計	高	13M	○	26回	安全保護系設定値確認検査
2. 現場における重要な指示計器 現場指示計 ・ 1次冷却材等計測装置 現場指示計 ・ 核計測装置	13個 2個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	安全保護系設定値確認検査
1. 事故時監視計測器 圧力監視計測器 水位監視計測器 流量監視計測器 温度監視計測器	2個 3個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	プラント状態監視設備機能検査
2. 事故時監視計測器 事故時監視計測装置	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	プラント状態監視設備機能検査
1. 制御機制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	1式	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	高・低 13M —	1F ○	— 26回	計測制御系機能検査	一部定期事業者検査起動後
1. 1次系計測制御装置 2. 2次系計測制御装置	1式	1. 特性試験	高・低	13M CBM	○	26回	計測制御系監視機能検査
炉外核計測装置 中性子源領域計測装置 中間領域計測装置 出力領域計測装置	2個 2個 3個	1. 特性試験	高	13M CBM	○	26回	核計測設備検査
炉内計測装置 制御棒位置指示装置	5個	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 1. 特性試験	高 13M CBM	1F ○ — ○	26回 26回 — 26回	核計測設備検査 制御棒位置指示装置設定期検査	一部定期事業者検査起動後
炉内計測用シンブルチューブ	50本	1. 非破壊試験	高 39M	—	25回	炉内計測用シンブルチューブ体積検査	
1. 安全炉保護系ロジック回路 2. 安全炉保護系ロジック開通	3回路 3回路	1. 機能・性能試験	高 1F	○	26回	安全保護系機能検査(ハーミシシプロジック検査)	

機器又は系統名 計測制御系統施設 〔その他設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
総合インターロック トリップ検査によるタービン、発電機 2.タービントリップによる原子炉、発電機 トリップ検査 3.発電機トリップによる原子炉、タービン トリップ検査	1式	1.機能・性能試験	IF 高	○	26回	総合インターロック検査	
中央制御室外原子炉停止装置補機操作回路 計測制御系統施設〔その他設備〕その他の 弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(グランドベシ キン取替)	IF 高・低 39M～195M 130M～195M	○ ○ ○	26回 — 25回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
計測制御系統施設〔その他設備〕その他の 弁駆動部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性点検)	IF 高 65M 65M	— ○ ○	25回 25回 25回		
計測制御系統施設〔その他設備〕その他の 器	1式	1.特性試験他 1.特性試験他	IF 低 13M～195M 13M～52M	○ <td>26回 ○</td> <td>26回</td> <td>一部先行実施 一部PMあり</td>	26回 ○	26回	一部先行実施 一部PMあり
恒設代替低注水ポンプ出口流量積算 原子炉水位	1個	1.特性試験	高 高 13M	○ <td>26回 ○</td> <td>26回</td> <td>プラント状態監視設備機能検査</td>	26回 ○	26回	プラント状態監視設備機能検査
1次系冷却水タンク水位	1個	1.特性試験	高 高 13M	○ <td>26回 ○</td> <td>26回</td> <td>プラント状態監視設備機能検査</td>	26回 ○	26回	プラント状態監視設備機能検査
可搬型格納容器内海水濃度計測装置	2個	1.特性試験	高 高 13M	○ <td>26回</td> <td>計測制御系統監視機能検査</td> <td></td>	26回	計測制御系統監視機能検査	
1次系冷却水タンク加圧ライン圧力 格納容器スプレイ噴霧流量	2個	1.特性試験	高 高 13M	○ <td>26回</td> <td>計測制御系統監視機能検査</td> <td></td>	26回	計測制御系統監視機能検査	
原子炉下部キャビティ水位 原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口流量	1対	1.機能・性能試験	IF IF 13M	○ <td>26回 ○<td>26回</td><td>プラント状態監視設備機能検査</td></td>	26回 ○ <td>26回</td> <td>プラント状態監視設備機能検査</td>	26回	プラント状態監視設備機能検査
可搬型格納容器ガス試料正確装置 可搬型温度計測装置(格納容器再循環エ ニット入口温度/出口温度(S.A))	2台	1.特性試験 1.機能・性能試験 1.特性試験	IF IF 13M	○ <td>26回 ○<td>26回</td><td>計測制御系統監視機能検査</td></td>	26回 ○ <td>26回</td> <td>計測制御系統監視機能検査</td>	26回	計測制御系統監視機能検査
発熱物庫 (1, 2, 3号機共用)	1棟	1.機能・性能試験 2.外観点検	IF IF 1W	○ <td>26回 ○<td>26回</td><td>プラント運転中又は定期事業者検査 止中</td></td>	26回 ○ <td>26回</td> <td>プラント運転中又は定期事業者検査 止中</td>	26回	プラント運転中又は定期事業者検査 止中
蒸気発生器保管庫 (1, 2, 3号機共用)	2棟	1.機能・性能試験 2.外観点検	IF IF 1W	○ <td>26回 ○<td>26回</td><td>プラント運転中又は定期事業者検査 止中</td></td>	26回 ○ <td>26回</td> <td>プラント運転中又は定期事業者検査 止中</td>	26回	プラント運転中又は定期事業者検査 止中
放射性廃棄物の処理施設 〔気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備〕	1式	1.分解点検他	IF IF 130M	— <td>26回</td> <td></td> <td>一部PMあり 一部先行実施</td>	26回		一部PMあり 一部先行実施
ガス圧縮機・電動機 ガス圧縮機・電動機	2台	1.機能・性能試験 2.開放点検(圧縮機) 3.分解点検 4.簡易点検(滑潤油取替) (圧縮機)	IF IF CBM 13M	○ <td>26回 — 25回 ○</td> <td>26回</td> <td>気体圧縮物処理系機能検査 (振動診断: 6M)</td>	26回 — 25回 ○	26回	気体圧縮物処理系機能検査 (振動診断: 6M)
ガス減衰タンク入口圧力制御弁 水素再結合装置	4台	1.機能・性能試験(駆動部 含む) 2.分解点検	IF IF 130M	○ <td>26回 — 25回</td> <td>26回</td> <td>気体圧縮物処理系機能検査</td>	26回 — 25回	26回	気体圧縮物処理系機能検査
ガス減衰タンク入口圧力制御弁 水素再結合装置	4台	1.機能・性能試験 2.分解点検他	IF IF 65M 13M～195M	○ <td>26回 ○<td>26回</td><td>気体圧縮物処理系機能検査 定期事業者検査(起動後)</td></td>	26回 ○ <td>26回</td> <td>気体圧縮物処理系機能検査 定期事業者検査(起動後)</td>	26回	気体圧縮物処理系機能検査 定期事業者検査(起動後)
ほう液回收装置	1基	1.機能・性能試験 2.分解点検他	IF IF 13M～195M	○ <td>26回 ○</td> <td>26回</td> <td>液体圧縮物処理系機能検査 先行実施</td>	26回 ○	26回	液体圧縮物処理系機能検査 先行実施
発液蒸発装置	1基	1.機能・性能試験 2.分解点検他	IF IF 13M～195M	○ <td>26回 ○</td> <td>26回</td> <td>液体圧縮物処理系機能検査 先行実施</td>	26回 ○	26回	液体圧縮物処理系機能検査 先行実施
A ガス減衰タンクラブチャディスク B ガス減衰タンクラブチャディスク C ガス減衰タンクラブチャディスク D ガス減衰タンクラブチャディスク	1基	1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	IF IF IF IF 195M 195M 195M 195M	— — — — 21回 21回 21回 21回	1次系破裂板検査 1次系破裂板検査 1次系破裂板検査 1次系破裂板検査		先行実施 先行実施 先行実施 先行実施

機器又は系統名 [液体・蒸気物の送受装置 「液体、液体又は固体廃棄物処理設備】	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画 回次	前回実施時期 (定検回次)		検査名	備考 〔内は適用する 設備診断技術〕
					○	○		
A グルーバル冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(電動機) 3.分解点検(潤滑油入替) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B	○	25回	○	液体廃棄物処理系設備検査	(メガ測定 : 1F)
B グルーバル冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(電動機) 3.分解点検(潤滑油入替) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B	—	18回	○	液体廃棄物処理系設備検査	(メガ測定 : 1F)
A 辅助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B	—	26回	○	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定 : 1F)
B 辅助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B	—	26回	○	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定 : 1F)
A サンプタシクポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B	—	24回	○	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定 : 1F)
B サンプタシクポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B	—	26回	○	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定 : 1F)
A モニタシクポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B	—	14回	○	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定 : 1F)
B モニタシクポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B	—	14回	○	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定 : 1F)
ホールドアシブタンク循環ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B	—	21回	○	液体廃棄物処理系設備検査 〔振動診断「ポンプ」 : 12W〕	先行実施 (振動診断「ポンプ」 : 12W)
A ホールドアシブタンク循環ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B	—	21回	○	液体廃棄物処理系設備検査 〔振動診断「ポンプ」 : 12W〕	先行実施 (振動診断「ポンプ」 : 12W)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画 回次	前回実施時期 (定検回次)		検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
					25回	25回		
<b>反対性液体物の液体貯蔵設備 [気体、液体又は固体廃棄物処理設備]</b>								
Bホールドアップタンクボンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.簡易点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ボンブ)	低	B CBM CBM 26M	— — ○	25回 10回 25回	液体塗装物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ボンブ」: 120) (メガ測定: 1F)
A 格納容器サンプボンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(メガ測定) 4.簡易点検(サクションス トレーナ清掃)	低	B 130M 1F 13M	— ○ ○	24回 24回 26回	液体塗装物処理系設備検査	
B 格納容器サンプボンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(メガ測定) 4.簡易点検(サクションス トレーナ清掃)	低	B 130M 1F 13M	— ○ ○	24回 24回 26回	液体塗装物処理系設備検査	
A 葉品ドレンボンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ボンブ)	低	B CBM CBM 26M	— — —	25回 9回 26回	液体塗装物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定: 1F)
B 葉品ドレンボンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ボンブ)	低	B CBM CBM 26M	— — —	21回 21回 26回	液体塗装物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定: 1F)
A 塩液給水ボンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ボンブ)	低	B CBM CBM 26M	— — —	21回 21回 26回	液体塗装物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定: 1F)
B 塩液給水ボンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ボンブ)	低	B CBM CBM 26M	— — —	25回 25回 26回	液体塗装物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ボンブ」: 120) (メガ測定: 1F)
C 塩液給水ボンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (他)(ボンブ)	低	B CBM CBM 26M	— — —	25回 14回 26回	液体塗装物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ボンブ」: 120) (メガ測定: 1F)
A 汚塗装水ボンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ボンブ)	低	B CBM CBM 26M	— — —	25回 13回 26回	液体塗装物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ボンブ」: 120) (メガ測定: 1F)

機器又は系統名 [液体・蒸留物の添付施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 低	保全方式 又は頻度 B	今回の実施 計画 —	前回実施時期 (定検回次) 26回	検査名 液体廃棄物処理系設備検査	備考 〔〇内は適用する 設備診断技術〕
B循環ポンプ・電動機(洗浄排水ろ過装置)		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)		130M 130M 13M ○	— — — ○	26回 26回 26回 26回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」：12回) (メガ測定：1F)
A洗浄排水モニタリングポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B CBM CBM CBM 26M	— — — —	23回 23回 15回 26回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」：12回) (メガ測定：1F)
B洗浄排水モニタリングポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B CBM CBM CBM 26M	— — — —	21回 21回 — 26回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」：12回) (メガ測定：1F)
A焼液蒸留水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B CBM CBM CBM 26M	— — — —	24回 24回 14回 26回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」：12回) (メガ測定：1F)
B焼液蒸留水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	低	B CBM CBM CBM 26M	— — — —	21回 21回 15回 26回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」：12回) (メガ測定：1F)
A補助建屋サンプポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機)	低	B 260M 130M —	— — —	26回 26回 25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」：12回) (メガ測定：1F)
B補助建屋サンプポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機)	低	B 260M 130M —	— — —	26回 25回 14回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」：12回) (メガ測定：1F)
酸液ドレンポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(メガ測定)	低	B 260M 1F —	— ○ —	14回 26回 14回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」：12回) (メガ測定：1F)
固化建屋床ドレンタンクポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(メガ測定)	低	B 260M 1F ○	— — ○	25回 25回 25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」：12回) (メガ測定：1F)
固化建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(メガ測定)	低	B 260M 1F ○	— — ○	25回 25回 25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」：12回) (メガ測定：1F)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画 (回)	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
放射性廃棄物の液体処理設備 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	固化建屋ドレンヒットポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.簡易点検(メガ測定)	低	B 260M 1F —	— 25回 25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
A固化建屋洗浄排水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.簡易点検(メガ測定)	低	B 260M 1F —	— 25回 25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
B固化建屋洗浄排水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.簡易点検(メガ測定)	低	B 260M 1F —	— 25回 25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
第2 固体廃棄物処理建屋Aサンプボンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.簡易点検(メガ測定)	低	B 260M 1F —	— 25回 25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
第2 固体廃棄物処理建屋Bサンプボンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ボンブ) 3.簡易点検(グランンドベッキン取替) 4.簡易点検(ボンブ)	低	B 195M 78M 104M —	— 25回 25回 — 25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置 又は自動警報装置	1式	1.特性試験 2.機能・性能試験 3.分解点検(グランンドベッキン取替) 4.簡易点検(ボンブ)	低	B 195M 78M 104M —	— 25回 — 25回 —	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
雑固体焼却設備	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検他	低	13M 1F 13M~260M —	○ ○ ○ —	液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査	先行実施
アスマルト固化設備	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検他	低	1F 13M~260M —	○ ○ —	液体廃棄物処理系アスマルト固化設備機械検査	先行実施
遮断脂処理装置	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検他	低	1F 13M~260M —	○ ○ —	遮断脂処理装置遮断性能検査	先行実施
雑固体浴槽炉	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検他	高・低	B 104M 13M~260M —	— 26回 — ○	液体廃棄物処理系浴槽炉運転性能検査	一部先行実施
放射性廃棄物の液体処理設備「気体、液体又は 固体廃棄物処理設備」その他の弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(グランンドベッキン取替)	高・低	B 104M 39M~260M —	— 26回 — ○	1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系真空吸排弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	
放射性廃棄物の液体処理設備「気体、液体又は 固体廃棄物処理設備」その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性点検)	高・低	B 520~65M 65M —	— 24回 25回 — 25回	1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画 回次	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
放射性廃棄物の送運施設 〔液体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	放射性廃棄物の送運施設「気体、液体又は固体廃棄物処理設備」その他の機器 1式	1. 分解点検他	高 13M～195M	○	26回		一部先行実施
放射性廃棄物の発生施設 〔液体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置 1式 本体発生物処理設備から液体状の液体の検出装置 及び警報装置 又は液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置か らの液体の検出装置又は自動警報装置	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	低 13M	○	26回	液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出 装置及び警報装置機能検査 液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出 装置及び警報装置機能検査(最終の流 入サンプル)	一部先行実施
放射性廃棄物の発生施設 〔原子炉格納容器内高層監視装置用計測装置〕	放射性廃棄物の発生施設「原子炉格納容器 本体外の液体状の放射性廃棄物又は液体状の 液体の漏えいの 検出装置か らの液体の漏えいの 検出装置」その他の機器 1個 格納容器内高層監視装置アモニタ 3R-11	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	高 13M	○	26回		先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	格納容器内高層監視装置アモニタ 3R-12	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低 13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	格納容器ガスモニタ 3R-13	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低 13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	
補助建屋排気筒ガスモニタ 3R-14	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高 13M	○	26回	放射線監視装置機能検査		
復水器空気抽出器ガスモニタ 3R-15	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高 13M	○	26回	放射線監視装置機能検査		
1次系循環冷却水モニタ 3R-16	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低 13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
3R-17B	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低 13M	○	26回			
廃棄物処理設備排水モニタ 3R-18	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低 13M	○	26回	放射線監視装置機能検査		
蒸気発生器プローブダクタモニタ 3R-19	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高 13M	○	26回	放射線監視装置機能検査		
放水口水モニタ 3R-20	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低 13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
格納容器排気筒ガスモニタ 3R-24	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高 13M	○	26回	放射線監視装置機能検査		
補助蒸気復水モニタ 3R-26	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低 13M	○	26回	放射線監視装置機能検査		
タービンサンプル水モニタ 3R-30	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低 13M	○	26回	放射線監視装置機能検査		
水素再結合装置窒素ガスモニタ 3R-31	1. 特性試験	低 13M	○	26回			
水素再結合装置窒素ガスモニタ 3R-32	1. 特性試験	低 13M	○	26回			
冷却材連続主蒸気管モニタ 3R-41	1. 特性試験	低 13M	○	26回			
A高感度型主蒸気管モニタ 3R-65	1. 特性試験	高 13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名		備考 ( ) 内は適用する 設備診査記録
						放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
放射線監視装置 [放射線管理用計測装置]						放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
B高感度主蒸気管モニタ C高感度主蒸気管モニタ 格納容器排気筒高レンジガスモニタ(低レベル)	3R-66 3R-67 3R-80A	1.特性試験 1.特性試験	高 高	13M 13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
格納容器排気筒高レンジガスモニタ(高レベル)	3R-89B	1.特性試験	高	13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
補助建屋排気筒高レンジガスモニタ(低レベル)	3R-81A	1.特性試験	高	13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
補助建屋排気筒高レンジガスモニタ(高レベル)	3R-81B	1.特性試験	高	13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
A主蒸気管モニタ B主蒸気管モニタ	3R-87 3R-88	1.特性試験 1.特性試験	高 高	13M 13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
C主蒸気管モニタ 固化建屋排気ガスモニタ	3R-89 Ra-11	1.機能・性能試験 2.特性試験	高 低	13M 1F ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	先行実施
固化装置オフガスモニタ	Ra-12	1.特性試験	低	13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
離固体内焼却炉排ガスモニタ	Ra-13	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
離固体内焼却炉排ガスダストモニタ	Ra-14	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
第2 固体廃棄物処理建屋排ガスダストモニタ	Ra-31	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	先行実施
第2 固体廃棄物処理建屋排ガスモニタ	Ra-32	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	先行実施
第2 固体廃棄物処理建屋排ガスモニタ	Ra-33	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	先行実施
中央制御室エリニアモニタ	3R-1	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F ○	○	26回	中央制御室非常用循環系機器検査	
格納容器入口エリニアモニタ 放射化学室エリニアモニタ	3R-2 3R-3	1.特性試験 1.特性試験	低 低	13M 13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
充電ボンブ弁操作室エリニアモニタ 使用燃料ビント区域エリニアモニタ	3R-4	1.特性試験 1.特性試験	低 低	13M 13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
サンブル室エリニアモニタ 炉内計装区域エリニアモニタ	3R-6 3R-7	1.特性試験 1.特性試験	低 低	13M 13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
ドーム部屋エリニアモニタ ガス圧縮装置室エリニアモニタ	3R-8 3R-51	1.特性試験 1.特性試験	低 低	13M 13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
使用燃料輸送容器保管区域エリニアモニタ	Rc-1	1.特性試験	低	13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
固化建屋制御室エリニアモニタ 充填操作室エリニアモニタ	Ra-1 Ra-2	1.特性試験 1.特性試験	低 低	13M 13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	
焼却炉処理室エリニアモニタ 第2 固体廃棄物処理建屋分室エリニアモニタ	Ra-3 Ra-5	1.特性試験 1.特性試験	低 低	13M 13M ○	○	26回	放射線監視装置機能検査	先行実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画		前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
				計画	実施			
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	第2固体廃棄物処理建屋溶融炉室エリニアモ RA-6	1.特性試験	低	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	先行実施
モニターステーション	第2固体廃棄物処理建屋溶融炉室エリニアモニ RA-7	1.特性試験	低	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	先行実施
モニタボスト	モニタボスト	1.特性試験	低	13M	○	26回	野外モニタ機能検査	
移動式モニタリング設備	5台	1.特性試験	低	13M	○	26回	野外モニタ機能検査	
放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	2台	1.特性試験	低	13M	○	26回	野外モニタ機能検査	
その他機器	式	1.分解点検他	高	13M	○	26回	一部先行実施	
緊急時対策所外可搬型エリニアモニタ	1台	1.特性試験	低	13M	○	26回	アニュラス循環排気系機能検査	
緊急時対策所内可搬型エリニアモニタ	1台	1.特性試験	高	1Y	○	26回	アニュラス循環排気系フィルター性能	△系、B系の代替機器を実施
可燃式専用済然料ビット区域周辺エリニアモ	3台	1.特性試験	高	1F	○	26回	放射線監視装置機能検査	
可燃式モニタリングポスト	3台	1.特性試験	高	1F	○	26回	アニュラス循環排気系機能検査	
放射線管理施設 〔換気設備〕	アニュラス循環排気系	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	アニュラス循環排気系機械検査	
A, B アニュラス循環フィルタユニット	1.機能・性能試験 (よう素フィルタ) 2.開放点検 (フィルタ取替)	高	1F	○	26回	アニュラス循環排気系フィルター性能 X※	機能・性能試験結果により適宜実施	△系、B系の代替機器を実施
Aアニュラス循環フィルタユニット	1.機能・性能試験 (差圧確認) 2.開放点検	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
Bアニュラス循環フィルタユニット	1.機能・性能試験 (差圧確認) 2.開放点検	高	52M	—	26回	1次系換気空調設備検査		
中央制御室非常用循環系	1.機能・性能試験 (よう素フィルタ) 2.開放点検	高	1F	○	26回	25回	中央制御室非常用循環系機能検査	
中央制御室非常用循環フィルタユニット	1.機能・性能試験 (よう素フィルタ) 2.開放点検 3.機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	26回	中央制御室非常用循環系フィルター性能 X※	機能・性能試験結果により実施	
補助建屋よう素除去排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 (よう素フィルタ) 2.開放点検 3.機能・性能試験 (差圧確認)	高	52M	○	25回	25回	1次系換気空調設備検査	
格納容器排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
A 格納容器净化フィルタユニット	2.開放点検 (フィルタ取替)	52M	—	25回	1次系換気空調設備検査			
B 格納容器净化フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
格納容器送気冷暖房ユニット	2.開放点検 1.機能・性能試験	52M	—	25回	1次系換気空調設備検査			
A 格納容器排気冷暖房ユニット	2.開放点検 1.機能・性能試験	52M	—	25回	1次系換気空調設備検査			

機器又は系統名 [換気設備]	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名		備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
						1.次系換気空調設備検査	26回	
B 格納容器循環冷暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	高 1F	○	—	25回			
C 格納容器循環冷暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	高 1F	○	26回	1次系換気空調設備検査			
A 补助建屋送気冷暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低 1F	○	—	25回			先行実施
B 补助建屋送気冷暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低 1F	○	26回	1次系換気空調設備検査			先行実施
A 制御建屋冷暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	高 1F	○	—	25回			先行実施
B 制御建屋冷暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	高 1F	○	26回	1次系換気空調設備検査			先行実施
A 补助建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低 1F	○	—	25回			先行実施
B 补助建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低 1F	○	26回	1次系換気空調設備検査			先行実施
出入管理室排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低 1F	○	—	26回			先行実施
ホット保修室排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低 1F	○	26回	1次系換気空調設備検査			先行実施
ペーラ排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低 1F	○	—	26回			先行実施
A 固化建屋暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低 1F	○	25回	1次系換気空調設備検査			先行実施
B 固化建屋暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低 1F	○	—	25回			先行実施
A 固化建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低 1F	○	—	25回			先行実施
B 固化建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低 1F	○	—	25回			先行実施
第2 固体処理物処理建屋給気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低 52M	—	25回	1次系換気空調設備検査			先行実施

機器又は系統名 反射鏡管理施設 [換気設備]	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)		検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
					25回	25回		
第2 固体廃棄物処理建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検 3.分解点検(ファン) 4.分解点検(電動機)	低 IF ○	IF ○	○	25回	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
A格納容器循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	高 IF ○	IF ○	○	26回	26回	1次系換気空調設備検査	
B格納容器循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(電動機) 3.分解点検(ファン)	高 IF ○	IF ○	○	26回	26回	1次系換気空調設備検査	
C格納容器循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	高 IF ○	IF ○	○	26回	26回	1次系換気空調設備検査	
A格納容器淨化ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低 IF ○	IF ○	○	25回	25回	1次系換気空調設備検査	
B格納容器淨化ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低 IF ○	IF ○	○	25回	25回	1次系換気空調設備検査	
A格納容器送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低 IF ○	IF ○	○	26回	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メガ測定: 1F)
B格納容器送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低 IF ○	IF ○	○	25回	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メガ測定: 1F)
A格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低 IF ○	IF ○	○	26回	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メガ測定: 1F)
B格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低 IF ○	IF ○	○	25回	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メガ測定: 1F)
Aアニラス循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	高 IF ○	IF ○	○	25回	25回	1次系換気空調設備検査	
A補助建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低 IF ○	IF ○	○	26回	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メガ測定: 1F)
B補助建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低 IF ○	IF ○	○	26回	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メガ測定: 1F)

機器又は系統名 反射鏡管理施設 〔換気設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
A補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低	1F 10M CBM	○ — ○	26回 25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メガ測定: 1F)
B補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低	1F 10M CBM	○ — ○	26回 25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メガ測定: 1F)
C補助建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低	1F 10M CBM	○ — ○	26回 25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メガ測定: 1F)
A制御建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	高	1F 78M 52M	○ — ○	26回 25回 25回	1次系換気空調設備検査	
B制御建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	高	1F 78M 52M	○ — ○	26回 25回 25回	1次系換気空調設備検査	
A制御建屋循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	高	1F 156M 52M	○ — ○	26回 22回 25回	1次系換気空調設備検査	
B制御建屋循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	高	1F 156M 52M	○ — ○	26回 25回 25回	1次系換気空調設備検査	
A補助建屋よう素除去排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	高	1F 130M 52M	○ — —	26回 25回 25回	1次系換気空調設備検査	
B補助建屋よう素除去排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	高	1F 130M 52M	○ — —	26回 25回 25回	1次系換気空調設備検査	
A中央制御室非常用循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	高	1F 130M 156M	○ — —	26回 25回 20回	1次系換気空調設備検査	
B中央制御室非常用循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	高	1F 130M 156M	○ — —	26回 25回 20回	1次系換気空調設備検査	
A出入管理室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低	1F 130M 52M	○ — —	26回 26回 25回	1次系換気空調設備検査	
B出入管理室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低	1F 130M 52M	○ — —	26回 25回 25回	1次系換気空調設備検査	
ホット保修室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低	1F 130M CBM	○ — —	26回 26回 9回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (メガ測定: 1F)

機器又は系統名 反射鏡管理施設 〔換気設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○ 内は適用する 設備診断技術)
ペーラ排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	1F CBM	低 —	○ —	26回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
A 固化建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	1F CBM	低 —	○ —	25回 —	1次系換気空調設備検査	先行実施 ※1号機設備として 第2回保全サイクルに実施
B 固化建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	1F CBM	低 —	○ —	25回 —	1次系換気空調設備検査	先行実施 ※1号機設備として 第2回保全サイクルに実施
A 固化建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	1F CBM	低 —	○ —	25回 —	1次系換気空調設備検査	先行実施 ※1号機設備として 第2.1回定検時に実施
B 固化建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	1F CBM	低 —	○ —	25回 —	1次系換気空調設備検査	先行実施 ※1号機設備として 第2.2回定検時に実施
第2 固体汚染物処理建屋A給気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	1F 78M 78M	低 —	○ —	25回 25回 —	1次系換気空調設備検査	先行実施 ※振動診断:「電動機」2M

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	第2 固体廃棄物処理建屋B 滤気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低 1F 78M	○ — —	25回 25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断:「電動機」2M)
第2 固体廃棄物処理建屋A 滤気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低 1F 78M	○ — —	26回 26回 26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断:「電動機」2M)	
第2 固体廃棄物処理建屋B 滤気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.分解点検(電動機)	低 1F 78M	○ — —	25回 25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断:「電動機」2M)	
換気空調設備のファン	1式 75台	1.簡易点検(潤滑油脂補給) 1.機能・性能試験 2.分解点検他	高・低 1F 13M~91M	○ ○ ○	26回 26回 26回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施
自動ダンパー	3D-6715A	1.分解点検	高 130M	—	26回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
可燃性ガス濃度制御系主要弁	3D-6715B	1.分解点検	高 130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	3D-6720A	1.分解点検	高 130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	3D-6720B	1.分解点検	高 130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	3D-6721A	1.分解点検	高 130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	3D-6721B	1.分解点検	高 130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	3D-6723A	1.分解点検	高 130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	3D-6723B	1.分解点検	高 130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
放射線管理施設「換気設備」その他の弁	1式 2台	1.分解点検 2.簡易点検(グランドバッジン取替)	高・低 10M~260M 19.5M	○ ○	26回 26回	1次系弁検査	
放射線管理施設「換気設備」その他機器	1式	1.分解点検他	高 13M~260M	○	26回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 一部先行実施 (振動診断:「国化装置才ガ・排気7ア用電動機」:4M)	
緊急時対策所非常用空氣淨化ファン	2台	1.機能・性能試験	高 1Y	○	26回		
緊急時対策所非常用空氣淨化フィルタユニット	2台	1.機能・性能試験(よう素フィルタ性能検査)	高 1Y	○	26回	可搬型換気空調設備検査	先行実施
放射線管理施設 [生体遮蔽装置]	中央制御室遮蔽 ニット	1.漏えい試験	高 6Y	—	25回	中央制御室の居住性確認検査	
緊急時対策所	1式	1.機能・性能試験	高 1F	○	26回	緊急時対策所の居住性確認検査	先行実施

機器又は系統名 〔原子炉格納容器〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施時期 (定検回次)		検査名	備考 ( ) 内に適用する 設備診断技術) 10年に1回設計正試験
				計画	前回実施時期 (定検回次)		
原子炉格納容器 〔原子炉格納容器〕	原子炉格納容器	1. 漏えい率試験	高	3F 6F	— —	26回 25回	原子炉格納容器全体漏えい率検査 ※検査については、2回/3Fにて実施
エアロック	通常用 1個	2. 非破壊試験 1. 漏えい率試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (潤滑油補給他)	高 1F※ 13M 13M	○ ○ ○	26回 26回 26回	原子炉格納容器局部漏えい率検査 ※検査については、2回/3Fにて実施	
機器搬入口	非常用 1個	1. 漏えい率試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (潤滑油補給他)	高 1F※ 13M 13M	○ ○ ○	26回 26回 26回	原子炉格納容器局部漏えい率検査 ※検査については、2回/3Fにて実施	
配管貫通部(油箱式配管貫通部、貫通配管 閉止フランジ部)	1式	1. 漏えい率試験 2. 開放点検 3. 非破壊試験	高 1F※ 13M 25%/10Y	○ ○ —	26回 26回 26回	原子炉格納容器作用期間中検査 ISIプログラムによる [別表-6]	
配管貫通部(貫通配管閉止フランジ部)	1式	1. 漏えい率試験 2. 開放点検	高 1F	○	26回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
電線貫通部	1式	1. 漏えい率試験	高 2回/3F	○	26回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
原子炉格納容器隔壁弁 T字管により隔壁される弁	73個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高 1F	○	26回	原子炉格納容器隔壁弁機能検査	
T字管により隔壁される弁	25個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高 1F	○	26回	原子炉格納容器隔壁弁機能検査	
原子炉格納容器隔壁弁	3A0V-8119A	1. 分解点検	高 52M	○	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-8119B	1. 分解点検	高 52M	—	26回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-8119C	1. 分解点検	高 52M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-81152	1. 分解点検	高 52M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-8100	1. 分解点検	高 130M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-8112	1. 分解点検	高 130M	—	22回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-88880	1. 分解点検	高 52M	—	26回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-8961	1. 分解点検	高 52M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-8871	1. 分解点検	高 10M	○	24回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-5136	1. 分解点検	高 10M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-5138	1. 分解点検	高 10M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3FCV-1241	1. 分解点検	高 130M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-5141A	1. 分解点検	高 130M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-5141B	1. 分解点検	高 130M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-5155	1. 分解点検	高 130M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-5160A	1. 分解点検	高 130M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-5160B	1. 分解点検	高 130M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-5298	1. 分解点検	高 130M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3A0V-5299	1. 分解点検	高 130M	—	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	

機器又は系統名 〔原子炉格納容器等〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	
						( ) 内は適用する 設備診断技術	
原子炉格納容器隔離弁	3AOV-8025	1. 分解点検	高	10AM	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
3AOV-8026	1. 分解点検	高	10AM	-	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-9157	1. 分解点検	高	13DH	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-9159A	3AOV-9160A	1. 分解点検	高	10AM	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
3AOV-9159B	1. 分解点検	高	10AM	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
31CV-1003	1. 分解点検	高	13DH	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-8028	1. 分解点検	高	13DH	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-8933	1. 分解点検	高	13DH	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-9160A	1. 分解点検	高	13DH	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-9160B	1. 分解点検	高	13DH	-	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-9170	1. 分解点検	高	13DH	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-9352A	1. 分解点検	高	13DH	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-9352B	1. 分解点検	高	13DH	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-5000	1. 分解点検	高	52M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-5001	1. 分解点検	高	52M	-	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-5002	1. 分解点検	高	52M	-	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-5003	1. 分解点検	高	52M	-	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-5004A	1. 分解点検	高	52M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-5004B	1. 分解点検	高	78M	-	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-5005	1. 分解点検	高	52M	-	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-5018A	1. 分解点検	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-5018B	1. 分解点検	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-5018C	1. 分解点検	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-5019	1. 分解点検	高	52M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3D-6709A	1. 分解点検	高	13DH	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3D-6709B	1. 分解点検	高	13DH	-	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3D-6709C	1. 分解点検	高	13DH	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3D-6709D	1. 分解点検	高	13DH	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3D-6709E	1. 分解点検	高	13DH	-	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3D-6710A	1. 分解点検	高	13DH	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3D-6710B	1. 分解点検	高	13DH	-	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3D-6710C	1. 分解点検	高	13DH	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3D-6710D	1. 分解点検	高	13DH	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3D-6710E	1. 分解点検	高	13DH	-	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-6752	1. 分解点検	高	13DH	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-6753	1. 分解点検	高	13DH	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-6756A	1. 分解点検	高	13DH	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-6756B	1. 分解点検	高	13DH	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-6757A	1. 分解点検	高	13DH	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-6757B	1. 分解点検	高	13DH	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-6758A	1. 分解点検	高	13DH	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3AOV-6758B	1. 分解点検	高	13DH	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	
						備考 ( ) 内に適用する 設備診断技術	
原子炉格納容器隔壁弁 〔原子炉格納容器〕	3AA0V-5502A	1.分解点検	高	52M ○	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3AA0V-5502B	1.分解点検	高	10M ○	24回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3AA0V-5502C	1.分解点検	高	10M ○	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3AA0V-5505A	1.分解点検	高	52M ○	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3AA0V-5505B	1.分解点検	高	10M ○	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3AA0V-5505C	1.分解点検	高	10M ○	25回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3AA0V-6931	1.分解点検	高	130M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3AA0V-6200	1.分解点検	高	130M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3AA0V-6201	1.分解点検	高	130M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3AA0V-6202	1.分解点検	高	130M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3AA0V-6203	1.分解点検	高	130M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3AA0V-6746	1.分解点検	高	130M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3AA0V-6747	1.分解点検 2.簡易点検 〔グランジドベッシュ取替〕	高	39M～130M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	1式	1.分解点検 2.簡易点検 〔特別点検〕	高	52M～156M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
原子炉格納容器隔壁弁駆動部	5個	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	1F ○	26回	原子炉格納容器真空逃げ弁機能検査	
	3D-6707A	2.分解点検	高	130M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3D-6707B	2.分解点検	高	130M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3D-6707C	2.分解点検	高	130M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3D-6707D	2.分解点検	高	130M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査	
	3D-6707E	2.分解点検 〔機能・性能試験〕	低	B ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査 〔1次系安全弁検査〕	
	その他1式	1.分解点検 2.分解点検 〔1次系安全弁検査〕	高・低	30M～234M ○	—	原子炉格納容器隔壁弁分解検査 〔一部DNあり〕	
原子炉格納施設「原子炉格納容器」その他 の弁	原子炉格納容器スプレイ系 機器	1.分解点検他 〔機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)、機能・性能試験(状態監視)〕	低	195M ○	—	原子炉格納容器安全系機能検査	
	原子炉格納施設「原子炉格納容器」その他 の弁	2.分解点検	高	1F ○	26回	原子炉格納容器安全系機能検査	
	原子炉格納施設「原子炉格納容器スプレイ系 機器」	3.簡易点検	高	130M ○	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 〔対象設備：A・B内部スプレポンプによる代替手心 注入系〕	
	原子炉格納施設 〔圧力低減設備〕					原子炉注水系機能検査	
A内部スプレポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ)	高	130M ○	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 〔その他の原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：「電動機」1M)〕	
	2.分解点検 (電動機)					原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 〔その他の原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：「電動機」1M)〕	
	3.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)					原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 〔その他の原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：「電動機」1M)〕	
B内部スプレポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ)	高	130M ○	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 〔その他の原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：「電動機」1M)〕	
	2.分解点検 (電動機)					原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 〔その他の原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：「電動機」1M)〕	
	3.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)					原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 〔その他の原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：「電動機」1M)〕	
C内部スプレポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ)	高	130M ○	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 〔その他の原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：「電動機」1M)〕	
	2.分解点検 (電動機)					原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 〔その他の原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：「電動機」1M)〕	
	3.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)					原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 〔その他の原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：「電動機」1M)〕	

機器又は系統名 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名		備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術) (振動診断・[電動機] 1M)
						点検回数	分解回数	
D内部スプレンブ・電動機	1	1.分解点検 (ボンブ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (潤滑油入替)	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断)
A内部スプレンブ	1	1.開放点検 2.非破壊試験	高	195M	—	25回	—	—
B内部スプレンブ	1	1.開放点検 2.非破壊試験	高	195M	—	25回	—	—
原子炉格納容器スプレイ系主要弁	3M0V-64105A	1.分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	(振動診断)
3M0V-64105B	1.分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	(振動診断)	( ) 内は適用する 設備診断技術)
3M0V-6417A	1.分解点検	高	130M	—	23回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	(振動診断)	( ) 内は適用する 設備診断技術)
3M0V-6417B	1.分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	(振動診断)	( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部	1式	1.分解点検	高	156M	—	24回	—	—
よう素除去品タンク	1式	1.開放点検 1.機能・性能試験	高	195M	—	25回	—	—
原子炉格納施設「圧力低減設備その他」 全設備	1式	2.分解点検 2.機能・性能試験	高・低	39M～260M	—	26回	1次系安全弁検査 1次系貯水槽弁検査 1次系逆止弁検査	保全の有効性評価結果No. 10の反映
3.簡易点検 (グラントドバッジ キニ取替)	高	63M～195M	○	26回	—	○	1次系弁検査	保全の有効性評価結果No. 10の反映
原子炉格納施設「圧力低減設備その他」 全設備	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	B	—	25回	1次系弁検査	—
原子炉格納施設「圧力低減設備その他」 全設備	1式	1.分解点検他 1.機能・性能試験	高	78M～195M	—	26回	—	—
静的触媒式水素再結合装置	5個	2.外観点検 (触媒フレート)	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	—
静的触媒式水素再結合装置	13個	3.外観点検 (本体)	高	1F	○	26回	—	—
原子炉格納容器水素燃焼装置	13個	1.外観点検 2.絶縁抵抗測定	高	1F	○	26回	—	—
原子炉格納容器水素燃焼装置	13個	3.抵抗測定 4.機能・性能試験 (シーケンス試験)	高	1F	○	26回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	—
静的触媒式水素再結合装置	13M	1.特性試験	高	13M	○	26回	音測制御系監視機能検査	—
原子炉格納容器水素燃焼装置	13M	1.特性試験	高	13M	○	26回	音測制御系監視機能検査	—

機器又は系統名 「その他設備」	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術) ISIプログラムによる。 [別表一1]
原子力設備 「その他設備」	クラス1機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス1・2機器供用期間中 検査対象含む)	1.非破壊試験 2.漏えい試験	高 7Y 1F	○ ○	26回 26回	クラス1機器供用期間中検査 クラス1機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別表一2]
クラス2機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス1・2機器供用期間中 検査対象含む)	1.非破壊試験 2.漏えい試験	高 10Y 10Y	○ ○	25回 26回	クラス2機器供用期間中検査 クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別表一2]	
クラス3機器(供用期間中検査対象)	1.非破壊試験 2.漏えい試験	高 10Y 10Y	○ ○	26回 26回	クラス3機器供用期間中検査 クラス3機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別表一3]	
クラス1機器Ni基合金使用部位 (重大事故等クラス1・2機器供用期間中 検査対象含む)	1.非破壊試験	高 3.5Y	—	26回	供用期間中特別検査のうちクラス1機 器Ni基合金使用部位特別検査	ISIプログラムによる。 [別表一4]	
クラス2管(原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査 対象含む)	1.非破壊試験	高 25%/10Y	—	26回	供用期間中特別検査のうちクラス2管 (原子炉格納容器内)特別検査	ISIプログラムによる。 [別表一5]	
蒸気発生器管台座接部 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査 対象含む)	1.非破壊試験、 外観点検	高・低 7Y 100%/10Y	○ —	—	供用期間中特別検査のうち蒸気発生器 管台座接部の健全性確認検査	ISIプログラムによる。 [別表一6]	
RCPBのシント・ドレン弁の閉止栓	1.漏えい検査	高 1F	○	26回	構造健全性検査	排気箇については 65Wで実施	
レストレイン	1.外観点検 2.機能・性能試験 3.分解点検 3.簡易点検(グランドバッ キン取替)	高 B 高・低 130M~155M	○ — —	25回 25回 25回	レストレイン検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査		
原子力設備「その他設備」	1. 分解点検 1. 分解点検他	高 13M~234M	○	26回	1次系逆止弁検査	一部RMあり	
原子力設備「その他設備」	1. 分解点検 1. 分解点検他	高 10Y	○	26回	重大事故等クラス2機器供用期間中検 査	ISIプログラムによる。 [別表一8]	
重大事故等クラス3機器	1.漏えい試験 2.漏えい試験	高 10Y	○	26回	重大事故等クラス3機器供用期間中検 査	先行実施 ISIプログラムによる。 [別表一9]	
クラス1配管(水平展開対象)	1.非破壊試験	高 100%/1F	○	26回	供用期間中特別検査のうちクラス1配 管特別検査	ISIプログラムによる。 [別表一10]	
耐震クラスS、Bに属する支持構造物	1.外観点検	高 100%/10Y	○	26回	耐震健全性検査	クラス1、2、3機器供用期間中検査 の対象範囲を除く	
原子力設備・タービン設備 「その他設備」							

機器又は系統名 蒸気タービン [車室、円板、隔壁、噴口、翼、車輪]	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画 39M	前回実施時期 (定検回次) 26回	検査名 蒸気タービン開放検査	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術 保全の有効性評価結果No. 12の反映
第1 低圧タービン	高圧タービン	1. 開放点検 2. 組立状況点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高 B 13M	— — —	26回 26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 12の反映
第2 低圧タービン		1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高 1F 13M	○ ○ —	25回 26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	開放点検実施時は開放点検内で実施 保全の有効性評価結果No. 12の反映
第3 低圧タービン		1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高 1F 13M	○ ○ —	26回 26回 25回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	開放点検実施時は開放点検内で実施 保全の有効性評価結果No. 12の反映
ロータライメント		1. 組立状況点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高 B※ 13M	○ — ○	26回 26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	※タービンの開放時期に合わせて実施
蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	No. 1 主蒸気止め弁	1. 外観点検 2. 組立状況点検	高 高	○ ○	26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
No. 2 主蒸気止め弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	○	26回	蒸気タービン開放検査	
No. 3 主蒸気止め弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	○	26回	蒸気タービン開放検査	
No. 4 主蒸気止め弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	○	26回	蒸気タービン開放検査	
No. 1 蒸気加減弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	○	26回	蒸気タービン開放検査	
No. 2 蒸気加減弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	○	26回	蒸気タービン開放検査	
No. 3 蒸気加減弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	○	26回	蒸気タービン開放検査	
No. 4 蒸気加減弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	○	26回	蒸気タービン開放検査	
1A 再熱蒸気止め弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	○	26回	蒸気タービン開放検査	
1B 再熱蒸気止め弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	○	26回	蒸気タービン開放検査	
2A 再熱蒸気止め弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	— ○	26回 25回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
2B 再熱蒸気止め弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	— ○	26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
3A 再熱蒸気止め弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	— ○	26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
3B 再熱蒸気止め弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 B	— ○	26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
1A インターセプト弁		1. 開放点検	高 B	— ○	25回 25回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
1B インターセプト弁		1. 開放点検	高 B	— ○	26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
2A インターセプト弁		1. 開放点検	高 B	— ○	26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 設備診断技術	
							保全方式	内閣府令
蒸気タービン 「調速装置及び非常調速装置並びに制御装置で制御される主要弁」	2 B インターセット弁 3 A インターセット弁 3 B インターセット弁	1.開放点検	高	26M	—	蒸気タービン開放検査		
復水器		1.開放点検	高	26M	○	蒸気タービン開放検査		
蒸気タービン 〔復水器〕	A循環水ポンプ・電動機	1.開放点検 2.防汚塗装 3.分解点検(電動機)	高	13M	○	蒸気タービン開放検査		
B循環水ポンプ・電動機		1.分解点検 2.分解点検(電動機) 3.簡易点検(注油専用装置点検)	高	26M	○	蒸気タービン開放検査		
A復水器真空ポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	高	26M	—	蒸気タービン開放検査		
A復水器真空ポンプシール水タンク		1.開放点検	高	23M	—	2次系容器検査	先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)	保全の有効性評価結果No. 13の反映 (ポンプ)
B復水器真空ポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	高	78M	—	2次系容器検査	先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)	保全の有効性評価結果No. 13の反映 (ポンプ)
C復水器真空ポンプシール水タンク		1.開放点検	高	23M	○	2次系容器検査	先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)	保全の有効性評価結果No. 13の反映 (ポンプ)
C復水器真空ポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	高	78M	—	2次系容器検査	先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)	保全の有効性評価結果No. 13の反映 (ポンプ)
B復水ポンプ		1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	高	23M	—	2次系容器検査	先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 3M)	(振動診断: 6M) (メガ測定: 3M)
C復水ポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	高	78M	—	2次系容器検査	先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 3M)	(振動診断: 6M) (メガ測定: 3M)
蒸気タービン「復水器」その他機器	1式	1.分解点検他 1.分解点検他	高 低	52M～260M 13M～268M	○ ○	26M 26M	— —	一部開あり 保全の有効性評価結果No. 14の反映
蒸気タービン 〔熱交換器に附属する熱交換器〕	1 A 混分分離加熱器	1.開放点検(蒸気室) 2.開放点検(剛制則) 3.漏えい試験 4.非破壊試験(加熱管) 5.非破壊試験(シール溶接部)	高	130M 26M B 130M 130M	— — — — —	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査		
1 B 混分分離加熱器		1.開放点検(蒸気室) 2.開放点検(剛制則) 3.漏えい試験 4.非破壊試験(加熱管) 5.非破壊試験(シール溶接部)	高	130M 26M B 130M 130M	○ ○ ○ ○ ○	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名		備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
						蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	2 A 湿分分離加熱器	1.開放点検(蒸気室)	高	130回	—	22回	蒸気タービン開放検査	
		2.開放点検(側面)	26M	—	26回	蒸気タービン開放検査		
		3.漏えい試験	B	—	22回	蒸気タービン開放検査		
		4.非破壊試験(加熱管)	130M	—	22回	蒸気タービン開放検査		
		5.非破壊試験(シール溶接部)	130M	—	22回	蒸気タービン開放検査		
2 B 湿分分離加熱器	1.開放点検(蒸気室)	高	130M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
		2.開放点検(側面)	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査		
		3.漏えい試験	B	—	23回	蒸気タービン開放検査		
		4.非破壊試験(加熱管)	130M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
		5.非破壊試験(シール溶接部)	130M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
3 A 湿分分離加熱器	1.開放点検(蒸気室)	高	130M	—	22回	蒸気タービン開放検査		
		2.開放点検(側面)	26M	—	26回	蒸気タービン開放検査		
		3.漏えい試験	B	—	22回	蒸気タービン開放検査		
		4.非破壊試験(加熱管)	130M	—	22回	蒸気タービン開放検査		
		5.非破壊試験(シール溶接部)	130M	—	22回	蒸気タービン開放検査		
3 B 湿分分離加熱器	1.開放点検(蒸気室)	高	130M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
		2.開放点検(側面)	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査		
		3.漏えい試験	B	—	23回	蒸気タービン開放検査		
		4.非破壊試験(加熱管)	130M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
		5.非破壊試験(シール溶接部)	130M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
A 脱気器	1.開放点検	高	39M	—	25回	2次系容器検査		
		1.開放点検	39M	—	26回	2次系容器検査		
		1.開放点検	39M	—	26回	2次系容器検査		
B 脱気器	1.開放点検	高	65M	—	25回	2次系熱交換器検査		
		2.漏えい試験	B	—	25回	2次系熱交換器検査		
		3.非破壊試験	130M	—	25回	2次系熱交換器検査		
脱気器タンク	1.開放点検	高	65M	—	26回	2次系熱交換器検査		
		2.漏えい試験	B	—	26回	2次系熱交換器検査		
		3.非破壊試験	130M	—	26回	2次系熱交換器検査		
第1 A 低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	○	24回	2次系熱交換器検査		
		2.漏えい試験	130M	○	24回	2次系熱交換器検査		
		3.非破壊試験	65M	—	25回	2次系熱交換器検査		
第1 B 低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	—	25回	2次系熱交換器検査		
		2.漏えい試験	B	—	25回	2次系熱交換器検査		
		3.非破壊試験	130M	—	22回	2次系熱交換器検査		
第2 A 低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	—	26回	2次系熱交換器検査		
		2.漏えい試験	B	—	26回	2次系熱交換器検査		
		3.非破壊試験	130M	—	23回	2次系熱交換器検査		
第2 B 低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	—	26回	2次系熱交換器検査		
		2.漏えい試験	B	—	26回	2次系熱交換器検査		
		3.非破壊試験	130M	—	23回	2次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画 回数	前回実施時期 (定検回次)		検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
					24回	24回		
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	第2 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 B 130M	○ ○ —	24回	24回	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査	
第3 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 B 65M	— — —	— — —	24回	25回	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査	
第3 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 B 130M	— — —	— — —	25回	26回	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査	
第3 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 B 65M	— — —	— — —	24回	26回	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査	
第4 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 B 130M	— — —	— — —	25回	25回	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査	
第4 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 B 65M	— — —	— — —	25回	26回	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査	
第4 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 B 130M	— — —	— — —	26回	26回	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査	
第6 A 高圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験(加熱管)	高 B 130M	— — —	— — —	22回	22回	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査	
第6 B 高圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験(シール溶接部)	高 B 130M	— — —	— — —	22回	22回	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査	
グランド蒸気復水器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験(シール溶接部)	高 B 130M	— — —	— — —	23回	23回	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査	
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器] その他機器 給水・復水・循環水系統	1式	1. 分解点検他 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検(A 1 電動機) 4. 分解点検(A 2 電動機) 4. 簡易点検(潤滑油入替) (ホゾンブ)	低 1F 39M 52M 13M	65M~130M ○ ○ — — ○	24回	26回	蒸気タービン附属設備機能検査 定期事業者検査(起動後)	
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び循水設備並びに給水処理設備]	A 主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 2. 分解点検(A 1 電動機) 3. 分解点検(A 2 電動機) 4. 簡易点検(潤滑油入替) (ホゾンブ)	高 — — — —	— — — —	26回	26回	定期事業者検査(起動後)	

機器又は系統名 蒸気タービン 「蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び 貯水設備並びに給水処理設備」	実施数(機器名) B主給水ポンプ・電動機	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
C主給水ポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(C1電動機) 3.分解点検(C2電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 10M 10M 13M	○ — — ○	25回 25回 25回 26回		
A給水ブースタポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	高 CBM	○ —	26回 21回		(振動診断「電動機」:3M)
B給水ブースタポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	高 CBM	—	25回		(振動診断「電動機」:3M)
C給水ブースタポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	高 CBM	○ —	25回 24回		
A復水ブースタポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機) 3.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 CBM CBM	— — ○	25回 25回		(振動診断「電動機」:3M)
B復水ブースタポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機) 3.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 CBM CBM	— — ○	25回 25回 26回		(振動診断「電動機」:3M)
C復水ブースタポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機) 3.簡易点検(潤滑油入替) (ポンプ)	高 CBM CBM	— — ○	25回 25回 26回		(振動診断「電動機」:3M)
A復水脱脂塔		1.開放点検	高 65M	—	24回	2次系容器検査	
B復水脱脂塔		1.開放点検	高 65M	—	25回	2次系容器検査	
C復水脱脂塔		1.開放点検	高 65M	—	26回	2次系容器検査	
D復水脱脂塔		1.開放点検	高 65M	○	22回	2次系容器検査	
E復水脱脂塔		1.開放点検 2.分解点検他	高 65M 低 13M~260M	— ○	23回 25回 26回	2次系容器検査 2次系容器検査	一部先行実施
蒸気タービン「蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び循水設備並びに給水処理設備」その他の機器 主な配管(主蒸気系統・抽氣系統・ドレン 系統)	1式	1.外観・目視点検 2.非破壊試験	高 肉厚管理指針による	○ ○	26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
2次系配管等※(上記以外の主蒸気系統・ 給水系統・抽氣系統・ドレン系統・ その他系統)※配管の他、 ポンプ、熱交換器、弁等を含む、 蒸気タービン「蒸気タービンに附属する管 等」その他の機器	1式	1.外観点検 2.非破壊試験	高・低 100% / 10Y 肉厚管理指針による	○ ○	26回 26回	2次系配管検査 2次系配管検査	定期事業者検査既往後

機器又は系統名 蒸気タービン 「その他設備」	実施数（機器名） 蒸気タービン本体、蒸気タービンの附属設備	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度 高	今回の実施 計画 1F ○	前回実施時期 (定検回次) 26回	検査名 蒸気タービン性能検査	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術	
							総合負荷性能検査	プラント運転中及び定期事業者検査起動後定期事業者検査起動後
蒸気タービン「その他設備」 その他の弁 1式		1. 保安装置点検 2. 負荷点検	1F B —	○	26回	原子炉補機合流系機能検査 1次系弁検査 2次系弁検査 2次系安全弁検査 2次系逆止弁検査		
蒸気タービン「その他設備」 その他の弁 1式		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検（グランンドベイキン取替）	13M～260M 52M～195M	○ ○	26回 26回	2次系弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査		
蒸気タービン「その他設備」 その他の弁 動部 1式		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検（特性点検）	高 — 13M～156M 13M	— ○ ○	25回 26回 26回	1次系弁検査 2次系弁検査 原子炉補機合流系機能検査		
蒸気タービン「その他設備」 その他機器 1式		1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 — 13M～260M ○	— — 26回		一部先行実施 （振動診断[離分分離器ドレンボンプ]用電動機、EHカバナ油ポンプ用電動機、循環水ポンプ翼油ポンプ、循環水ポンプ翼油ポンプ用電動機）；4h、〔2次系冷却水ポンプ、2次系冷却水ポンプ用電動機、低正ドレンポンプ用電動機〕；30h		
蒸気タービン「その他設備」 その他機器 1式		1. 分解点検他	低	○	26回	一部先行実施 一部BMあり（振動診断[復水処理装置底液中和槽搅拌ポンプ、復水處理装置底液中和槽排水ポンプ用電動機、再生用水ポンプ用電動機、再生用水ポンプ用電動機、再生用水ポンプ用電動機、再生用水ポンプ用電動機、後水配管路循環ポンプ、逆洗用水ポンプ、原水ポンプ用電動機、補助蒸気復水回収ポンプ〕；6h、〔循環水泵ポンプ用電動機、循環水泵ポンプ用電動機、循環水泵ポンプ用電動機、循環水泵ポンプ用電動機、循環水泵ポンプ用電動機、循環水泵ポンプ用電動機、循環水泵ポンプ用電動機、循環水泵ポンプ用電動機、循環水泵ポンプ用電動機〕；2h、〔油清浄器本体ポンプ、油清浄器本体ポンプ用電動機、復水器細管洗浄装置ポンプ用電動機、油清浄器本体ポンプ用電動機、主油ポンプ用電動機、空氣側絶封油ポンプ用電動機、密封油ポンプ用電動機〕；3h		
その他AM(格納容器内注水) 機器 1式		1. 分解点検他	高 52M～20Y	○	26回			

機器又は系統名 〔補助ボイラー〕	実施数(機器名) 補助ボイラ系統	点検及び試験の項目 1.外観点検	保全の重要度 低	今回の実施計画 B ※1	前回実施時期 (定検回次) 47回※2	検査名 補助ボイラー設備検査	備考 〔( ) 内は適用する 設備診断技術〕 ※1 ブラント運転中 補助ボイラー設備検査に合わせて実施する。 ただし、前回の点検後の運転時間が4 0.0時間、かつ起動回数が120回 に達すると見込まれる時期までに定期 事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回次
胴、管寄せ及び管 安全弁 ボイラーに附属する給水設備 ボイラーに附属する熱交換器 ボイラーに附属する通風設備 ボイラーに附属する空気圧縮設備及びガス 瓦斯設備 ボイラーに附属する管等油燃焼用機器	1式	1.性能試験	低	B ※1	—	47回※2 補助ボイラー性能検査	※1 ブラント運転中 補助ボイラー性能検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。 ただし、前回の点検後の運転時間が4 0.0時間、かつ起動回数が120回 に達すると見込まれる時期までに定期 事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回次
		2.開放点検	10Y※1	—	47回※2	補助ボイラー開放検査	※1 ブラント運転中 補助ボイラー開放検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。 ただし、前回の点検後の運転時間が4 0.0時間、又は起動回数が120回 に達すると見込まれる時期までに定期 事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回次
		3.開放点検他	3Y~20Y	○	48回※1		※1 ブラント運転中 自主点検回次 (振動診断「補助ボイラ給水ポンプ」 補助ボイラ給水ポンプ用電動機、補助 ボイラ加压ポンプ、補助ボイラ加压ポン プ用電動機、補助ボイラ押込通風機 用電動機) : 120回
		4.簡易点検(ホース取替)	5Y	○	47回※1		※1 ブラント運転中 自主点検回次 (振動診断「補助ボイラ燃料ポンプ」、補 助ボイラ燃料ポンプ用電動機 : 120回)
燃料通搬設備に係る油の輸送管、燃料貯蔵 設備に係る油タンク	1式	1.開放点検	低	2Y~20Y	○	47回※1	※1 ブラント運転中 自主点検回次 ※1 ブラント運転中 自主点検回次 ※1 ブラント運転中 自主点検回次 ※1 ブラント運転中 自主点検回次
補助ボイラー集じん機 ばい煙処理設備に附属する空気圧縮機、通 風機、破砕機又は碎砕機 補助ボイラー附帯設備その他の弁	1式	1.機能・性能試験	低	B	—	47回※1 補助ボイラー設備検査	※1 ブラント運転中 自主点検回次
補助ボイラー附帯設備その他機器	1式	1.分解点検他	低	1Y~10Y	○	48回※1	※1 ブラント運転中 自主点検回次
		1.分解点検	低	1Y~20Y	○	48回※1	※1 ブラント運転中 自主点検回次

機器又は系統名 その他着用原子炉の附屬施設 〔非常用電源設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名		備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
						高	1F	
安全注入信号及び内部スプレ信号発信時に電源を求める機器 ディーゼル発電機	33台	1.機能・性能試験	高	○	26回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機)、 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)		
Aディーゼル発電機	2台	1.機能・性能試験	高	○	26回	非常用予備発電機能検査 (ディーゼル発電機)、 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)		
Bディーゼル発電機		1.分解点検	高	52M	—	25回		
Aディーゼル機関		1.分解点検	高	26M	○	25回		
Aディーゼル機関のシリコンダム、 (ヒスト、ヒンジ接棒、リカバーアーム、ケランク軸)	No.1	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
No.2	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.3	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.4	1.分解点検	高	130M	○	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.5	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.6	1.分解点検	高	130M	—	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.7	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.8	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.9	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.10	1.分解点検	高	130M	○	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.11	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.12	1.分解点検	高	130M	—	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
Bディーゼル機関		1.分解点検	高	26M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Aディーゼル機関のシリコンダム、 (ヒスト、ヒンジ接棒、リカバーアーム、ケランク軸)	No.1	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
No.2	1.分解点検	高	130M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.3	1.分解点検	高	130M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.4	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.5	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.6	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.7	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.8	1.分解点検	高	130M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.9	1.分解点検	高	130M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.10	1.分解点検	高	130M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.11	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No.12	1.分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
Aディーゼル機関の吸気弁	2個	1.分解点検	高	26M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Bディーゼル機関の吸気弁	2個	1.分解点検	高	26M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Aディーゼル機関の排気弁	24個	1.分解点検	高	26M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Bディーゼル機関の排気弁	24個	1.分解点検	高	26M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Aディーゼル機関の燃料噴射弁	12個	1.分解点検	高	13M	○	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Bディーゼル機関の燃料噴射弁	12個	1.分解点検	高	13M	○	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査	



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔火災防護設備〕	電動消防ポンプ・電動機 1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機)	高 1Y 4Y CBM	○ — —	26回 25回	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 (振動診断「電動機」：1M)
消防ポンプ	2台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機)	高 B※ 130M 130M	— — —	— <td>B※：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施</td>	B※：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
消防水タンク	3台	1.開放点検 1.取替 1.外観点検	高 低 130M 10F	— — —	— <td>プラント運転中又は定期事業者検査停止中</td>	プラント運転中又は定期事業者検査停止中
煙等流入防止装置	1式	オイルパン、ドレンパン、燃料取替用水ポンプ、充てん高圧注入ポンプ、ほう油ポンプ、計器用コンベックス、チーユニット、冷水ポンプ、1次系冷却水ポンプ他)	高 1Y～130M	○	26回	プラント運転中又は定期事業者検査停止中
その他発電用原子炉の附属施設 〔火災防護設備〕	1式	1.特性試験他 1.外観点検他 1.外観点検	高 1M～130M 10Y 1F	○ — ○	26回 — 26回	プラント運転中又は定期事業者検査停止中
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護設備〕	1式	1.外観点検 1.外観点検	高 10Y	—	—	プラント運転中又は定期事業者検査停止中
水密扉	1式	1.外観点検	高 1F	○	26回	プラント運転中又は定期事業者検査停止中
潮位計	2台	1.機能・性能試験 1.機能・性能試験 1.機能・性能試験	高・低 1F B※	○ — —	26回 — —	計測制御系監視機能検査
津波監視カメラ 海水サンプ排水系統	2台	1.分解点検 (ポンプ)	130M CBM	— —	—	B※：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
海水サンプ排水機	1台	1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機)	低 B	— —	—	(メガ測定：1F)
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護設備〕	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 1.機能・性能試験	91M B B※	— — —	— <td>浸水防護設備検査</td>	浸水防護設備検査
その他の弁						
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護設備〕	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 1.機能・性能試験	156M 10Y	— —	— <td>浸水防護設備検査</td>	浸水防護設備検査
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護設備〕	1式	1.外観点検他 1.外観点検	— <td>—</td> <td>—</td> <td></td>	—	—	
その他発電用原子炉の附属施設 〔補機駆動用機器〕	32個	1.取替 1.外観点検	高 1F	○ —	— <td>先行実施 プラント運転中又は定期事業者検査停止中</td>	先行実施 プラント運転中又は定期事業者検査停止中
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用海水ポンプ室取水設備〕						
土木建築設備	外部遮へい壁、内部コシクリート、原子炉格納建屋基盤、原子炉補助建屋、貯水構造物、原子炉建屋	1.非破壊試験 1.外観点検	高・低 5Y —	— 26回	26回	プラント運転中又は定期事業者検査停止中
取水口設備	1式	1.外観点検	高 1F	○	26回	プラント運転中又は定期事業者検査停止中
プラント総合	原子炉及びその附属設備(補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く) 諸機器	1.総合性能試験 1.分解点検他	高 13M～104M ○	○	26回	総合負荷性能検査 定期事業者検査起動後 一部先行実施

# クラス1機器供用期間中検査7年計画

## 1. 原子炉容器(1/2)

美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)															
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	備考
								第23回	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	第28保全サイクル	第29保全サイクル	第30保全サイクル
B1. 101	B-A	上部胴と中間胴との周溶接継手	体積	1 0 0 %	1 シーム	水中UT (内面)	1 0 0 % (可能範囲)	—	—	—	—	100%	—	—	—
		中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	1 0 0 %	1 シーム	水中UT (内面)	1 0 0 % (可能範囲)	—	—	—	—	100%	—	—	—
		中間胴の長手溶接継手	体積	1 0 0 %	3 シーム	水中UT (内面)	1 0 0 % (可能範囲)	—	—	—	—	100%	—	—	—
		下部胴の長手溶接継手	体積	1 0 0 %	3 シーム	水中UT (内面)	1 0 0 % (可能範囲)	—	—	—	—	100%	—	—	—
B1. 102	B-B	下部胴と下部鏡板との周溶接継手	体積	1 0 0 %	1 シーム	水中UT (内面)	1 0 0 % (可能範囲)	—	—	—	—	100%	—	—	—
B2. 111		下部鏡板の周溶接継手	体積	1 0 0 %	1 シーム	水中UT (内面)	1 0 0 % (可能範囲)	—	—	—	—	100%	—	—	—
B2. 121		下部鏡板の長手溶接継手	体積	1 0 0 %	1 シーム	UT	1 0 0 % (可能範囲)	—	—	—	—	100%	—	—	—
B2. 122		下部鏡板の長手溶接継手	体積	1 0 0 %	4 シーム	UT	1 0 0 % (可能範囲)	5%	—	—	—	100%	—	—	—
B3. 105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	1 0 0 %	1 シーム	水中UT (内面)	1 0 0 % (可能範囲)	—	—	—	—	100%	—	—	—
B3. 106		上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	1 0 0 %	1 シーム	UT	1 0 0 % (可能範囲)	20%	20%	—	—	20%	—	—	—
B3. 10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	1 0 0 %	3 箇所	水中UT (内面)	1 0 0 % (可能範囲)	—	—	—	—	3箇所	—	—	—
B3. 10		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	1 0 0 %	3 箇所	水中UT (内面)	1 0 0 % (可能範囲)	—	—	—	—	3箇所	—	—	—
B3. 20		冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	1 0 0 %	3 箇所	水中UT (内面)	1 0 0 % (可能範囲)	—	—	—	—	3箇所	—	—	—
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	1 0 0 %	3 箇所	水中UT (内面)	1 0 0 % (可能範囲)	—	—	—	—	3箇所	—	—	—

※1 : NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号) の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正といふ。) の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接着手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日) の結果(2019年度中の計画変更) を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年版/2014年追補) を亀裂解釈NRA文書改正の施行日より適用する。なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2002年版：2008年度～2013年6月(本サイクル開始～新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用まで)
- ・維持規格2008年版：2013年7月～2019年5月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～亀裂解釈NRA文書改正まで)

# 1. 原子炉容器 (2/2)

美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)										備考					
項目番号	維持規格	JSME S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2021年度	2022年度	2023年度
									第23回	第24保全サイクル	2020年度	第25保全サイクル	2020年度	第26保全サイクル	2020年度
B5. 10	B-F	冷却材入口管台とサーフェンンドとの接続 継手	体積及び表面	100%	3箇所	水中UT・PT (内面)	100% (可能範囲)	Cl <sub>6</sub> -J° (PT)	—	—	—	—	—	—	第27保全サイクル
		冷却材出口管台とサーフェンンドとの接続 継手	体積及び表面	100%	3箇所	水中UT・PT (内面)	100% (可能範囲)	A <sub>6</sub> -J° (PT)	—	3箇所 (UT) B <sub>6</sub> -J° (PT)	—	3箇所 (UT) C <sub>6</sub> -J° (PT)	—	—	A <sub>6</sub> -J° (PT)
B6. 10	ナット	V T - 1	100%	58個	V T - 1	100%	11個	12個	—	12個	—	12個	—	—	11個
B6. 30	スタッドボルト	体積	100%	58本	UT	100%	11本	12本	—	12本	—	12本	—	—	11本
B6. 40	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58箇所	UT	100%	11箇所	12箇所	—	12箇所	—	12箇所	—	—	11箇所
B6. 50	上蓋用ワッシャ	V T - 1	100%	58個	V T - 1	100%	11個	12個	—	12個	—	12個	—	—	11個
B7. 10	T／Cハウ징ングのマークランプ用ボルト、ナット	V T - 1	25%	4組	V T - 1	25% (1組)	1組	—	—	—	—	—	—	—	—
B14. 10	制御棒駆動ハウジングの接続継手	体積又は表面	最外周の25%	20箇所	P T	最外周の25% (5箇所)	2箇所	—	3箇所	—	—	—	—	—	—
B15. 10	B-P	圧力保持範囲	V T - 2	漏えい試験時 100%	1式	V T - 2	100% (可能範囲)	100%	—	100%	—	100%	—	—	100%
F1. 41	F-A	支持構造物	V T - 3	25%	6箇所	V T - 3	25% (2箇所)	1箇所 (c出口)	—	—	—	—	—	—	1箇所 (A入口)
G1. 10	G-P-1	原子炉容器の内部	V T - 3	7.5%	1基	V T - 3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)	100%	—	100%	—	100%	—	—	下段の構造物・取付け物に統合
G1. 40		内部取付け物	V T - 3	7.5%	4箇所	V T - 3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—
G1. 40	構造物・取付け物	V T - 3	7.5%	1基	V T - 3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)	—	—	—	100%	—	100%	—	—	—
G1. 50	G-P-2	炉心支持構造物	V T - 3	7.5%	1基	V T - 3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)	—	—	100%	—	100%	—	—	—

添1-54

2. 加圧器 (1/2)

美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)											備考			
項目番号	カテゴリ	持規格	JSME S N A 1-2012/2013/2014	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2023年度	
B2.11	B-B	上部鏡板と下部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%	2.5%	—	—	—	2.5%	—	
			下部鏡板と下部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%	2.5%	—	—	2.5%	—	
		上部胴の長手溶接継手	体積	10%	2シーム	UT	10%	5%	—	—	—	—	5%	
B2.12	B2.13	下部胴の長手溶接継手	体積	10%	2シーム	UT	10%	5%	—	—	—	—	5%	
			上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%	2.5%	—	—	2.5%	—	
		管台と容器との溶接継手												
B3.30	B-D	安全弁用管台と容器との溶接継手			3箇所					—	—	—	—	
			逃がし弁用管台と容器との溶接継手	体積	1箇所	UT	管台数の25%(2箇所)		—	—	—	—	—	
		スプレ用管台と容器との溶接継手			1箇所				—	1箇所	—	—	—	
B3.40	B-E	サービ用管台と容器との溶接継手			1箇所				1箇所	—	—	—	—	
			管台内面の丸みの部分											
		安全弁用管台内面の丸みの部分			3箇所				—	—	—	—	—	
B5.40	B-F	逃がし弁用管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%	1箇所	UT	管台数の25%(2箇所)		—	1箇所	—	—	—	
			スプレ用管台内面の丸みの部分		1箇所				1箇所	—	—	—	—	
		サービ用管台内面の丸みの部分			1箇所									
添1-5	B-G	管台とサーフエンドとの溶接継手 (呼び径100以上)												
			安全弁用管台とサーフエンドとの溶接継手		3箇所				—	1箇所	—	—	—	
		逃がし弁用管台とサーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	管台数の25%	1箇所	UT・PT	管台数の25%(2箇所)		—	1箇所	—	—	—	
B5.40	B-H	スプレ用管台とサーフエンドとの溶接継手			1箇所				—	1箇所	—	—	—	
			サービ用管台とサーフエンドとの溶接継手		1箇所									

2. 加圧器 (2/2)

維持規格		JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7方年)												
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	備考
								第23回	第24保全サイクル			第25保全サイクル	第26保全サイクル		第27保全サイクル	
B7. 20	B-G-2	マンホールの取付ボルト	VT-1	25%	16本	VT-1	25% (4本)			2本	—		—	—	2本	
B8. 20	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手 (支持スカートの溶接継手)	表面	7.5%	1シール	PT	7.5%	4%		—	3.5%		—	—	—	
B15. 20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時 100%	1式	VT-2	漏えい試験時 100% (可能範囲)	100%	100%	—	100%	100%	—	100%	—	
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	1箇所	VT-3	25% (1箇所)			—	1箇所	—	—	—	—	

### 3. 蒸気発生器 (1/1)

維持規格		JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7方年)										
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2022年度	2023年度	備考
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基の 2.5%	UT	代表1基の 2.5%	UT	第23回 第24保全 サイクル	—	—	—	第25保全 サイクル	—	第27保全 サイクル
B3. 60	B-D	冷却材入口管台及び出口管台の 内面の丸みの部分	体積	代表1基の 2.5%	2箇所/基 ×3基	UT	代表1基の 2.5%	—	—	—	—	A	—	A
B5. 70	B-F	冷却材入口管台及び出口管台と セーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の 2.5%	2箇所/基 ×3基	UT・PT	代表1基の 2.5%	—	—	—	—	A	—	A入ロ 1箇所 *
B7. 30	B-G-2	1次側マンホールの取付ボルト	VT-1	代表1基の 2.5%	20本× 2箇所/基 ×3基	VT-1	代表1基の 2.5%	—	—	—	—	5本	—	5本
B8. 30	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手 (水室鏡とサポートハッドとの溶接継手)	表面	代表1基の 7.5%	4箇所/基 ×3基	PT	代表1基の 7.5%	—	—	—	—	A	—	—
B15. 30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時 1.00%	1式	VT-2	漏えい試験時 (可能範囲) 1.00%	100%	100%	—	100%	100%	—	100%
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の 2.5%	4箇所/基 ×3基	VT-3	代表1基の 2.5%	—	—	—	—	A	—	1箇所

\* : 「供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査」も合わせて実施

## 4. 配管 (1/5)

美浜発電所第3号機検査計画(7方年)										備考				
項目番号	カタゴリ	持規格	JISME S N A 1-2012/2013/2014	検査方法	検査範囲	設備台数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2022年度	2023年度
									第23回	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	
B7.50	B-G-2	圧力保持用ボルト、ナット 封水注入ライン	V T-1	2.5%	9箇所	V T-1	2.5% (3箇所)			—	1箇所	—	—	—
		配管の周溶接継手(呼び径100A以上)												
B9.11	主冷却材管	体積	2.5%	36箇所	UT	2.5% (9箇所)	2箇所	—	2箇所	2箇所	—	1箇所	—	1箇所
	加圧器サーボライン	体積	2.5%	6箇所	UT	2.5% (2箇所)	1箇所	—	1箇所	—	—	—	—	—
	アキュムレータ注入ライン	体積	2.5%	29箇所	UT	2.5% (8箇所)	4箇所	—	—	—	—	—	—	4箇所
	高温側低圧注入ライン	体積	2.5%	26箇所	UT	2.5% (7箇所)	3箇所	—	4箇所	—	—	—	—	—
	余熱除去ポンプ入口ライン	体積	2.5%	45箇所	UT	2.5% (12箇所)	3箇所	—	—	5箇所	—	—	—	4箇所
	加圧器安全弁ライン	体積	2.5%	30箇所	UT	2.5% (8箇所)	3箇所	—	—	—	—	—	—	5箇所
	低温側低圧注入ライン	体積	2.5%	45箇所	UT	2.5% (12箇所)	5箇所	—	—	5箇所	—	—	—	2箇所
	加圧器逃がしライン	体積	2.5%	12箇所	UT	2.5% (3箇所)	1箇所	—	—	2箇所	—	—	—	—
	加圧器スフレライン	体積	2.5%	98箇所	UT	2.5% (25箇所)	4箇所	—	—	4箇所	—	—	—	10箇所
	高温側補助注入ライン	体積	2.5%	7箇所	UT	2.5% (2箇所)	—	—	—	1箇所	—	—	—	1箇所
B9.21	配管の周溶接継手(呼び径100A未満)													
	主冷却材管	表面	2.5%	1箇所	PT	2.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	1箇所
	加圧器逃がしライン	表面	2.5%	10箇所	PT	2.5% (3箇所)	1箇所	—	—	2箇所	—	—	—	—
	充てんライン	表面	2.5%	9箇所	PT	2.5% (3箇所)	2箇所	—	—	2箇所	—	—	—	—
	抽出及び冷却材ドレンライン	表面	2.5%	41箇所	PT	2.5% (11箇所)	5箇所	—	—	3箇所	—	—	—	3箇所
	クロスオーバーレダクション管	表面	2.5%	6箇所	PT	2.5% (2箇所)	1箇所	—	—	1箇所	—	—	—	—
	加圧器補助スフレライン	表面	2.5%	33箇所	PT	2.5% (9箇所)	—	—	—	1箇所	—	—	—	8箇所
	低温側ほう酸注入ライン	表面	2.5%	23箇所	PT	2.5% (6箇所)	1箇所	—	—	2箇所	—	—	—	3箇所
	高温側補助注入ライン	表面	2.5%	39箇所	PT	2.5% (10箇所)	4箇所	—	—	2箇所	—	—	—	6箇所
	低温側補助注入ライン	表面	2.5%	10箇所	PT	2.5% (3箇所)	1箇所	—	—	2箇所	—	—	—	—

## 4. 配管 (2/5)

維持規格		美浜発電所第3号機検査計画(7方年)													
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～	2021年度	2022年度	2023年度	備考
B9.31		母管と管台との溶接継手 (呼び径100mm以上)						第23回 第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	—	—	—	第27保全 サイクル
		主冷却材管	体積	2.5%	14箇所	UT	2.5% (4箇所)	2箇所	—	—	—	—	—	—	2箇所
B9.32		母管と管台との溶接継手 (呼び径100mm未満)	表面	2.5%	17箇所	PT	2.5% (5箇所)	2箇所	—	—	3箇所	—	—	—	
		主冷却材管	表面	2.5%	1箇所	PT	2.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	
		加圧器スプレライン	表面	2.5%	0箇所	PT	2.5% (0箇所)	—	—	—	—	—	—	—	
		加圧器スプレライン	表面	2.5%	2箇所	PT	2.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	改造工事により全設備撤去
		高温側低圧注入ライン	表面	2.5%	2箇所	PT	2.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	
		低温側低圧注入ライン	表面	2.5%	6箇所	PT	2.5% (2箇所)	1箇所	—	—	1箇所	—	—	—	
	B-J	ソケット溶接継手	表面	2.5%	4箇所	PT	2.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	
		主冷却材管	表面	2.5%	20箇所	PT	2.5% (5箇所)	2箇所	—	—	—	—	—	—	
		加圧器補助スプレライン	表面	2.5%	0箇所	PT	2.5% (0箇所)	—	—	—	—	—	—	—	
		加圧器補助スプレライン	表面	2.5%	1箇所	PT	2.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	
		抽出及び冷却材ドレンライン	表面	2.5%	21箇所	PT	2.5% (6箇所)	4箇所	—	—	2箇所	—	—	—	改造工事により全設備撤去
		低温側ほう酸注入ライン	表面	2.5%	8箇所	PT	2.5% (2箇所)	—	3箇所	—	—	—	—	—	
		高温側補助注入ライン	表面	2.5%	8箇所	PT	2.5% (2箇所)	1箇所	—	—	1箇所	—	—	—	
		低温側補助注入ライン	表面	2.5%	115箇所	PT	2.5% (29箇所)	5箇所	6箇所	—	6箇所	—	—	—	6箇所
		耐圧部分への支持部材の取付溶接継手	表面	2.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	
		加圧器サーチライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	1箇所
		加圧器逃がしライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	1箇所	—	—	—	
		加圧器スプレライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	1箇所	—	—	—	
		抽出ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	
		充てんライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	
B10.20	B-K														

4. 配管 (3/5)

美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)														
項目番号	維持規格	J SME S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2023年度	備考
B10.20	耐圧部分への支特部材の取付溶接継手 余熱除去ポンプ入ロライン	表面	7.5%	15箇所	P T	7.5% (2箇所)	第23回 サイクル	第24保全 サイクル	一	一	一	一	一	第25保全 サイクル サブツリ
		表面	7.5%	10箇所	P T	7.5% (1箇所)								
	アキュムレータ注入ライン 高温側低圧注入ライン	表面	7.5%	8箇所	P T	7.5% (1箇所)								
		表面	7.5%	9箇所	P T	7.5% (1箇所)								
	低温側低圧注入ライン 低温側低圧注入ライン	表面	7.5%	0箇所	P T	7.5% (0箇所)								
		V T - 2	漏えい試験時 100%	1式	V T - 2	漏えい試験時 100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	改造工事により 全設備撤去
B15.50	圧力保持範囲 支持構造物													
		V T - 3	2.5%	8箇所	MS SH 3	2.5% (2箇所)								
	加圧器サーボジライン 加圧器スプレライイン	V T - 3	2.5%	5箇所	RH 32 MS 48 SH 8	2.5% (2箇所)								
		V T - 3	2.5%	88箇所	AN 0	2.5% (2.2箇所)								
	加圧器補助スプレライイン	V T - 3	2.5%	30箇所	RH 17 MS 11 SH 1	2.5% (8箇所)								
		V T - 3	2.5%	1箇所	AN 1									
F1.10														

4. 配管 (4/5)

項目番号	維持規格	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7力年)					備考	
								2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	
								第23回	第24保全サイクル	一	第25保全サイクル	一	第26保全サイクル	一
	支持構造物													
	充てんライン	VT-3	2.5%	4箇所	MS3 SH1	VT-3	2.5% (1箇所)			1箇所	一		一	
					RH8					1箇所	一	1箇所	一	
	加圧器逃がしライン	VT-3	2.5%	16箇所	MS5 SH2	VT-3	2.5% (4箇所)			一	1箇所	一	一	
					AN1					一	1箇所	一	一	
					RH6					1箇所	一	一	一	
					MS27 SH12	VT-3	2.5% (12箇所)			1箇所	一	一	7箇所	
	余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	2.5%	46箇所	AN1					一	一	一	3箇所	
F1.10	F-A				RH4					一	1箇所	一	一	
					MS12 HS1	VT-3	2.5% (5箇所)			一	2箇所	一	一	
	抽出及び冷却材ドレンライン	VT-3	2.5%	19箇所										
					SH2									
					RH5					1箇所	一	1箇所	一	
	高温側低圧注入ライン	VT-3	2.5%	21箇所	MS12 SH4	VT-3	2.5% (6箇所)			1箇所	一	2箇所	一	
										一	1箇所	一	一	

## 4. 配管 (5/5)

維持規格		J SME S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4		美浜発電所第3号機検査計画(7力年)												
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～	2021年度	2022年度	2023年度	備考
	支持構造物								第23回	第24保全サイクル	一	第25保全サイクル	一	第26保全サイクル	一	第27保全サイクル
	アキュムレータ注入ライン	VT-3	2.5%	41 箇所	MS 18 HS 9	RH 5 MS 18 HS 9	VT-3	2.5% (11箇所)			5箇所	一		一	1箇所	
	低温側低圧注入ライン	VT-3	2.5%	33 箇所	MS 13 SH 2	AN 2	VT-3	2.5% (9箇所)			一	2箇所	一	一	1箇所	
F1.10	F-A	低温側ほう酸注入ライン	VT-3	2.5%	28 箇所	MS 6 HS 2	RH 18 MS 6 HS 2	2.5% (7箇所)			3箇所	一		3箇所	一	3箇所
	高温側補助注入ライン	VT-3	2.5%	25 箇所	MS 5 HS 1	AN 2	VT-3	2.5% (7箇所)			一	1箇所	一	一	1箇所	
	低温側補助注入ライン	VT-3	2.5%	12 箇所	RH 5 MS 7	HS 1	VT-3	2.5% (3箇所)			1箇所	一		一	4箇所	
	封水注入ライン	VT-3	2.5%	60 箇所	RH 53 MS 7	VT-3	2.5% (15箇所)			7箇所	一	3箇所	一	3箇所	一	2箇所

5. ポンプ (1/1)

維持規格		JISMESEN A1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)												
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2021年度	2022年度	2023年度	備考
B6. 180	スタッドボルト	体積	代表1台の2.5% ×3台	2.4本/台 ×3台	UT	代表1台の2.5% (6本)	2.5%	第23回 第24保全サイクル	—	—	—	—	—	—	—	第27保全サイクル
B6. 190	B-G-1 フランジ表面	VT-1	代表1台の2.5% ×3台	2.4箇所/台 ×3台	VT-1	代表1台の2.5% (6箇所)	2.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B6. 200	ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の2.5% ×3台	2.4組/台 ×3台	VT-1	代表1台の2.5% (6組)	2.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B10. 30	B-K ポンプ支持部材取付溶接継手	表面	代表1台の7.5% ×3台	3箇所/台 ×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)	7.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B12. 10	B-L-1 ポンプケーシングの内表面	体又は表面	代表1台の2.5% ×3台	1箇所/台 ×3台	PT	代表1台の2.5% (1箇所)	2.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B12. 20	B-L-2 ポンプケーシングの内表面	VT-3	代表1台の10.0% ×3台	1/台 ×3台	VT-3	代表1台の10.0% ×3台	10.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B15. 60	B-P 圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時 100%	1式	VT-2	漏えい試験時 (可能範囲)	100%	100%	100%	—	100%	100%	—	100%	—	100%
F1. 41	F-A 支持構造物	VT-3	代表1台の2.5% ×3台	3箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台の2.5% (1箇所)	2.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## 6. 弁 (1/2)

維持規格		JSME S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4		美浜発電所第3号機検査計画(7方年)												
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	備考
		第23回	第24保全サイクル													
B7.70 B-6-2	圧力保持用ボルト、ナット															
	加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1個の2.5%	3個	VT-1	代表1個の1.00%	1個	代表1個の1.00%	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	RV58SB
	加圧器逃がしライン(1)	VT-1	代表1個の2.5%	2個	VT-1	代表1個の1.00%	—	代表1個の1.00%	—	—	—	—	—	—	—	GM58FN
	加圧器逃がしライン(2)	VT-1	代表1個の2.5%	2個	VT-1	代表1個の1.00%	1個	代表1個の1.00%	1個	—	—	—	—	—	—	IA58RGP
	加圧器スプレライン	VT-1	代表1個の2.5%	2個	VT-1	代表1個の1.00%	—	代表1個の1.00%	—	—	—	—	—	—	—	RA58RGA
	加圧器補助スプレライン	VT-1	代表1個の2.5%	1個	VT-1	代表1個の1.00%	—	代表1個の1.00%	—	—	—	—	—	—	—	IA58RB
	抽出ライン	VT-1	代表1個の2.5%	2個	VT-1	代表1個の1.00%	—	代表1個の1.00%	—	—	—	—	—	—	—	IA58RB
	高温側低圧注入ライン	VT-1	代表1個の2.5%	4個	VT-1	代表1個の1.00%	1個	代表1個の1.00%	—	—	—	—	—	—	—	C58
	低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1個の2.5%	6個	VT-1	代表1個の1.00%	1個	代表1個の1.00%	—	—	—	—	—	—	—	C58
	充てんライン	VT-1	代表1個の2.5%	2個	VT-1	代表1個の1.00%	—	代表1個の1.00%	—	—	—	—	—	—	—	C58
余熱除去ポンプ入ロライン	高溫側補助注入ライン	VT-1	代表1個の2.5%	1個	VT-1	代表1個の1.00%	—	代表1個の1.00%	—	—	—	—	—	—	—	C58
	余熱除去ポンプ入ロライン	VT-1	代表1個の2.5%	4個	VT-1	代表1個の1.00%	—	代表1個の1.00%	—	—	—	—	—	—	—	GM58
	アキュムレータ注入ライン	VT-1	代表1個の2.5%	6個	VT-1	代表1個の1.00%	—	代表1個の1.00%	—	—	—	—	—	—	—	C58

## 6. 爺 (2/2)

維持規格 JISME S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4

美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～	2022年度	2023年度
		弁箱の接続手 (呼び径100A未満)						第23回	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	
B12. 30	B-M-1	加圧器補助スプレイン	表面	代表1個の 2.5%	1シール/個 ×1個	PT	代表1個の 1.00%						
		加圧器補助スプレイン	表面	代表1個の 2.5%	0個	PT	代表1個の 1.00%						
		低温側はう酸注入ライン	表表面	代表1個の 2.5%	1シール/個 ×3個	PT	代表1個の 1.00%						C58
		高温側補助注入ライン	表表面	代表1個の 2.5%	1シール/個 ×6個	PT	代表1個の 1.00%						C58
		低温側補助注入ライン	表表面	代表1個の 2.5%	1シール/個 ×3個	PT	代表1個の 1.00%						C58
		封水注入ライン	表表面	代表1個の 2.5%	1シール/個 ×6個	PT	代表1個の 1.00%						C58
		弁本体の内表面											
		加圧器安全弁ライン	VT-3	同一グリーブ-7° で1個	3個	VT-3	同一グリーブ-7° で1個						RV58SB
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	同一グリーブ-7° で1個	4個	VT-3	同一グリーブ-7° で1個						GM58
		アキュムレータ注入ライン	VT-3	同一グリーブ-7° で1個	6個	VT-3	同一グリーブ-7° で1個						-
		高温側低圧注入ライン	VT-3	同一グリーブ-7° で1個	4個	VT-3	同一グリーブ-7° で1個						C58
		低温側低圧注入ライン	VT-3	同一グリーブ-7° で1個	6個	VT-3	同一グリーブ-7° で1個						C58
		高温側補助注入ライン	VT-3	同一グリーブ-7° で1個	1個	VT-3	同一グリーブ-7° で1個						C58
	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時 1.00%	1式	VT-2	漏えい試験時 (可能範囲) 1.00%						100%
		支持構造物											
		加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1個の 2.5%	1箇所/3個 ×3個	VT-3	代表1個の 2.5% (1箇所)						RV58SB
F1. 41	F-A	加圧器逃がしライン(1)	VT-3	代表1個の 2.5%	3箇所/1個 2箇所/1個	VT-3	代表1個の 2.5% (1箇所)						GM58FN
		加圧器逃がしライン(2)	VT-3	代表1個の 2.5%	2箇所/2個	VT-3	代表1個の 2.5% (1箇所)						IA58RGP
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	代表1個の 2.5%	2箇所/3個	VT-3	代表1個の 2.5% (1箇所)						GM58
		加圧器スプレイン	VT-3	代表1個の 2.5%	3箇所/1個	VT-3	代表1個の 2.5% (1箇所)						RA58RB
		加圧器補助スプレイン	VT-3	代表1個の 2.5%	3箇所/1個 ×1個	VT-3	代表1個の 2.5% (1箇所)						IA58RB
		抽出ライン	VT-3	代表1個の 2.5%	2箇所/2個 ×2箇	VT-3	代表1個の 2.5% (1箇所)						IA58RB

原子炉冷却材圧力バシュンダリ範囲拡大に伴う特別検査計画

7. 配管

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7万kW)						備考	
					設備数	検査方法	検査範囲	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	
—	—	配管と管台の溶接継手			第23回	第24保全サイクル	第25保全サイクル	—	—	第26保全サイクル	—	第27保全サイクル
—	—	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	100%	5箇所	PT	100% (5箇所)			—	5箇所*	—

\*：再稼働前の自主点検にて、外面PTを全数実施し、異常のないことを確認済み

## 1. 蒸気発生器

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014

項目番号	カタゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	備考
								第27保全サイクル	第28保全サイクル	第29保全サイクル	第30保全サイクル	第31保全サイクル	第32保全サイクル	第33保全サイクル	第34保全サイクル	第35保全サイクル		
C1. 10	C-A	中間胴と下部胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT	—	—	—	—	—	2.5%	—	—	—	2.5%※1	
		円錐胴と中間胴の周溶接溶接継手	体積	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT	—	—	—	—	—	2.5%	—	—	—	2.5%※1	
		上部胴と円錐胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT	—	—	—	—	—	2.5%	—	—	—	2.5%※1	
C1. 20	C-B	上部鏡と上部胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT	—	—	—	—	—	2.5%	—	—	—	2.5%※1	
		下部胴と管板の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT	—	—	—	—	—	2.5%	—	—	—	2.5%※1	
C1. 30	C-C	給水入口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT・PT	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT・PT	—	—	—	—	—	2.5%	—	—	—	2.5%※1	
		給水入口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT・PT	1つの容器の7.5% (1箇所)	UT・PT	—	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	
C2. 21	C-D	蒸気出口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT・PT	1つの容器の7.5% (1箇所)	UT・PT	—	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	
		蒸気出口管台内面の丸みの部分	体積	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5% (1箇所)	UT	—	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	
C2. 22	C-E	給水入口管台内面の丸みの部分	体積	1つの容器の7.5% 1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5% (1箇所)	UT	—	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	
		※1 : 非破壊検査免除の適用除外による追加																

2. 余熱除去ケーブル

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (1.0カ年)																
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	備考
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側フランジとの周沿接継手	体積	1つの容器の7.5% 1箇所/基×2基	UT	1つの大容器の7.5% 1箇所/基×2基	—	—	第27保全サイクル —	第28保全サイクル —	—	第29保全サイクル —	—	第30保全サイクル —	—	第31保全サイクル —	第32保全サイクル —	第33保全サイクル —
C2. 21	C-B	管側入口管台と管側鏡板との溶接継手	体積及び表面	7.5%	UT・PT	7.5% (1箇所)	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		管側出口管台と管側鏡板との溶接継手	体積及び表面	7.5%	UT・PT	7.5% (1箇所)	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## 3. 内部スプレーケーラ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(1.0カ年)																
項目番号	カタゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	備考
C1.10	C-A 継手	管側鏡板と管側フランジとの溶接	UT	1つの容器/ 基 <sup>×2</sup> 基	1箇所/ 基 <sup>×2</sup> 基	UT	1つの容器/ 7.5%	—	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	—	第29保全 サイクル	—	第30保全 サイクル	—	第31保全 サイクル	第32保全 サイクル	第33保全 サイクル
C2.21	C-B 溶接継手	出入口管台と管側側面(鏡板)との 溶接	UT・PT	2箇所/ 基 <sup>×2</sup> 基	1つの容器/ 7.5%	UT・PT	1つの容器/ 7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※1
C2.22	C-B みの部分	呼び径300Aを超える管台内面の丸	UT	2箇所/ 基 <sup>×2</sup> 基	1つの容器/ 7.5%	UT	1つの容器/ 7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

#### 4. ホウ酸注入タンク

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (1.0力年)																
項目番号	カタゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	備考
C1.20	C-A	洞と鏡板との溶接継手	体積	7.5%	2箇所/ 基 ×1基	UT	7.5%	—	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	—	第29保全 サイクル	—	第30保全 サイクル	—	第31保全 サイクル	第32保全 サイクル	第33保全 サイクル
C2.21	C-B	管台と胴(鏡板)との溶接継手	体積及び表面	7.5%	2箇所/ 基 ×1基	UT・PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.5%※1
C3.10	C-C	支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	4箇所/ 基 ×1基	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※1
C4.10	C-D	ボルト及び植込みボルト	体積	7.5%	16本/ 基 ×1基	UT	7.5% (2本)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1本※1
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	7.5%	4箇所/ 基 ×1基	VT-3	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 5. 配管

項目番号	カテゴリ	規格	JSME S N41-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10方年)								備考							
				検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	
C3.20 C-C	配管支持部材取付溶接継手 主給水ライン 主蒸気ライン ターヒン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管 内部スプレボンブ入口ライン 内部スプレボンブ出口ライン 内部スプレクーラ入口ライン 内部スプレクーラ出口ライン 格納容器再循環サンプ 出口ライン(CSS) RHRS-CSS連絡ライン 恒歛代替低圧注入ポンプ 原子炉下部キャビティ 注水ポンプ出口ライン ほう酸注入タンク出口ライン 格納容器負圧調整ライン	表面	7.5%	39箇所	PT	7.5% (3箇所)	—	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		表面	7.5%	124箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		表面	7.5%	5箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014						美浜発電所第3号機検査計画(1.0力年)										
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	備考
								2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	
C3.20	C-C	余熱除去クーラバースライ ン	表面	7.5%	4箇所	P T	(1箇所) 7.5%	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	第31保全 サイクル
		高温側ループ注入ライン	表面	7.5%	14箇所	P T	(2箇所) 7.5%	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	第30保全 サイクル
		低温側ループ注入ライン	表面	7.5%	30箇所	P T	(3箇所) 7.5%	—	1箇所	—	1箇所	—	—	—	—	第29保全 サイクル
		充てん／高压注入ポンプ 入口ライン	表面	7.5%	12箇所	P T <sup>※3</sup>	(1箇所) 7.5%	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	1箇所
		充てん／高压注入ポンプ 出口ライン	表面	7.5%	15箇所	P T <sup>※4</sup>	(2箇所) 7.5%	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	1箇所
		充てん／高压注入ポンプ ミニマムフローライン	表面	7.5%	2箇所	P T	(1箇所) 7.5%	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	1箇所
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	20箇所	P T	(2箇所) 7.5%	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	1箇所
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%	27箇所	P T	(3箇所) 7.5%	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	1箇所
		余熱除去クーラ出口ライン	表面	7.5%	41箇所	P T	(4箇所) 7.5%	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	1箇所
		補助注入ライン	表面	7.5%	6箇所	P T	(1箇所) 7.5%	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	1箇所
		A高温側補助注入ライン	表面	7.5%	3箇所	P T	(1箇所) 7.5%	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	1箇所
		B高温側補助注入ライン	表面	7.5%	5箇所	P T	(1箇所) 7.5%	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	1箇所
		低温側補助注入ライン	表面	7.5%	4箇所	P T	(1箇所) 7.5%	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	1箇所
		低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5%	4箇所	P T	(1箇所) 7.5%	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	1箇所
		格納容器再循環サンプ ルライン(RURS)	表面	7.5%	7箇所	P T	(1箇所) 7.5%	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	1箇所
		燃料取替用水タンク 出口ライン(STS)	表面	7.5%	3箇所	P T	(1箇所) 7.5%	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

※2：非破壊検査免除の適用除外により設備数は後更なる追加

※3：非破壊検査免除の適用除外により設備数は1→12箇所、検査箇所数は1→2箇所

※4：非破壊検査免除の適用除外により設備数1→15箇所、検査箇所数は1→2箇所、検査時期に1箇所を削り振る

※5：非破壊検査免除の適用除外により設備数1→1箇所追加となつたため、第2、3検査時期の何れかに1箇所を割り振る

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(1.0力年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
C5.11	C-F	配管の周溶接継手 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超)						—	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	—	第29保全 サイクル	第30保全 サイクル	—	第31保全 サイクル	第32保全 サイクル	第33保全 サイクル
		主給水ライン	体積 及び表面	7.5%	91箇所	UT・PT	7.5% (7箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	2箇所	内厚12.7mm超 ※1
		主蒸気ライン	体積 及び表面	7.5%	114箇所	UT・PT	7.5% (9箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	3箇所	内厚12.7mm超 ※1
		主蒸気逃がしライン	体積 又は表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所	内厚12.7mm以下 ※1
		タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管	体積 又は表面	7.5%	43箇所	PT	7.5% (4箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所	内厚12.7mm以下 ※1
		ほう酸注入タンク入ロライン (機器付き配管)	体積 及び表面	7.5%	2箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所	内厚12.7mm超 ※1
		ほう酸注入タンク出ロライン (機器付き配管)	体積 及び表面	7.5%	1箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所	内厚12.7mm超 ※1
		ほう酸注入タンク出ロライン (機器付き配管)	体積 及び表面	7.5%	1箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所	内厚12.7mm超 ※1
		ほう酸注入タンク出ロライン (機器付き配管)	体積 及び表面	7.5%	1箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所	内厚12.7mm超 ※1
		内部スプレボンブ入ロライン	又は表面	7.5%	14箇所	PT	7.5% (2箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所	内厚12.7mm以下 ※1

※1：非破壊検査免除による追加

項目番号	維持規格	検査の対象箇所	美浜発電所第3号機検査計画(1.0力年)											
			2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	備考		
C5.11	高温側ループ注入ライン	検査方法 体積及び表面	7.5%	33箇所	UT・PT (7.5% (3箇所))	7.5%	27保全サイクル 1箇所	28保全サイクル 1箇所	29保全サイクル 1箇所	30保全サイクル 1箇所	31保全サイクル 1箇所	32保全サイクル 1箇所	内厚12.7mm超	
		低温側ループ注入ライン	体積及び表面	7.5%	89箇所	UT・PT (7.5% (7箇所))	7.5%	2箇所	—	2箇所	—	—	内厚12.7mm超	
	余熱除去ポンプ入口ライン	検査方法 体積又は表面	7.5%	36箇所	PT (7.5% (3箇所))	7.5%	1箇所	—	1箇所	—	—	—	内厚12.7mm以下	
		格納容器再循環サンプルライン(RHRS)	体積又は表面	7.5%	33箇所	PT (7.5% (3箇所))	7.5%	1箇所	—	1箇所	—	—	内厚12.7mm以下	
	格納容器再循環サンプル出口ライン(CSS)	体積又は表面	7.5%	29箇所	PT (7.5% (3箇所))	7.5%	—	—	1箇所	—	—	—	内厚12.7mm以下	
		燃料取替用水タンク出口ライン(STS)	体積又は表面	7.5%	17箇所	PT (7.5% (2箇所))	7.5%	1箇所	—	—	—	—	内厚12.7mm以下	
	燃料取替用水タンク出口ライン(CSS)	体積又は表面	7.5%	7箇所	PT (7.5% (1箇所))	7.5%	—	—	1箇所	—	—	—	内厚12.7mm以下	
		格納容器負圧調整ライン(A, B, C, D, Eライン)	体積又は表面	7.5%	10箇所	PT (7.5% (1箇所))	7.5%	—	—	1箇所	—	—	内厚12.7mm以下	
	格納容器排気ライン	体積及び表面	7.5%	4箇所	UT・PT (7.5% (1箇所))	7.5%	—	—	1箇所	—	—	—	内厚12.7mm超	
		格納容器送気ライン	体積及び表面	7.5%	4箇所	UT・PT (7.5% (1箇所))	7.5%	—	—	1箇所	—	—	内厚12.7mm超	

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10力年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
C5.12	C-F	配管の長手溶接継手 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超)						—	第27保全サイクル	第28保全サイクル	—	第29保全サイクル	第30保全サイクル	—	第31保全サイクル	第32保全サイクル	第33保全サイクル
		主蒸気ライン	体積及び表面	7.5%	129箇所	UT・PT	(7.5% (10箇所))	—	—	—	—	3箇所	—	—	—	—	3箇所 ※1
		配管の周溶接継手 (呼び径50A以上100A以下、肉厚5mm超)	表面	7.5%	9箇所	PT	(7.5% (1箇所))	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	—
		ほう酸注入タンク入口ライン	表面	7.5%	49箇所	PT	(7.5% (4箇所))	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	—
		ほう酸注入タンク出口ライン	表面	7.5%	36箇所	PT	(7.5% (3箇所))	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	—
		補助注入ライン	表面	7.5%	64箇所	PT	(7.5% (5箇所))	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	1箇所 ※1
		A高温側補助注入ライン	表面	7.5%	37箇所	PT	(7.5% (3箇所))	—	—	—	—	2箇所	—	—	—	—	1箇所
		B高温側補助注入ライン	表面	7.5%	60箇所	PT	(7.5% (5箇所))	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	2箇所
		低温側補助注入ライン	表面	7.5%	66箇所	PT	(7.5% (5箇所))	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	1箇所
		低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5%	66箇所	PT	(7.5% (5箇所))	—	—	—	—	2箇所	—	—	—	—	2箇所

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(1.0力年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
C5.21	C-F	体積制御タンク出口ライン	表面	7.5%	2箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	第27保全サイクル	第28保全サイクル	—	第29保全サイクル	第30保全サイクル	—	第31保全サイクル	第32保全サイクル	第33保全サイクル
		充てん／高压注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	189箇所※6	P T	7.5% (1箇所)	—	2箇所	—	—	2箇所	—	—	3箇所	2箇所	※7
		充てん／高压注入ポンプ出口バスライン	表面	7.5%	15箇所	P T	7.5% (2箇所)	—	—	—	—	1箇所	—	—	1箇所	1箇所	※1
		C充てん／高压注入ポンプ出口ライン～C充てん／高压注入ポンプ入口冷却水ライン接続ライン	表面	7.5%	10箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	1箇所	—	—	1箇所	—	※1
		充てん／高压注入ポンプミニマムフローライン	表面	7.5%	15箇所	P T	7.5% (2箇所)	—	—	—	—	1箇所	—	—	1箇所	—	※1
		封水注入フィルタ入口ライン	表面	7.5%	9箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	1箇所	—	—	1箇所	—	※1
		充てん流量制御弁ハイパスライン	表面	7.5%	1箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	1箇所	—	—	1箇所	—	※1
		C充てん／高压注入ポンプ入口冷却水ライン～C充てん／高压注入ポンプ入口ライン	表面	7.5%	26箇所	P T	7.5% (2箇所)	—	—	—	—	1箇所	—	—	1箇所	—	※1
		※1：非破壊検査免除の適用除外による追加 ※2：非破壊検査免除の適用除外により追加を含む ※6：非破壊検査免除の適用除外により設備数8→18箇所、検査箇所数は7→15箇所、検査時期にそれぞれ2箇所（8箇所の25%以上）ずつ割り振る ※7：非破壊検査免除の適用除外により第1検査時に検査箇所数が8箇所追加となつたため、第2、3検査時期にそれぞれ2箇所（8箇所の25%以上）ずつ割り振る															

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(1.0力年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
C5. 30	C-F	ソケット溶接継手						—	第27保全サイクル	第28保全サイクル	—	第29保全サイクル	第30保全サイクル	—	第31保全サイクル	第32保全サイクル	第33保全サイクル
		A高温側補助注入ライン	表面	7.5% 46箇所	PT	7.5% (4箇所)	—	2箇所	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	—
		B高温側補助注入ライン	表面	7.5% 66箇所	PT	7.5% (5箇所)	—	2箇所	—	—	1箇所	—	—	—	—	—	—
		低温側補助注入ライン	表面	7.5% 100箇所	PT	7.5% (8箇所)	—	4箇所	—	2箇所	—	—	—	—	—	—	—
		低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5% 61箇所	PT	7.5% (5箇所)	—	1箇所	—	2箇所	—	—	—	—	—	—	—
		ほう酸注入ライン	表面	7.5% 1箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	—
		充てん／高圧注入ポンプミニマムフロー／ライン	表面	7.5% 47箇所	PT	7.5% (4箇所)	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	—
		充てん流量制御弁／バイパスライン	表面	7.5% 2箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	—
		封水注入フィルタ入口ライン	表面	7.5% 5箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	—
		配管の周溶接継手 (呼び径50を超える母管と管台及び母管と枝管との溶接継手)															
C5. 41	C-F	C充てん／高压注入ポンプ出ロ 冷却水ライン～C充てん／高压注入ポンプ入ロライン接続ラン	表面	7.5% 1箇所	PT	7.5% (1箇所)	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	—

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

美浜発電所第3号機検査計画(1.0力年)										備考
項目番号	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	
F1.21 F-A	主給水ライン 主蒸気ライン 内部スプレボンブ入口ライン 内部スプレボンブ出口ライン	支持構造物	VT-3	7.5%	115箇所	RH MS HS SH	RH MS HS SH	—	—	※1
		主給水ライン	VT-3	7.5%	115箇所	RH MS HS SH	RH MS HS SH	—	—	※1
		主蒸気ライン	VT-3	7.5%	193箇所	RH MS HS SH CH	RH MS HS SH CH	—	—	※1
		内部スプレボンブ入口ライン	VT-3	7.5%	32箇所	RH MS AN	RH MS HS	—	—	※1
		内部スプレボンブ出口ライン	VT-3	7.5%	26箇所	RH MS HS	RH MS HS	—	—	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

美浜発電所第3号機検査計画(1.0力年)										備考							
項目番号	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
		カタゴリ	支持構造物														
F1.21 F-A	恒設代替低圧注水ポンプ 出口ライン	内部スプレーカー入ロライン	V T-3	7.5%	15箇所	MS5 HS4	VT-3	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	※1
									-	-	-	-	-	-	-	-	※1
									-	-	-	-	-	-	-	-	※1
									-	-	-	-	-	-	-	-	※1
									-	-	-	-	-	-	-	-	※1
		RHRS-CSS連絡ライン	V T-3	7.5%	15箇所	MS1 RH11	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	※1
									-	-	-	-	-	-	-	-	※1
									-	-	-	-	-	-	-	-	※1
									-	-	-	-	-	-	-	-	※1
									-	-	-	-	-	-	-	-	※1
原子炉下部キャビティ 注水ポンプ出口ライン	V T-3	7.5%	7箇所	MS3	VT-3	7.5% (1箇所)	RH3 AN1	AN3	-	-	-	-	-	-	-	-	※1
									-	-	-	-	-	-	-	-	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

美浜発電所第3号機検査計画(1.0力年)										備考						
項目番号	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
		支持構造物														
		消火水注入ライン	VT-3	7.5% 5箇所	RH 5	VT-3	7.5% (1箇所)	-								
		タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管	VT-3	7.5% 19箇所	MS 8 HS 3	VT-3	7.5% (2箇所)	-								
		ほう酸注入タンク入ロライン	VT-3	7.5% 3箇所	RH 3	VT-3	7.5% (1箇所)	-								
		ほう酸注入タンク出ロライン	VT-3	7.5% 37箇所	RH 31 HS 5 AN 1	VT-3	7.5% (3箇所)	-								
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	7.5% 83箇所	RH 16 MS 26 HS 24 SH 14 AN 3	VT-3	7.5% (7箇所)	-								

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(1.0力年)										備考					
項目番号	カタゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
F1.21 F-A	余熱除去ポンプ出口ライン 余熱除去クーラー出口ライン 余熱除去クーラーハイバス 支持構造物	VT-3 VT-3 VT-3 VT-3	7.5% 7.5% 7.5% 7.5%	44箇所 44箇所 98箇所 98箇所	RH HS SH MS RH HS MS SH AN RH HS MS SH AN	7.5% (4箇所) 7.5% (8箇所) 7.5% (1箇所) 7.5% (1箇所) 7.5% 7.5% 7.5% 7.5% 7.5% 7.5%	V T - 3 V T - 3	— — — — — — — — — — — — — — —	第27保全 サイクル — — — — — — — — — — — — — —	第28保全 サイクル — — — — — — — — — — — — — —	第29保全 サイクル — — — — — — — — — — — — — —	第30保全 サイクル — — — — — — — — — — — — — —	第31保全 サイクル — — — — — — — — — — — — — —	第32保全 サイクル — — — — — — — — — — — — — —	第33保全 サイクル — — — — — — — — — — — — — —		

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014			美浜発電所第3号機検査計画 (1.0力年)										備考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
F1.21 F-A	高温側ループ注入ライン	VT-3 7.5%	VT-3 7.5% 27箇所	RH MS SH AN	7.5% (3箇所)	VT-3	RH MS SH AN	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
								—	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	—
								—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
								—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
								—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	低温側ループ注入ライン	VT-3 7.5%	VT-3 7.5% 64箇所	RH MS SH AN	7.5% (5箇所)	VT-3	RH MS SH AN	—	—	1箇所	—	—	1箇所	—	—	—	—
								—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
								—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
								—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
								—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
補助注入ライン		VT-3	VT-3 7.5%	RH 20箇所	7.5% (2箇所)	VT-3	RH 62	—	1箇所	—	—	—	2箇所	—	—	—	
A高温側補助注入ライン		VT-3	VT-3 7.5%	MS HS AN	7.5% (6箇所)	VT-3	RH 67箇所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画 (1.0力年)														
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	備考
F1.21 F-A	支持構造物	B高温側補助注入ライン	VT-3	7.5%	69箇所	RH HS IS AN	VT-3 7.5% (6箇所)  VT-3 7.5% (7箇所)  VT-3 7.5% (5箇所)  VT-3 7.5% (4箇所)	-	2箇所	-	2箇所	-	2箇所	-	2箇所	2箇所		
								-	-	-	-	-	-	-	-			
								-	-	-	-	-	-	-	-			
								-	-	-	-	-	-	-	-			
								-	-	-	-	-	-	-	-			
								-	-	-	-	-	-	-	-			
								-	-	-	-	-	-	-	-			
								-	-	-	-	-	-	-	-			
								-	-	-	-	-	-	-	-			
								-	-	-	-	-	-	-	-			
充てん／高圧注入ポンプ入口ライン			VT-3	7.5%	59箇所	RH HS IS AN	VT-3 7.5% (5箇所)	-	2箇所	-	1箇所	-	1箇所	-	1箇所	1箇所	1箇所	
								-	-	-	-	-	-	-	-			
充てん／高圧注入ポンプ			VT-3	7.5%	51箇所	RH HS IS AN	VT-3 7.5% (4箇所)	-	1箇所	-	1箇所	-	1箇所	-	1箇所	1箇所	1箇所	
								-	-	-	-	-	-	-	-			

※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む  
※8：非破壊検査免除の適用除外により設備数30→5箇所、検査箇所数は3→4箇所  
※9：非破壊検査免除の適用除外により第1検査時期に検査箇所数が1箇所追加となったため、第2、3検査時期の何れかに1箇所を割り振る

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014								美浜発電所第3号機検査計画(1.0力年)								備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	
F1.21 F-A	充てん／高圧注入ポンプ 出ロリーフ	充てん／高圧注入ポンプ 出ロリーフ	VT-3	7.5% 77箇所	※10 RH 67 HS 4 AN 6	VT-3	7.5% (6箇所)	—	—	1箇所	—	—	2箇所	1箇所	※11	1箇所	※11	
								—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※2
		充てん／高圧注入ポンプ 出ロリーフ	VT-3	7.5% 4箇所	RH 4	VT-3	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※1
								—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※1
		ほう酸注入ライン	VT-3	7.5% 15箇所	RH 15	VT-3	7.5% (2箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※1
								—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※1
		封水注入フィルタ入ローライン	VT-3	7.5% 6箇所	RH 6	VT-3	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※1
								—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※1
	充てん／高圧注入ポンプ ミニマムフローライン	充てん／高圧注入ポンプ ミニマムフローライン	VT-3	7.5% 25箇所	RH 23 AN 2	VT-3	7.5% (2箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※1
								—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加  
 ※2：非破壊検査免除の適用除外により設備数4→6箇所、検査箇所数は4→7箇所、  
 ※3：非破壊検査免除の適用除外により第1検査時期に検査箇所数が2箇所増加したため、第2、3検査時期にそれぞれ1箇所（2箇所の25%以上）ずつ割り振る  
 ※4：非破壊検査免除の適用除外により第1検査時期に検査箇所数が2箇所（2箇所の25%以上）ずつ割り振る

美浜発電所第3号機検査計画 (1.0力年)							備考																			
項目番号	維持規格	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2023年度		2024年度		2025年度		2026年度		2027年度		2028年度		2029年度		2030年度		2031年度	
		カタゴリ	支持構造物						第27保全サイクル	第28保全サイクル	第29保全サイクル	第30保全サイクル	第31保全サイクル	第32保全サイクル	第33保全サイクル											
	C充てん／高圧注入ポンプ出入口 冷却水ライン～C充てん／高圧 注入ポンプ入ロライン接続ラ イン	VT-3	7.5%	RH 10	VT-3 (1箇所)	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※1		
	C充てん／高圧注入ポンプ出入口 ライン～C充てん／高圧注入ボ ンブ入ロ冷却水ライン接続ラ イン	VT-3	7.5%	RH 3	VT-3 (1箇所)	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※1			
	格納容器再循環サンプ 戻りライン(RHRS)	VT-3	7.5%	RH 10 AN 2	VT-3 (2箇所)	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所			
	格納容器再循環サンプ 出ロライン(CSS)	VT-3	7.5%	RH 8 MS 5 HS 1 AN 2	VT-3 (2箇所)	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所			
F1.21	F-A	格納容器再循環サンプ 出ロライン(CSS)	VT-3	7.5%	RH 10 MS 10 HS 1 AN 2	VT-3 (1箇所)	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※1		
	燃料取替用水タンク (SIS)	VT-3	7.5%	RH 10	VT-3 (1箇所)	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※1			
	燃料取替用水タンク 出口ライン(CSS)	VT-3	7.5%	RH 2	VT-3 (1箇所)	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	※1		

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 6. 充てん／高压注入ボンブ

項目番号	カタゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	備考
		検査の対象箇所	検査方法						第27保全サイクル	第28保全サイクル	第29保全サイクル	第30保全サイクル	第31保全サイクル	第32保全サイクル	第33保全サイクル	第34保全サイクル	第35保全サイクル		
C3.30	C-C ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	16箇所 ×3台	PT	7.5% (4箇所)	PT	—	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	※1	
C4.30	C-D ケーシングボルト	体積	代表1台 の7.5% ×3台	16本/ 台 ×3台	UT	代表1台 の7.5% (2本)	—	—	—	—	—	—	1本	—	—	—	—	※1	
C6.10	C-G ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5% ×3台	2箇所/ 台 ×3台	PT	代表1台 の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	※1	
F1.43	F-A 支持構造物ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5% ×3台	2箇所/ 台 ×3台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	1箇所	—	—	—	—	※1	

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

7. 余熱除去システム

項目番号	維持規格	美浜発電所第3号機検査計画(10力年)										備考	
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
C6.10	C-G ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5% 3箇所／台×2台	P T	代表1台の7.5% (1箇所)	代表1台の7.5% (1箇所)	—	—	第27保全サイクル —	第28保全サイクル —	第29保全サイクル —	第30保全サイクル —	第31保全サイクル —
F1.43	F-A 支持構造物ボンブ台板脚	VT-3	代表1台の7.5% 1箇所／台×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	代表1台の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—

## 8. 内部スパンプレボンブ

項目番号	部位 カテゴリ	規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)									備考						
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	3箇所/ 台×4台	P T	代表1台の 7.5% (1箇所)	—	—	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	—	第29保全 サイクル	第30保全 サイクル	—	第31保全 サイクル	第32保全 サイクル	第33保全 サイクル
F1.43	F-A	支持構造物ボンブ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 台×4台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 9. 兼

		維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014										美浜発電所第3号機検査計画(10方年)									
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	備考			
C6-20	C-G	弁本体の溶接継手 充てん／高圧注入ポンプ ミニマムフローライン 封水注入フィルタ入ロライン	表面	7.5% 3箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	第27保全 サイクル	—	第28保全 サイクル	—	第29保全 サイクル	—	第30保全 サイクル	—	第31保全 サイクル	—	第32保全 サイクル	第33保全 サイクル		
		支持構造物																			
		主給水ライン	VT-3	代表1箇 の7.5% 2箇所×2個 1箇所×1個	VT-3	代表1箇 の7.5% (1箇所)	—											GM37 ※1			
		主蒸気逃がしライン	VT-3	代表1箇 の7.5% 3箇所×1個	VT-3	代表1箇 の7.5% (1箇所)	—											GM36S ※1			
		タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管	VT-3	代表1箇 の7.5% 2箇所×2個 1箇所×1個	VT-3	代表1箇 の7.5% (1箇所)	—											GM54FC ※1			
F1.43	F-A	内部スプレーカー出口ライン	VT-3	代表1箇 の7.5% 1箇所×1個 2箇所×1個	VT-3	代表1箇 の7.5% (1箇所)	—											GM54FE ※1			
		RHRS-CSS連絡ライン	VT-3	代表1箇 の7.5% 1箇所×1個	VT-3	代表1箇 の7.5% (1箇所)	—											GM54FA ※1			
		燃料取替用タンク 出ロライン(CSS)	VT-3	代表1箇 の7.5% 1箇所×1個 2箇所×1個	VT-3	代表1箇 の7.5% (1箇所)	—											GM54FA ※1			

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

項目番号	カテゴリ	維持規格	JSME S NAI-2012/2013/2014	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(10万年)						備考						
										2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度							
F1.43	F-A	支撑構造物								—	第27保全サイクル	—	第28保全サイクル	—	第29保全サイクル	—	第31保全サイクル	—	第32保全サイクル	—	第33保全サイクル	—
			充てん／高圧注入ポンプ 出ロライン	VT-3	代表1個 (の7.5%)	2箇所／ 個×4個	VT-3	代表1個 (の7.5% の7.5% (1箇所))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		充てん／高圧注入ポンプ 出ロライン(1)			VT-3	代表1個 (の7.5%)	1箇所／ 個×5個	VT-3	代表1個 (の7.5% (1箇所))	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	GM5.8FN ※2
		充てん／高圧注入ポンプ 出ロライン(2)			VT-3	代表1個 (の7.5%)	1箇所／ 個×2個	VT-3	代表1個 (の7.5% (1箇所))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	MOWG
		充てん／高圧注入ポンプ ミニマムフローライン(1)			VT-3	代表1個 (の7.5%)	2箇所／ 個×1個	VT-3	代表1個 (の7.5% (1箇所))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	GM5.8 ※1
		充てん／高圧注入ポンプ ミニマムフローライン(2)			VT-3	代表1個 (の7.5%)	1箇所／ 個×2個	VT-3	代表1個 (の7.5% (1箇所))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	TM5.8FN ※1
		充てん／高圧注入ポンプ(3)			VT-3	代表1個 (の7.5%)	1箇所／ 個×1個	VT-3	代表1個 (の7.5% (1箇所))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	TM5.8 ※1
		封水注入フィルタ入ロライン			VT-3	代表1個 (の7.5%)	1箇所／ 個×1個	VT-3	代表1個 (の7.5% (1箇所))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	GM5.8FN ※1
		アニユラス再循環ファン 行きライン			VT-3	代表1個 (の7.5%)	1箇所／ 個×2個	VT-3	代表1個 (の7.5% (1箇所))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	BUTTERFLY ※1
		アニユラス再循環及び アニユラス排気ライン			VT-3	代表1個 (の7.5%)	1箇所／ 個×2個	VT-3	代表1個 (の7.5% (1箇所))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	BUTTERFLY ※1
		アニユラス再循環及び アニユラス排気バイパス ライン			VT-3	代表1個 (の7.5%)	1箇所／ 個×2個	VT-3	代表1個 (の7.5% (1箇所))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	BUTTERFLY ※1
		アニユラス再循環戻りライン (1)			VT-3	代表1個 (の7.5%)	1箇所／ 個×2個	VT-3	代表1個 (の7.5% (1箇所))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	BUTTERFLY ※1
		アニユラス再循環戻りライン (2)			VT-3	代表1個 (の7.5%)	1箇所／ 個×2個	VT-3	代表1個 (の7.5% (1箇所))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	CHECK ※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加  
 ※2：非破壊検査免除の適用除外により設置箇所「1箇所／個×1個」→「1箇所／個×5個」、検査箇所数は変更なし  
 ※1.2：非破壊検査免除の適用除外により設置箇所「1箇所／個×1個」、検査箇所数は変更なし

		維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)												
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	備考
F1.43	F-A	支持構造物						—	第27保全サイクル	—	第28保全サイクル	—	第29保全サイクル	—	第30保全サイクル	—	第31保全サイクル	
		格納容器再循環サンプル戻りライン(RHRS)	VT-3	代表1個の7.5% 1箇所×1個	VT-3	代表1個の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	GM5.4FE
		格納容器再循環サンプル出口ライン(CSS)	VT-3	代表1個の7.5% 1箇所×2個	VT-3	代表1個の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	GM5.8SCH ※1
		余熱除去クーラ出口ライン(1)	VT-3	代表1個の7.5% 1箇所×1個	VT-3	代表1個の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	GM5.4FE
		余熱除去クーラ出口ライン(2)	VT-3	代表1個の7.5% 2箇所×2個	VT-3	代表1個の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	BA5.4D
		余熱除去クーラ出口ライン(3)	VT-3	代表1個の7.5% 1箇所×2個	VT-3	代表1個の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	GM5.4
		余熱除去クーラバイパスライン	VT-3	代表1個の7.5% 2箇所×2個	VT-3	代表1個の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	BA5.4R
		△高温側補助注入ライン	VT-3	代表1個の7.5% 2箇所×1個	VT-3	代表1個の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	GM5.8
		低温側補助注入ライン	VT-3	代表1個の7.5% 1箇所×1個	VT-3	代表1個の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	GM5.8
		低温側ほう酸注入ライン	VT-3	代表1個の7.5% 1箇所×2個	VT-3	代表1個の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	MOWG

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 10. ケラス2機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		運転圧力又は最高適用圧力 [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	2022年度	2023年度	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)				備考
		系統名・ライン名	原子炉冷却系 CH/S I-P、RHRH x逃がし弁出口 (PEN#259~3V-8079)						第27保全サイクル	第28保全サイクル	第29保全サイクル	第30保全サイクル	
C7.10	C-H	抽出ライン N <sup>o</sup> . 1 (3LCV-459~3A0V-8149A-B-C)	15.41	15.41	—	第27保全サイクル	—	第28保全サイクル	—	第29保全サイクル	—	第30保全サイクル	第31保全サイクル
C7.30	C-H	抽出ライン N <sup>o</sup> . 2 (3A0V-8149A-B-C~3PCV-145, 3V-8409)	2.0	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	第32保全サイクル
C7.50	C-H	抽出ライン N <sup>o</sup> . 3 (3PCV-145, 3V-8409~3TCV-143)	0.28	0.28	—	—	—	—	—	—	—	—	第33保全サイクル
C7.70	C-H	体積制御タンク八口ライン (3TCV-143~3LCV-15A)	0.2	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		体積制御タンクまわり (3LCV-115A~体積制御タンク~3LCV-115B)	0.103	0.103	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		体積制御タンク出ロライン (3LCV-115B~3V-8471A-B-C)	0.23	0.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		A充てん／高压注入ポンプ八口ライン (3V-8471A~3V-8455A, 3M0V-8109A)	0.23	0.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		B充てん／高压注入ポンプ八口ライン (3V-8471B~3V-8455B, 3M0V-8109B)	0.23	0.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		C充てん／高压注入ポンプ八口ライン (3V-8471C~3V-8455C, 3M0V-8109C)	0.23	0.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		充てん／高压注入ポンプ出口ライン (3V-8485A-B-C~3FCV-122, 3V-8403, 3HCV-186, 3V-8389, 3M0V-8814, 3M0V-8815, 3M0V-8803A-B, 3M0V-8816, 3V-8911)	17.5	17.5	—	—	—	—	—	○	—	—	—
		充てんライン (3FCI-122, 3V-8403, 3V-8173 ~ 3V-8378A, 3A0V-8145)	15.41	15.41	—	—	○	—	—	—	—	—	—
		封水注入ライン (3HCU-186, 3V-8389~3V-8368A-B-C)	15.41	15.41	—	—	—	—	○	—	—	—	—

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所			検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画（10年）						備考			
		系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力 [MPa]	2022年度			2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度			
	化学供給制御系統	封水戻りライン (3M01-8112, 3V-8111～3M0V-8100)	0.17	0.17	-	第27保全 サイクル	-	第28保全 サイクル	-	第29保全 サイクル	-	第30保全 サイクル	-	第31保全 サイクル	第32保全 サイクル	第33保全 サイクル
		Aほう酸タンクまわり (ほう酸タンク～3V-8461A、3HCV-110、3V-8457A、3V-8375A、3V-8456A)			-	○	-	-	-	-	-	-	-			
		Bほう酸タンクまわり (ほう酸タンク～3V-8461B、3HCV-105、3V-8457B、3V-8456B、3V-8375B)			-	○	-	-	-	-	-	-	-			
		ほう酸ポンプ入口ライン (3V-8461A・B～3V-8372、3V-8459A・B・C・D、3V-8460A・B・C、3V-6171)			-	○	-	-	-	-	-	-	-			
C7.10	C-H	ほう酸ポンプ出口ライン (3V-8459A・B・C・D 3V-8460A・B・C～3HCV-110、3HCV-105、3AV-8883、3V-8442、3V-8439、3FCV-113B、3V-8429、3FCV-114A、3V-8432、3V-8457A-B)	0.19	0.19	-	○	-	-	-	-	-	-	-			
C7.30		安全注入系統														
C7.50		Aアキュムレータまわり (アキュムレータ～3A0V-8875A、3V-8855A、3M0V-8808A、3V-8935A、3V-8960A、3V-8934A)	4.55	4.55	-		-	-	-	-	-	-	-	※一部気圧試験により検査		
C7.70		Bアキュムレータまわり (アキュムレータ～3A0V-8875B、3V-8855B、3M0V-8808B、3V-8935B、3V-8960B、3V-8934B)	4.55	4.55	-		-	-	-	-	-	-	-	※一部気圧試験により検査		
		Cアキュムレータまわり (アキュムレータ～3A0V-8875C、3V-8855C、3M0V-8808C、3V-8935C、3V-8960C、3V-8934C)	4.55	4.55	V T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	※一部気圧試験により検査		
		Aアキュムレータ出口ライン (3M01-8808A～3V-8956A, 3AOV-8877A)	4.55	4.55	-		-	-	-	-	-	-	-	○		
		Bアキュムレータ出口ライン (3M01-8808B～3V-8956B, 3AOV-8877B)	4.55	4.55	-		-	-	-	-	-	-	-	○		
		Cアキュムレータ出口ライン (3M01-8808C～3V-8956C, 3AOV-8877C)	4.55	4.55	-		-	-	-	-	-	-	-	○		

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画（10カ年）						備考	
		系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力 [MPa]			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
		安全注入系統				－	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	－	第29保全 サイクル	－	第30保全 サイクル	第31保全 サイクル
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	燃料取替用水タンクまわり (燃料取替用水タンク～3V-6415A・B、3V- 6451、3V-6470A・B、3V-5400、3V- 5412、3V-6413、3V-5410、3V-8869、3V- 5413、3V-8932、3V-8434、3V-8918、3V- 5414A、3V-5415A、3V-5471、3V-5472、3V- 5473、3M0V-6400A・B、3LCV-115D・E、3M0V- 8809A・B)	水張状態	－	○	－	－	－	－	－	－	－	
		ほう驗注入タンクまわり (3M0V-8803A・B～3M0V-8801A・B、3V-8852、 3V-8904、3V-8915、3V-8912)	11.83	11.83	－	－	－	－	○	－	－	－	－
		高圧注入ライン (レーブ低温側) (3M0V-8801A・B、3V-8911～3V-8944A・B・C、 3V-9148D、3V-9149P)	15.41	15.41	－	－	－	－	－	－	－	○	○
		高圧補助注入ライン (ループ高温側その 1) (3M0V-8814～3V-8939A・B・C)	15.41	15.41	－	－	－	－	－	－	－	○	○
		高圧補助注入ライン (ループ低温側) (3M0V-8915～3V-8942A・B・C)	15.41	15.41	－	－	－	－	－	－	－	○	○
		高圧補助注入ライン (ループ高温側その 2) (3M0V-8816～3V-8937A・B・C)	15.41	15.41	－	－	－	－	－	－	－	○	○
		低圧補助注入ライン (3M0V-8819～3V-8935A・B)	15.41	15.41	－	－	－	－	－	－	－	○	○
		アキュムレータ管素供給ライン (3A0V-8880～3V-8947)	4.55	4.55	－	－	－	－	○	－	－	○	○
		アキュムレータ水張りライン (3V-8968～3V-8989)	7.8	7.8	－	－	－	－	○	－	－	○	○
		アキュムレータストライン (3A0V-8871～3A0V-8961)	4.12	4.12	－	－	－	－	○	－	－	○	○
		原子炉キャビティ入口ライン (3V-5420～PEN#301)	0.85	0.85	－	－	－	－	○	－	－	○	○

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所			検査圧力又は最高使用圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画（10カ年）						備考	
		系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力 [MPa]	検査圧力 [MPa]			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
	安全注入系統						－	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	－	第29保全 サイクル	－	第30保全 サイクル	第31保全 サイクル
	原子炉キャビティライン (PE#265～3V-5441)	0.11	0.11	VT-2	－				－		－	－	○	
	余熱除去系統													
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	A余熱除去ポンプ入口ライン (3M0V-8701A～3FCV-602A、3M0V-8811A、3V-8708A、3M0V-8809A、3V-8728A)	2.75	2.75	VT-2	－		○	－	○	－	－	－	－	
	B余熱除去ポンプ入口ライン (3M0V-8701B～3FCV-602B、3M0V-8811B、3V-8708B、3M0V-8809B、3V-8728B)	2.75	2.75	VT-2	－		○	－	○	－	－	－	－	
	A余熱除去ポンプ出ロライン (3V-8728A～3V-8973A・B、3M0V-8972B、3M0V-8819、3M0V-8817B、3FCV-602A、3M0V-8706A、3M0V-761、3V-8711A、3V-8720A)	3.44	3.44	VT-2	－		○	－	○	－	－	－	－	
	B余熱除去ポンプ出ロライン (3V-8728B～3V-8973C、3M0V-8972B、3M0V-8817B、3FCV-602B、3M0V-8706B、3V-8711B、3V-8720B)	3.44	3.44	VT-2	－		○	－	○	－	－	－	－	
	格納容器圧力低減系統													
	内部スプレポンプ入口ライン A系列 (3M0V-6400A、3M0V-6408A～3V-6403A・B)					水張状態	－	○	－	－	－	－	－	
	内部スプレポンプ入口ライン B系列 (3M0V-6400B、3M0V-6408B～3V-6403C・D)					水張状態	－	○	－	－	－	－	－	
	内部スプレポンプ出口ライン A系列 (3V-6403A・B～3V-6407A・B、3M0V-760、3V-2381、3V-6411A)	2.01	2.01	VT-2	－		○	－	○	－	－	－	－	
	内部スプレポンプ出口ライン B系列 (3V-6403C・D～3V-6407C・D、3V-6411B)	2.01	2.01	VT-2	－		○	－	○	－	－	－	－	
	よう素除去薬品タンクまわり (よう素除去薬品タンク～3V-6416A・B)	34kPa	34kPa	VT-2	－		○	－	○	－	－	－	－	※一部気圧試験により検査
	よう素除去薬品タンク出口ライン A系列 (その1) (3V-6416A～3V-6460A)	34kPa	34kPa	VT-2	－		○	－	○	－	－	－	－	

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)						備考	
		系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力 [MPa]			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	格納容器圧力低減系統											
		ふう素除去薬品タンク出ロラインA系列 (ぞの2) (3V-6460A～スプレエゼクタ)	34kPa	34kPa	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	第29保全 サイクル	第30保全 サイクル	第31保全 サイクル	第32保全 サイクル	第33保全 サイクル	第34保全 サイクル	
		ふう素除去薬品タンク出ロラインB系列 (ぞの1) (3V-6416B～3V-6460B)	34kPa	34kPa	V T - 2	—	—	—	—	—	—	○	
		ふう素除去薬品タンク出ロラインB系列 (ぞの2) (3V-6460B～スプレエゼクタ)	34kPa	34kPa	V T - 2	—	—	—	—	—	—	○	
		主給水系統											
		A蒸気発生器主給水入口ライン ～A蒸気発生器 (3FW-520A、3FW-562A、3FW-571A、3FW-569A)	6.4	6.4	V T - 2	—	—	—	—	—	—	○	
		B蒸気発生器主給水入口ライン ～B蒸気発生器 (3FW-520B、3FW-562B、3FW-571B、3FW-569B)	6.4	6.4	V T - 2	—	—	—	—	—	—	○	
		C蒸気発生器主給水入口ライン ～C蒸気発生器 (3FW-520C、3FW-562C、3FW-571C、3FW-569C)	6.4	6.4	V T - 2	—	—	—	—	—	—	○	
		主蒸気系統											
		A蒸気発生器主蒸気出口ライン (A蒸気発生器～3MS-011A、3MS-520A、3HCV-3016、3MS-537A、3MS-528A)	6.04	6.04	V T - 2	—	—	—	—	—	—	○	
		B蒸気発生器主蒸気出口ライン (B蒸気発生器～3MS-520B、3HCV-3017、3MS-537B、3MS-528B)	6.04	6.04	V T - 2	—	—	—	—	—	—	○	
		C蒸気発生器主蒸気出口ライン (C蒸気発生器～3MS-011B、3MS-520C、3HCV-3018、3MS-537C、3MS-528C)	6.04	6.04	V T - 2	—	—	—	—	—	—	○	

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所			検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画（10カ年）					備考	
		系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力 [MPa]	検査圧力 [MPa]			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
		1次系補給水系統					－	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	－	第29保全 サイクル	－	第30保全 サイクル
		加圧器逃がしタンク1次系補給水供給ライ ン (3A01-8028～3V-8046、3V-8012)	0.7	0.7	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	－
		格納容器内洗浄水供給ライン (3V-6146～3V-6147)	0.6	0.6	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	－
		液体廃棄物処理系統											
		格納容器冷却材ドレンポンプ出ロライン (3LCV-1003～3AOV-9170)	0.6	0.6	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	－
		格納容器サンプホープ出ロライン (3A01-9352A～3A01-9352B)	90kPa	90kPa	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	－
		蒸気発生器プローダウン系統											
	C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 C-H	A蒸気発生器プローダウン試料採取ライン (PEN#284～3AOV-5502A)	6.03	6.03	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	○
		B蒸気発生器プローダウン試料採取ライン (PEN#232～3AOV-5502B)	6.03	6.03	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	○
		C蒸気発生器プローダウン試料採取ライン (PEN#231～3AOV-5502C)	6.03	6.03	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	○
		A蒸気発生器プローダウンライン (PEN#279～3AOV-5505A)	6.03	6.03	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	○
		B蒸気発生器プローダウンライン (PEN#233～3AOV-5505B)	6.03	6.03	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	○
		C蒸気発生器プローダウンライン (PEN#230～3AOV-5505C)	6.03	6.03	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	○
		原子炉補機冷却系統											
		余剰抽出水クーラ出口ライン (PEN#384～3AOV-5138)	210kPa	210kPa	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	－
		余剰抽出水クーラ入口ライン (3AOV-5136～PEN#383)	0.8	0.8	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	－
		冷却材ポンプ入口ライン (3M01-5141B～3V-5142)	0.8	0.8	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	－
		冷却材ポンプモータ出口ライン (3M01-5298、3V-5311～3M0V-5155)	210kPa	210kPa	V T - 2	－	○	－	－	－	－	－	－

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査圧力又は最高使用圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考	
		系統名・ライン名	運転圧力又は最高使用圧力 [MPa]			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
		原子炉補機冷却系統				－	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	－	第29保全 サイクル	－	第30保全 サイクル	第31保全 サイクル
		冷却材ポンプ出口ライン (3MOV-5299, 3V-5312～3FCV-1241)	210kPa	210kPa	－	－	－	－	－	○	－	○	－
		格納容器循環空調装置入口ライン (3MOV-5160A～3V-5161)	0.8	0.8	VT-2	－	－	－	－	○	－	○	－
		格納容器循環空調装置出口ライン (PEH#257～3MOV-5160B)	210kPa	210kPa	－	－	－	－	－	○	－	○	－
		1次系試料採取系統											
		加圧器気相部サンプルライン (3AOV-5000～3AOV-5001)	15.41	15.41	－	－	－	－	－	－	－	－	○
		加圧器液相部サンプルライン (3AOV-5002～3AOV-5003)	15.41	15.41	－	－	－	－	－	－	－	－	○
		1次冷却材A,Bループ 高温側サンプルライン (3AOV-5004A, 3MOV-5004B～3AOV-5005)	15.41	15.41	VT-2	－	－	－	－	－	－	－	○
		アキエムレータサンプルライン (3AOV-5018A・B・C～3AOV-5019)	4.18	4.18	－	－	－	－	－	－	－	－	○
		計器用空気系統											
		制御用空気Aヘッダライン (3MOV-6202～3V-6204A)	0.65	0.65	－	○	－	－	－	－	－	－	
		制御用空気Bヘッダライン (3MOV-6203～3V-6204B)	0.65	0.65	－	○	－	－	－	－	－	－	
		雑用空気系統											
		雑用空気供給ライン (3V-7261～3V-7262)	0.7	0.7	VT-2	－	○	－	－	－	－	－	
		消火水系統											
		消火水ライン (3MOV-6331～3V-6332)	0.76	0.76	VT-2	－	○	－	－	－	－	－	

## クラス3機器供用期間中検査10年計画

## 1. 金熱除去クーラ(胴側)

維持規格 JSME NAI-2012/2013/2014<sup>※1</sup>

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(10万年)						備考	
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-1	7.5% 2箇所×2基	VT-1	7.5% 1箇所	1箇所								第27保全サイクル
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	7.5% 2箇所×2基	VT-3	7.5% 1箇所	1箇所								—

## 2. 内部スブレーカー

維持規格 JSME NAI-2012/2013/2014

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(10万年)						備考	
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-1	7.5% 2箇所×2基	VT-1	7.5% 1箇所	1箇所								第27保全サイクル
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	7.5% 2箇所×2基	VT-3	7.5% 1箇所	1箇所								—

## 3. 1次系冷却水クーラー

維持規格 JSME NAI-2012/2013/2014

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(10万年)						備考	
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-1	7.5% 3箇所×3基	VT-1	7.5% 1箇所	1箇所								第27保全サイクル
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	7.5% 3箇所×3基	VT-3	7.5% 1箇所	1箇所								—

※1:NRA文書実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版以下、亀裂解釈NRA文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に關する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を重複解釈NRA文書改訂の施行日より適用する。なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。

\*維持規格2008年版:2014年～2019年5月(本サイクル開始～電気解釈NRA文書改訂まで)

## 4. D/G 清水冷却器

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)									
項目番号	カタゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第25保全サイクル					備考
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
D1.10	D-A	洞と取付脚との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所／基 ×2基	VT-1	7.5% 1箇所						第26保全サイクル
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	7.5%	2箇所／基 ×2基	VT-3	7.5% 1箇所						第27保全サイクル

## 5. D/G 開閉油冷却器

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)									備考
項目番号	カタゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第25保全サイクル					
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	第26保全サイクル
D1.10	D-A	洞と取付脚との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所／基 ×2基	VT-1	7.5% 1箇所						第27保全サイクル
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	7.5%	2箇所／基 ×2基	VT-3	7.5% 1箇所						第27保全サイクル

## 6. D／G油巻ストレーナ

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014							美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)							備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	第25保全サイクル						備考	
							2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
D1.10	D-A	胴とサポート用ブラケット との溶接継手	VT-1	7.5% ×2基	2箇所／基	VT-1	7.5% 1箇所							第26保全サイクル
F1.44	F-A	サポート用ブラケット	VT-3	7.5% ×2基	2箇所／基	VT-3	7.5% 1箇所							第27保全サイクル
F1.44	F-A	サポート	VT-3	7.5% ×2基	2箇所／基	VT-3	7.5% 1箇所							—

## 7. 海水ストレーナ

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014							美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)							備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	第25保全サイクル						備考	
							2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
F1.44	F-A	支持構造物	VT-3	7.5%	4	AN 4	VT-3	7.5% 1箇所						第26保全サイクル

## 8.配管

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(10万年)						備考		
									2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
													第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル		
D1.20	D-A	配管支持部材取付溶接継手	原子炉補機冷却水系統	VT-1	7.5%	41箇所	VT-1	7.5% 4箇所	1箇所								
F1.31	F-A	支持構造物	原子炉補機冷却水系統	VT-1	7.5%	40箇所	VT-1	7.5% 3箇所	1箇所						1箇所	1箇所	
			原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	265 箇所	RH 230	7.5% 20箇所	3箇所					5箇所	8箇所	—	1箇所
						AN 35	VT-3		1箇所					1箇所		—	1箇所
			原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	189 箇所	RH 155	7.5% 15箇所	2箇所					5箇所	4箇所	—	1箇所
						AN 34	VT-3		1箇所							—	2箇所

## 9.1次系冷却水ポンプ

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(10万年)						備考		
									2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
													第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル		
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	7.5%	2箇所／基 ×4基	VT-3	7.5% 1箇所							1箇所		—	—

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10万年)																				備考						
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		備考
								第25保全サイクル		第26保全サイクル		第27保全サイクル																
F1.31 F-A	支持構造物	原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	4	A <sub>N</sub> 4	7.5% 1箇所																					
	原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	2	R <sub>H</sub> 2	7.5% 1箇所																						

美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考									
項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014	検査の対象箇所 系統名・ライン名	検査方法	運転圧力又 は最高使用 圧力 MPa	検査 方法	第25保全サイクル												
							2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			
<b>燃料ピット冷却浄化系統</b>																			
			燃料ピットポンプ入口ライン	VT-2	水張状態	水張状態					○			○		○			
			燃料ピットポンプ出口ライン	0.500	0.500	VT-2													
<b>原子炉補機冷却水系統</b>																			
D2.10 D2.30	D-B	A, B1次系冷却水ポンプ 入口ライン(Aヘッダ戻り)	210kPa	210kPa			○										○		○
		C, D1次系冷却水ポンプ 入口ライン(Bヘッダ戻り)	210kPa	210kPa		VT-2	○										○		○
		A, B1次系冷却水ポンプ 出口ライン(Aヘッダ供給)	0.8	0.8	VT-2	0.8										○	○	○	
		C, D1次系冷却水ポンプ 出口ライン(Bヘッダ供給)	0.8	0.8												○	○	○	
<b>1次系海水系統</b>																			
		A, B海水ポンプ出口ライン	0.240	0.240	VT-2	0.240										○	○	○	
		C, D海水ポンプ出口ライン	0.240	0.240			○									○	○	○	
<b>計器用空気系統</b>																			
		A, B計器用空気供給ライン	0.64	0.64	VT-2	0.64	VT-2									○	○	○	

## クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査7年計画

## 原子炉容器

項目	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査方法	検査範囲	美浜3号機7力年計画					備考	
							2011年度 ～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
—	—	600系Ni基合金製の底部 底部管台	BMV (3.5年)	100% 50箇所	BMV 50箇所	50箇所	—	50	—	50	—	—	第29保全 サイクル
													第29保全 サイクル

BMV：ベアメタル検査

クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査7年計画

項目	カテゴリ	試験検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画（7カ年）						備考				
					設備数	検査方法	検査範囲	2009年度	2010年度	2011年度～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
		配管の円周方向溶接部								第25保全サイクル	—	第26保全サイクル	—	第27保全サイクル	—
	抽出ライン	体積	25%	30箇所	UT	8	4	—			4	—	—	—	
	充てんライン	体積	25%	67箇所	UT	17	12	—			5	—	—	—	
	再生クリーラ連絡管														
	抽出ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	3	1	—			2	—	—	—	
	充てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	3	1	—			2	—	—	—	

## 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

### 1. 原子炉格納容器

維持規格 JSME S NAI-20012/2013/2014			美浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)												
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲			第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	備考		
							2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
E8.10	E-G	機器艤入口用ボルト締付付部	VT-4	25%	56	VT-4	25%	14						14	-

## 1. 1次系冷却水クーラー

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

項目番号	カデゴリ	規格	JSME S NA1-2012./2013./2014	美浜発電所第3号機検査計画(10方年)								備考						
				検査対象箇所	検査方法	設備数	検査範囲	2016~2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
C1.10	C-A	胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5% 4箇所／基×3基	UT	1つの容器の7.5%	7.5%	—	—	—	—	7.5%	—	—	—	—	—	第31保全サイクル
C1.30		胴と管板との溶接継手	体積	1つの容器の7.5% 2箇所／基×3基	UT	1つの容器の7.5%	7.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第30保全サイクル
C2.21	C-B	出入口管台と胴との溶接継手	体積及び表面	1つの容器の7.5% 2箇所／基×3基	UT・PT	1つの容器の7.5% (1箇所)	7.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所
C2.22		呼び径300△を超える管台内面の丸みの部分	体積	1つの容器の7.5% 2箇所／基×3基	UT	1つの容器の7.5% (1箇所)	7.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所
C3.10	C-C	胴と当板との溶接継手	表面	1つの容器の7.5% 3箇所／基×3基	PT	1つの容器の7.5% (1箇所)	7.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所
F1.43	F-A	支持脚	V T-3	1つの容器の7.5% 3箇所／基×3基	VT-3	1つの容器の7.5% (1箇所)	7.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所

## 2. 配管(1/5)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/-2013/2014	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)						備考
									2016~2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度 第27保全サイクル	2023年度 第28保全サイクル	2024年度 第29保全サイクル	2025年度 第30保全サイクル	
C3.20 C-C	配管	支特部材取付溶接継手 燃料取替用ウォータンク補給用移送 原子炉下部キャビティ 注水ポンプ出口ライン 恒歯代替低圧注水ポンプ出口 可搬式代替低圧注水ポンプ出 口ライン 1次系冷却水Cヘッド 戻りライン 1次系冷却水ポンプヘッドライ ン 1次系冷却水ポンプ出口ライ ン タービン動捕給水ポンプ 駆動蒸気管 格納容器循環空調装置冷却水 供給ライン 格納容器循環空調装置冷却水 戻りライン 原子炉下部キャビティ 注水ライン	表面	7.5%	4箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—
			表面	7.5%	2箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—
			表面	7.5%	2箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—
			表面	7.5%	18箇所	P T	7.5% (2箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—
			表面	7.5%	3箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	1箇所
			表面	7.5%	4箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—
			表面	7.5%	8箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—
			表面	7.5%	13箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—
			表面	7.5%	2箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—
			表面	7.5%	2箇所	P T	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 2. 配管(2/5)

		維持規格 JSME S NAI-2012./2013./2014		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)						備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	(呼び径100A超、肉厚9.5mm超)					2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		
C5.11 C-F		配管の周溶接継手 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超)						第25保全サイクル	第26保全サイクル	一	第27保全サイクル	一	第28保全サイクル	第29保全サイクル	
		燃料取替用水タンク補給用移送ライン	体積及び表面	7.5%	25箇所	UT・PT (2箇所)	7.5%	一	一	一	一箇所	一	一箇所	一箇所	
		主蒸気大気放出ライン	体積又は表面	7.5%	6箇所	PT (1箇所)	7.5%	一	一	一	一箇所	一	一箇所	一箇所	
		タービン動補助給水ポンプ	体積又は表面	7.5%	89箇所	PT (7箇所)	7.5%	一	一	一	一箇所	一	一箇所	一箇所	
		駆動蒸気管	体積又は表面	7.5%	22箇所	UT・PT (2箇所)	7.5%	一	一	一	一箇所	一	一箇所	一箇所	
		補助給水ライン	体積又は表面	7.5%	22箇所	UT・PT (2箇所)	7.5%	一	一	一	一箇所	一	一箇所	一箇所	

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 2. 配管(3/5)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NAI-2012/-2013/-2014	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(1.0力年)						備考	
									2016～2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度 第27保全サイクル	2023年度 第28保全サイクル	2024年度 第29保全サイクル	2025年度 第30保全サイクル	2026年度 第31保全サイクル	2027年度 第32保全サイクル
F1.21 F-A	支持構造物	R HRS-C SS連絡ライン	VT-3	7.5%	1 箇所	RH 1	VT-3	7.5% (1箇所)								
		燃料取替用水タンク補給用移送ライン	VT-3	7.5%	12 箇所	RH 7	VT-3	7.5% (1箇所)								
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	25 箇所	RH 24	VT-3	7.5% (2箇所)		1箇所	—	—	1箇所	—	—	
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	8 箇所	RH 7	VT-3	7.5% (1箇所)		—	—	—	—	—	—	1箇所
		可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	132 箇所	RH 128	VT-3	7.5% (10箇所)		—	—	1箇所	—	—	—	—
		1次系冷却水Cヘッダ戻りライン	VT-3	7.5%	23 箇所	RH 20	VT-3	7.5% (2箇所)		—	2箇所	—	1箇所	—	2箇所	—
		1次系冷却水ポンプ入口ライ	VT-3	7.5%	23 箇所	RH 19	VT-3	7.5% (2箇所)		—	1箇所	—	1箇所	—	1箇所	—
		1次系冷却水ポンプ出口ライ	VT-3	7.5%	25 箇所	RH 17	VT-3	7.5% (2箇所)		—	1箇所	—	—	—	—	—
		1次系冷却水クーラ入ロライ	VT-3	7.5%	17 箇所	RH 17	VT-3	7.5% (2箇所)		—	1箇所	—	—	—	—	—
		1次系冷却水クーラ入ロライ	VT-3	7.5%	17 箇所	RH 17	VT-3	7.5% (2箇所)		—	1箇所	—	—	—	—	—

## 2. 配管(4/5)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)						備考	
									2016~2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度 第27保全サイクル	2023年度 第28保全サイクル	2024年度 第29保全サイクル	2025年度 第30保全サイクル	2026年度 第31保全サイクル	
	支持構造物															
	格納容器循環冷却暖房ユニット 入口ライン	VT-3	7.5%	13箇所	RH13	VT-3	7.5% (1箇所)			—			—	—	—	※2
	格納容器循環冷却暖房ユニット 出口ライン	VT-3	7.5%	9箇所	RH9	VT-3	7.5% (1箇所)			—			—	—	—	※2
	格納容器循環空調装置 出口海水排水ライン	VT-3	7.5%	17箇所	RH17	VT-3	7.5% (2箇所)			—	1箇所		—	—	—	※2
	アニュラス循環排気ライン	VT-3	7.5%	44箇所	RH44	VT-3	7.5% (4箇所)			—	1箇所		—	—	—	※2
F1.21	F-A				RH16					—			—	—	—	1箇所
	タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管	VT-3	7.5%	39箇所	HS15	VT-3	7.5% (3箇所)			—			—	—	—	—
	補助給水ライン	VT-3	7.5%	10箇所	RH10	VT-3	7.5% (1箇所)			—			—	—	—	1箇所

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む  
 ※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む

2. 配管(5／5)

		維持規格 JSME S NA1-2012/-2013/-2014		検査方法		設備数		検査範囲		検査方法		設備数		検査範囲		2016～2020年度 第25保全 サイクル		2021年度 第26保全 サイクル		2022年度 第27保全 サイクル		2023年度 第28保全 サイクル		2024年度 第29保全 サイクル		2025年度 第30保全 サイクル		2026年度 第31保全 サイクル		2027年度 第32保全 サイクル		2028年度 第33保全 サイクル		2029年度 第34保全 サイクル		備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所																																			
	支持構造物																																				
F1.21	F-A	原子炉下部キャビティ 注水ライン	V T - 3	7.5%	VT-3 7.5% (4箇所)	42	RH 37	MS 1	AN 4	42	MS 1	AN 4	42	RH 37	MS 1	AN 4	42	RH 37	MS 1	AN 4	42	RH 37	MS 1	AN 4	42	RH 37	MS 1	AN 4	42	RH 37	MS 1	AN 4					

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

### 3. 1次系冷却水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014						
項目番号	カタゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5% ×4台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)

### 4. タービン動補助給水ポンプ

美浜発電所第3号機検査計画(10方年)						
項目番号	カタゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

5. 恒設代替(低)圧注水ポンプ

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10方年)										備考						
項目番号	カタゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016~2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
C6.10	C-G ケーシングの溶接継手	表面 代表1台 の7.5% 6箇所/ 1台	P T	代表1台の 7.5% (1箇所)	—	—	—	第26保全 サイクル	—	第27保全 サイクル	—	第28保全 サイクル	—	第29保全 サイクル	—	第30保全 サイクル	—	第31保全 サイクル
F1.43	F-A ポンプ台板脚	V T-3 代表1台 の7.5% 2箇所/ 1台	V T-3 代表1台 の7.5% 2箇所/ 1台	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

6. 原子炉下部キャビティ注水ポンプ

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10方年)										備考						
項目番号	カタゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016~2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
C6.10	C-G ケーシングの溶接継手	表面 代表1台 の7.5% 6箇所/ 1台	P T	代表1台の 7.5% (1箇所)	—	—	—	第26保全 サイクル	—	第27保全 サイクル	—	第28保全 サイクル	—	第29保全 サイクル	—	第30保全 サイクル	—	第31保全 サイクル
F1.43	F-A ポンプ台板脚	V T-3 代表1台 の7.5% 2箇所/ 1台	V T-3 代表1台 の7.5% 2箇所/ 1台	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

## 7. 兼

維持規格 JSME S NA1-2012./2013./2014

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(10力年)						備考				
							2016~2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
F1.43 F-A	支持構造物	原子炉下部キャビティ 注水ポンプ出ロライン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	代表1個 の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	GM 5.4 FD
		恒設代替低圧注水ポンプ 出口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	GM 5.4 FD
		主蒸気大気放出ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所× 3個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	—	—	1箇所	—	—	—	—	—	RA 3.6 R	
		格納容器隔壁治験房ユニット 入口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	—	—	1箇所	—	—	—	—	—	—	GM 3.2 S
		タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管(1)	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×2個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6-1 A 3.7 D ※1
		タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管(2)	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1.1.4 BM- 1.5 A ※1
		タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管(3)	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1.1.4 B- 1.5 A-L ※1
		原子炉下部キャビティ 注水ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	GM 5.4 FD ※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 8. 潜在的検査 (1/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		SA時使用圧力 (工認記載 値) [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画 (10力年)						備考	
		系統名・ライン名	体積制御タック出入口ライン				2016~ 2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
		化学体積制御系統					第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	第29保全 サイクル	第30保全 サイクル	第31保全 サイクル	
		体積制御タック出入口ライン	1.4	0.23			—	—	—	—	○	—	—	※
		A充てん／高压注入ポンプ入ロライン	1.4	0.23	18.8		—	—	—	—	—	—	—	○
		B充てん／高压注入ポンプ入ロライン	1.4	0.23	18.8		—	—	—	—	—	—	—	○
		C充てん／高压注入ポンプ入ロライン	1.4	0.23	18.8		—	—	—	—	—	—	—	○
		充てん／高压注入ポンプ出ロライン	18.8	17.5			—	—	—	—	○	—	—	※
		充てんライン	17.16 18.8	15.41			—	—	○	—	—	—	—	※
		充てん流量制御弁第2ハイパスライン	18.8	17.5			—	—	○	—	—	—	—	※
C7.10 C7.30 C7.70		充てん／高压注入ポンプ自己冷却ライン (充てん／高压注入ポンプ出口側) (その1)	18.8	17.5	V T - 2		—	—	—	—	○	—	—	※
		充てん／高压注入ポンプ自己冷却ライン (充てん／高压注入ポンプ出口側) (その2)	0.98	0.8			—	—	—	—	○	—	—	※
		充てん／高压注入ポンプ自己冷却ライン (充てん／高压注入ポンプ出口側) (その3)	0.98	0.98			—	—	—	—	○	—	—	
		充てん／高压注入ポンプ自己冷却ライン (充てん／高压注入ポンプ出口側) (その1)	0.98	0.8			—	—	—	—	○	—	—	※
		充てん／高压注入ポンプ自己冷却ライン (充てん／高压注入ポンプ出口側) (その2)	1.4	0.23			—	—	—	—	○	—	—	※
		充てん／高压注入ポンプ自己冷却ライン (充てん／高压注入ポンプ出口側) (その3)	0.98	0.98			—	—	—	—	○	—	—	
		充てん／高压注入ポンプ自己冷却ライン (充てん／高压注入ポンプ出口側) (その4)	1.4	1.4			—	—	—	—	○	—	—	

※SA時使用圧力での漏えい検査ができない範囲については、SA時使用圧力相当の強度評価を実施

## 8. 漏えい検査 (2/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		SA時使用圧力 (工認記載 値) [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画 (10力年)						備考		
		系統名・ライン名	SA時使用圧力 (工認記載 値) [MPa]			2016~ 2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
		化学体積制御系統				第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	第29保全 サイクル	第30保全 サイクル	第31保全 サイクル	—	—
		A:ほう酸タンクまわり	0	水張状態		—	○	—	—	—	—	—	—	—
		B:ほう酸タンクまわり	0	水張状態	VT-2	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		ほう酸ボンブ入ロライン	0.98	水張状態		—	○	—	—	—	—	—	—	—
		ほう酸ボンブ出ロライン	0.98	0.19		—	○	—	—	—	—	—	—	—
		安全注入系統												
C7.10	C-H	ほう酸注入タンクまわり	18.8	11.83		—	—	—	—	○	—	—	—	—
C7.30		A:キュムレータまわり	4.9	4.55		—	—	—	—	—	—	—	○	※1
C7.50		B:キュムレータまわり	4.9	4.55		—	—	—	—	—	—	—	○	※2
C7.70		C:キュムレータまわり	4.9	4.55		—	—	—	—	—	—	—	○	※1
		A:キュムレータ出ロライン	17.16	4.55	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	○	※2
		B:キュムレータ出ロライン	17.16	4.55		—	—	—	—	—	—	—	○	※2
		C:キュムレータ出ロライン	17.16	4.55		—	—	—	—	—	—	—	○	※2
		高压注入ライン (ループ低温側)	17.16	15.41		—	—	—	—	—	—	—	○	※2
		燃料取替用水タンクまわり	0	1.4	水張状態	4.1	—	○	—	—	—	—	○	※2

※1：一部気圧試験により検査  
 ※2：SA時使用圧力での漏えい検査ができない範囲については、SA時使用圧力相当の強度評価を実施

## 8. 漏えい検査 (3/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		SA時使用圧力 (工認記載 値) [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)						備考			
		系統名・ライン名					2016~ 2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	安全注入系統					第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	第29保全 サイクル	第30保全 サイクル	第31保全 サイクル			
		恒設代替低圧注水ポンプ及び 原子炉下部キャビティ注水ポンプ入口ライン		0 1.4 2.7	水張状態											
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン		2.7	2.7	V T - 2									- ○	※
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口ライン		2.7	2.7										- ○	○
		可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン		2.7	2.7										- ○	○
		余熱除去系統														
		A 余熱除去ポンプ入口ライン		4.1	2.75						○	-			-	※
		B 余熱除去ポンプ入口ライン		4.1	2.75					○	-			-	※	
		A 余熱除去ポンプ出口ライン		4.1 17.16	3.44	V T - 2				○	-			-	※	
		B 余熱除去ポンプ出口ライン		4.1 17.16	3.44				○	-			-	※		
		R H R S - C S S 連絡ライン		4.1	4.1				○	-			-			
格納容器圧力低減系統																
A 内部スプレポンプ入口ライン														-	※	
B 内部スプレポンプ入口ライン														-	※	
A 内部スプレポンプ出口ライン														-	※	

※SA時使用圧力での漏えい検査ができない範囲については、SA時使用圧力相当の強度評価を実施

## 8. 漏えい検査 (4/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		SA時使用圧力 (工認記載 値) [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)						備考			
		系統名・ライン名	SA時使用圧力 (工認記載 値) [MPa]			2016~ 2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	原子炉補機冷却水系統	格納容器圧力低減系統				第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	第29保全 サイクル	第30保全 サイクル	第31保全 サイクル	—	—	第31保全 サイクル
		B内部スプレボンブ出ロライン	2.1 2.7	2.01	VT-2		—	○	—	—	—	—	—	—	※
		1次系冷却水ポンブ入ロライン	0.34 0.98	210kPa			—			—	○	—	—	—	※
		1次系冷却水ポンブ出ロライン	0.33 0.98 1.2	0.8			—			—	○	—	—	—	※
		1次系冷却水ポンブCヘッダ供給ライン	1.2	0.8			—			—	○	—	—	—	※
		1次系冷却水ポンブCヘッダ戻しライン	0.98	210kPa			—			—	○	—	—	—	※
		1次系冷却水タンク窒素加压ライン (その1)	1.2	210kPa			—			—	○	—	—	—	※
		1次系冷却水タンク窒素加压ライン (その2)	0.98	210kPa			—			—	○	—	—	—	※
		格納容器循環空調装置出口海水排水ライン (その1)	0.98	0.98	VT-2		—		—	—	○	—	—	—	※
		格納容器循環空調装置出口海水排水ライン (その2)	1.2	210kPa			—			—	○	—	—	—	※
		充てん／高压注入ポンプ出口海水排水ライン (その1)	1.2	1.2			—			—	○	—	—	—	※
		充てん／高压注入ポンプ出口海水排水ライン (その2)	0	0			—			—	○	—	—	—	※
		余熱除去ポンプ出口海水排水ライン (その1)	0.7	0.7			—			—	○	—	—	—	※

※SA時使用圧力での漏えい検査ができない範囲については、SA時使用圧力相当の強度評価を実施

## 8. 漏えい検査 (5/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		SA時使用圧力 (工認記載 値) [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)						備考		
		系統名・ライン名				2016~ 2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
C7.10 C7.30 C7.70	原子炉補機冷却水系統	余熱除去ポンプ出口海水排水ライン(その2)	1.2	0.8	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	第28保全サイクル	第29保全サイクル	第30保全サイクル	第31保全サイクル	第30保全サイクル	第31保全サイクル	第31保全サイクル
		1次系冷却水系統への海水供給ライン(その1)	1.2	0.8	—	—	—	—	—	○	—	—	—	※
		1次系冷却水系統への海水供給ライン(その2)	1.2	1.2	—	—	—	—	—	○	—	—	—	※
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ接続ライ	0.33	0.33	VT-2	—	—	—	—	○	—	—	—	—
		格納容器素圧気ガスサンプリング冷却器まわり	0.33 1.2	0.33	—	—	—	—	—	○	—	—	—	※
		格納容器素圧気ガスサンプリング冷却器出口海水排水ライン	0	0	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—
		大容量ポンプ海水注入ライン(1次系冷却水系統→)(その1)	1.2	0.8	—	—	—	—	—	○	—	—	—	※
		大容量ポンプ海水注入ライン(1次系冷却水系統→)(その2)	1.2	1.2	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—
		海水系統												
		A、B海水ポンプ出口ライン	0.7 1.2	0.240	—	—	—	—	—	○	—	—	—	※
		C、D海水ポンプ出口ライン	0.7 1.2	0.240	VT-2	—	—	—	—	○	—	—	—	※
		大容量ポンプ海水注入ライン	1.2	1.2	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—

※SA時使用圧力での漏えい検査ができない範囲については、SA時使用圧力相当の強度評価を実施

## 8. 漏えい検査 (6/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		SA時使用圧力 (工認記載 値) [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法 2016~ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル	2024年度 第29保全 サイクル	2025年度 第30保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度 第31保全 サイクル	2029年度 第32保全 サイクル	備考
		系統名・ライン名														
		主蒸気系統														
		A 蒸気発生器主蒸気出口ライン	8.0	6.04									○	○	○	※
		B 蒸気発生器主蒸気出口ライン	8.0	6.04	VT-2								○	○	○	※
		C 蒸気発生器主蒸気出口ライン	8.0	6.04									○	○	○	※
		主給水系統														
		A 蒸気発生器主給水入口ライン	8.0	6.4									○	○	○	※
		B 蒸気発生器主給水入口ライン	8.0	6.4	VT-2								○	○	○	※
		C 蒸気発生器主給水入口ライン	8.0	6.4									○	○	○	※
		補助給水系統														
		復水タンク出口ライン	0	水張状態									○	○	○	
		A 電動補助給水ポンプ出ロライン	15.7	15.7									○	○	○	
		B 電動補助給水ポンプ出ロライン	15.7	15.7	VT-2								○	○	○	
		タービン動補助給水ポンプ出ロライン	1.6	1.6									○	○	○	
		タービン動補助給水ポンプ出ロライン	13.2	13.2									○	○	○	

※SA時使用圧力での漏えい検査ができない範囲については、SA時使用圧力相当の強度評価を実施

## 8. 漏えい検査 (7/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		SA時使用圧力 (工認記載 値) [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)						備考		
		系統名・ライン名	SA時使用圧力 (工認記載 値) [MPa]				2016~ 2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
		補助給水系統				第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	第28保全 サイクル	第29保全 サイクル	第30保全 サイクル	第31保全 サイクル	—	—	第31保全 サイクル
		補助給水ポンプ出口蒸気発生器給水ライン	8.6	8.6	V T - 2										
		復水タンク海水供給ライン	1.6	1.6											
		制御用空気系統													
		制御用空気Aヘッダライン	0.98	0.65											
		制御用空気Bヘッダライン	0.98	0.65	V T - 2										
C7.10	C-H	アニラス空気淨化系統ダンバ作動用窒素供給ライン	0.98	0.98											
C7.30		換気空調系統													
C7.50		Aアニラス循環ファンまわり	0.00245	0.00245											
C7.70		Bアニラス循環ファンまわり	0.00245	0.00245											
		制御建屋循環ファン入口ライン	-0.00147	-0.00147	V T - 2										
		制御建屋循環ファン出口ライン	0.00049	0.00049											
		制御建屋冷暖房ユニットまわり	-0.00049	-0.00049											
		制御建屋送気ファン入口ライン	-0.00147	-0.00147											

※SA時使用圧力での漏えい検査ができない範囲については、SA時使用圧力相当の強度評価を実施

## 8. 漏えい検査 (8/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		SA時使用圧力 (工認記載 値) [MPa]	検査方法 2016~ 2020年度 第25保全 サイクル	美浜発電所第3号機検査計画(10力年)						備考
		系統名・ライン名				2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル	2024年度 第29保全 サイクル	2025年度 第30保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	換気空調系統	制御建屋送気ファン出ロライン	0.00147	0.00147		—	—	—	—	—	—	○
		中央制御室非常用循環ファン入ロライン	-0.00049	-0.00049		—	—	—	—	—	—	○
		中央制御室非常用循環ファン出ロライン	0.00147	0.00147		—	—	—	—	—	—	○
		緊急時対策所非常用空気浄化ファン出ロライ ン	0.0038	0.0038	VT-2	—	—	—	—	—	—	○
		緊急時対策所空気供給装置接続ライン	0.98	0.98		—	—	—	—	—	—	○
		格納容器弊囲気ガスサンプリングライン (1)	0.305	0.305		—	—	—	—	—	—	○
		格納容器弊囲気ガスサンプリングライン (2)	0.305	0.305		—	—	—	—	—	—	○
		格納容器弊囲気ガスサンプリングライン (3)	0.7	0.7		—	—	—	—	—	—	○
		非常用電源系統										
		A非常用ディーゼル発電機起動用空気だめ	3.2	3.2	VT-2	—	—	—	—	—	—	○
		B非常用ディーゼル発電機起動用空気だめ	3.2	3.2		—	—	—	—	—	—	○

## 1. 原子炉容器 (1/2)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表（クラス1機器供用期間中検査範囲）

項目番号	維持規格	JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)			備考
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B1. 101 B-A	上部胴と中間胴との周溶接継手 中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%			
	中間胴の長手溶接継手	体積	100%			
B1. 102 B2. 111	下部胴の長手溶接継手 下部鏡板と下部鏡板との周溶接継手	体積	100%			
	下部鏡板と下部鏡板との周溶接継手	体積	100%			
B2. 121 B2. 122	下部鏡板の周溶接継手 下部鏡板の長手溶接継手	体積	100%			
	下部鏡板の長手溶接継手	体積	100%			
B2. 123 B3. 105 B-C	上部鏡板と上部鏡板との溶接継手 上部鏡板と上部鏡板との溶接継手	体積	100%			
	上部鏡板と上部鏡板との溶接継手	体積	100%			
B3. 106 B3. 10	冷却材入口管台と胴との溶接継手 冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%			
	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%			
B3. 10 B-D	冷却材出口管台内面の丸みの部分 冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%			
	冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%			

## 1. 原子炉容器(2/2)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年)		
項目番号	カタゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手 冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積 及び表面 体積 及び表面	1.0 0 % 1.0 0 %
B6.10		ナット	VT-1	1.0 0 %
B6.30		スナップボルト	体積	1.0 0 %
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	1.0 0 %
B6.50		上蓋用ワッシャ	VT-1	1.0 0 %
B7.10	B-G-2	T/Cハサジングのマークランプ用 ボルト、ナット	VT-1	2.5 %
B14.10	B-O	制御棒駆動ハウジングの溶接継手	体積 又は表面	最外周の 2.5 %
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 1.0 0 %
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	2.5 %
G1.10		原子炉容器の内部	VT-3	7. 5 %
G1.40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	7. 5 %
G1.40		構造物・取付け物	VT-3	7. 5 %
G1.50	G-P-2	炉心支持構造物	VT-3	7. 5 %

## 2. 加工器 (1/2)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014				備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴との周溶接継手	体積	5%
		下部鏡板と下部胴との周溶接継手	体積	5%
		上部胴の長手溶接継手	体積	10%
B2.12		下部胴の長手溶接継手	体積	10%
B2.13		上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%
		管台と容器との溶接継手		
	B3.30	安全弁用管台と容器との溶接継手		
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手	体積	管台数の 25%
		スフレ用管台と容器との溶接継手		
	B-D	セージ用管台と容器との溶接継手		
		管台内面の丸みの部分		
		安全弁用管台内面の丸みの部分		
	B3.40	逃がし弁用管台内面の丸みの部分	体積	管台数の 25%
		スフレ用管台内面の丸みの部分		
		セージ用管台内面の丸みの部分		
	B5.40	管台とサーフェンドとの溶接継手 (呼び径100A以上)		
		安全弁用管台とサーフェンドとの 溶接継手		
		逃がし弁用管台とサーフェンドとの 溶接継手	体積及び表面	管台数の 25%
	B-F	スフレ用管台とサーフェンドとの 溶接継手		
		セージ用管台とサーフェンドとの 溶接継手		

## 2. 加工器 (2/2)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
B7.20	B-G-2	マンホールの取付ボルト	VT-1	25%	
BS.20	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手 (支持スカートの溶接継手)	表面	7.5%	
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい、 試験時 100%	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	

## 3. 蒸気発生器 (1/1)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014				検査範囲	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B2.40	B-B	管台と水室隔壁板との溶接継手	体積	代表1基の 2.5%	
B3.60	B-D	冷却材入口管台及び出口管台の内面の丸 孔の部分	体積	代表1基の 2.5%	
B5.70	B-F	冷却材入口管台及び出口管台とセーフエ ンドとの溶接継手	体積 及び表面	代表1基の 2.5%	*
B7.30	B-g-2	1次側マンホールの取付ボルト	VT-1	代表1基の 2.5%	
B8.30	B-H	支持部材の容器とサボーへの溶接継手 (水室鏡とサボーへのバッドとの溶接継手)	表面	代表1基の 7.5%	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	補大(試験 時 1.00%)	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の 2.5%	

\*: 「供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性検査」も合わせて実施

## 4. 配管 (1/5)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
B9.11	B-J	配管の周溶接継手(呼び径100A以上)			
		主冷却材管	体積	25%	
		加圧器サーボジライン	体積	25%	
		アキュムレータ注入口ライン	体積	25%	
		余熱除去ポンプ入ロライン	体積	25%	
		加圧器安全弁ライン	体積	25%	
		低温側低圧注入ライン	体積	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		加圧器逃がしライン	体積	25%	
		配管の周溶接継手(呼び径100A未満)			
		主冷却材管	表面	25%	
B9.21		加圧器逃がしライン	表面	25%	
		充てんライン	表面	25%	
		低温側ほう酸注入ライン	表面	25%	

## 4. 配管 (2/5)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
B9.31		母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上) 主冷却材管			
		配管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)	体積	25%	
B9.32	B-J	主冷却材管 低温側低圧注入ライン	表面	25%	ク拉斯1機器供用期間中検査で管理
		シケット溶接継手	表面	25%	
B9.40		主冷却材管 低温側ほう酸注入ライン	表面	25%	
		耐圧部分への支持部材の取付溶接継手	表面	25%	
B10.20	B-K	加圧器サーナジライン 加圧器逃がしライン 充てんライン	表面	7.5%	
			表面	7.5%	
			表面	7.5%	

4. 配管 (3/5)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考	検査方法	検査範囲
B10.20	B-K	耐圧部分への支持部材の取付溶接継手 余熱除去ポンプ入口ライン アキュムレータ注入ライン	表面	7. 5%			
B15.50	B-P	圧力保持範囲	表面	7. 5%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	漏えい、試験時 100%	
F1.10	F-A	支持構造物 加圧器サージライン	VT-2 VT-3	2 5%			

## 4. 配管 (4/5)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
F1.10 F-A		支持構造物 充てんライン	VT-3	2.5%	クラス1機器供用期間中検査で管理
F1.10 F-A		加圧器逃がしライン	VT-3	2.5%	
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	2.5%	

## 4. 配管 (5/5)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
F1.10	F-A	支持構造物			
		アキュムレータ注入口ライン	VT-3	25%	
		低温側低圧注入ライン	VT-3	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		低温側ほう酸注入ライン	VT-3	25%	

## 5. ポンプ (1/1)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	備考	
B6.180		スタッドボルト	体積 代表1台の 25%		
B6.190 B-G-1	フランジ表面		VT-1 代表1台の 25%		
B6.200	ナット及びワッシャ		VT-1 代表1台の 25%		
B10.30 B-K	ポンプ支持部材取付溶接継手	表面	代表1台の 7.5%		
B12.10 B-L-1	ポンプケーシングの溶接継手	体積 又は表面	代表1台の 25%		
B12.20 B-L-2	ポンプケーシングの内表面	VT-3 代表1台の 10%			
B15.60 B-P	圧力保持範囲		VT-2 漏えい、 試験時 1.0%		
F1.41 F-A	支持構造物	VT-3 代表1台の 25%			

## 6. 弁 (1/2)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト、ナット	VT-1	代表1個の 2.5%
		加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1個の 2.5%
		加圧器逃がし弁ライン(1)	VT-1	代表1個の 2.5%
		加圧器逃がし弁ライン(2)	VT-1	代表1個の 2.5%
		低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1個の 2.5%
		充てんライン	VT-1	代表1個の 2.5%
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-1	代表1個の 2.5%
		アキュムレータ注入ライン	VT-1	代表1個の 2.5%

## 6. 弁 (2/2)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014				備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
B12.30	B-M-1	圧力保持用ボルト、ナット 低温側ほう酸注入ライン 高温側補助注入ライン	表面 表面	代表1個の 25% 代表1個の 25%
		弁本体の内表面		
B12.50	B-M-2	加圧器安全弁ライン 余熱除去ポンプ入口ライン アキュムレータ注入ライン 高温側低圧注入ライン 低温側低圧注入ライン	VT-3 VT-3 VT-3 VT-3 VT-3	同一ノズル7 で1個 で1個 で1個 で1個 で1個
B15.70	B-P	低温側低圧注入ライン 支持構造物 加圧器安全弁ライン 加圧器逃がし弁ライン (1) 加圧器逃がし弁ライン (2) 余熱除去ポンプ入口ライン 抽出ライン	VT-2 VT-3 VT-3 VT-3 VT-3 VT-3 VT-3	漏えい、 試験時 1.00%
F1.41	F-A			

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

## 1. 蒸気発生器

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査方法	
C1.10	C-A	中間胴と下部胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%		※1
		円錐胴と中間胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%		※1
	C-B	上部胴と円錐胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%		※1
C1.20	C-A	上部鏡と上部胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%		※1
		下部胴と管板の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%		※1
	C-B	給水入口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	1つの容器の7.5%		※1
C2.21	C-A	蒸気出口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	1つの容器の7.5%		※1
		蒸気出口管台内面の丸みの部分	体積	1つの容器の7.5%		※1
	C-B	給水入口管台内面の丸みの部分	体積	1つの容器の7.5%		※1
※1 : 非破壊検査免除の適用除外による追加						

## 2. 余熱除去クーラー

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側フランジとの周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%		
C2. 21	C-B	管側入口管台と管側鏡板との溶接継手 管側出口管台と管側鏡板との溶接継手	体積及び表面	7.5% 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	

## 3. 内部スプレーケーラー

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
C1.10	C-A	管側鏡板と管側フランジとの溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	※1
C2.21	C-B	出入口管台と管側胴(鏡板)との溶接継手	体積及び表面	1つの容器の7.5%	※1
C2.22	C-B	呼び径300mmを超える管台内面の丸みの部分	体積	1つの容器の7.5%	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 4. ほう酸注入タンク

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
C1.20	C-A	胴と鏡板との溶接継手	体積	7.5%	※1
C2.21	C-B	管台と胴(鏡板)との溶接継手	体積及び表面	7.5%	※1
C3.10	C-C	支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	※1
C4.10	C-D	ボルト及び植込みボルト	体積	7.5%	※1
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	7.5%	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 5. 配管 (1/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査方法	検査範囲	備考
C3 20 C-C	配管支持部材取付溶接継手	主給水ライン	表面	7.5%			※1
		主蒸気ライン	表面	7.5%			※1
		タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気管	表面	7.5%			※1
		内部スプレボンブ入ロライン	表面	7.5%			※1
		内部スプレボンブ出ロライン	表面	7.5%			※1
		内部スフレクーラ入ロライン	表面	7.5%			※1
		内部スフレクーラ出ロライン	表面	7.5%			※1
		格納容器再循環サンプ出口ライン(CS)	表面	7.5%			※1
		RHRS-CSS連絡ライン	表面	7.5%			※1
		恒設代替低圧注入ポンプ出ロライン	表面	7.5%			※1
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ出ロライン	表面	7.5%			※1
		ほう酸注入タンク出ロライン	表面	7.5%			※1

※1 : 非破壊検査免除の適用除外による追加

## 5. 配管 (2/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査方法	検査範囲	備考
C3.20 C-C		余熱除去クーラハイパスライン	表面	7.5%	ク拉斯2機器供用期間中検査で管理		※2
		高温側ループ注入ライン	表面	7.5%			
		低温側ループ注入ライン	表面	7.5%			
		丸くん／高压注入ポンプ入口ライ ン	表面	7.5%			
		丸くん／高压注入ポンプ出口ライ ン	表面	7.5%			
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%			
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%			
		余熱除去クーラ出口ライン	表面	7.5%			
		低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5%			
		燃料取替用水タンク 出口ライン(SIS)	表面	7.5%			
		格納容器再循環サンブ 戻りライン(RHRS)	表面	7.5%			

※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む

## 5. 配管 (3/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
C5.11 C-F		配管の周溶接箇所 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超)			※1
		主給水ライン	体積及び表面	7.5%	※1
		主蒸気ライン	体積及び表面	7.5%	※1
		主蒸気速がしライン	体積及び表面	7.5%	※1
		タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管	体積及び表面	7.5%	※1
		ほう酸注入タンクロライン	体積及び表面	7.5%	※1
		ほう酸注入タンク入口ライン(機器付き配管)	体積及び表面	7.5%	※1
		ほう酸注入タンク出ロライン	体積及び表面	7.5%	※1
		ほう酸注入タンク出ロライン(機器付き配管)	体積及び表面	7.5%	※1
		内部スプレボンブ入口ライン	体積及び表面	7.5%	※1

※1 : 非破壊検査免除による追加

## 5. 配管 (4/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10万年)		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲
C5.11	C-F	低温側ループ注入ライン	体積及び表面	7.5%
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は表面	7.5%
		格納容器再循環サンプ	体積又は表面	7.5%
		戻りライン (RRS)	体積又は表面	7.5%
		格納容器再循環サンプ	体積又は表面	7.5%
		出口ライン (CS)	体積又は表面	7.5%
		燃料取替用水タンク	体積又は表面	7.5%
		出口ライン (SIS)	体積又は表面	7.5%
		燃料取替用水タンク	体積又は表面	7.5%
		出口ライン (CSS)	体積又は表面	7.5%

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 5. 配管 (5/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
C5.12	C-F	配管の長手溶接端手 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超)			※1
		配管の周溶接端手 (呼び径50A以上100A以下、肉厚5mm 超)	体積 及び表面	7.5%	
C5.21	C-F	ほう酸注入タンク入口ライン ほう酸注入タンク出ロライン 低温側ほう酸注入ライン 充てん／高圧注入ポンプ出ロライ ン 充てん／高圧注入ポンプ出ロ バイパスライン C充てん／高圧注入ポンプ出ロライ ン～C充てん／高圧注入ポンプ入ロ 冷却水ライン接続ライン C充てん／高圧注入ポンプ出ロ冷却 水ライン～C充てん／高圧注入ポン プ入ロライン接続ライン	表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
		ほう酸注入タンク入口ライン ほう酸注入タンク出ロライン 低温側ほう酸注入ライン 充てん／高圧注入ポンプ出ロライ ン 充てん／高圧注入ポンプ出ロ バイパスライン C充てん／高圧注入ポンプ出ロライ ン～C充てん／高圧注入ポンプ入ロ 冷却水ライン接続ライン C充てん／高圧注入ポンプ出ロ冷却 水ライン～C充てん／高圧注入ポン プ入ロライン接続ライン	表面	7.5%	※1
		ほう酸注入タンク入口ライン ほう酸注入タンク出ロライン 低温側ほう酸注入ライン 充てん／高圧注入ポンプ出ロライ ン 充てん／高圧注入ポンプ出ロ バイパスライン C充てん／高圧注入ポンプ出ロライ ン～C充てん／高圧注入ポンプ入ロ 冷却水ライン接続ライン C充てん／高圧注入ポンプ出ロ冷却 水ライン～C充てん／高圧注入ポン プ入ロライン接続ライン	表面	7.5%	※1
		ほう酸注入タンク入口ライン ほう酸注入タンク出ロライン 低温側ほう酸注入ライン 充てん／高圧注入ポンプ出ロライ ン 充てん／高圧注入ポンプ出ロ バイパスライン C充てん／高圧注入ポンプ出ロライ ン～C充てん／高圧注入ポンプ入ロ 冷却水ライン接続ライン C充てん／高圧注入ポンプ出ロ冷却 水ライン～C充てん／高圧注入ポン プ入ロライン接続ライン	表面	7.5%	※1

※1：非破壊検査免余の適用除外による追加  
 ※2：非破壊検査免余の適用除外による追加を含む

## 5. 配管 (6/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014			美浜発電所第3号機検査計画(10万年)		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
C5.30	C-F	ソケット溶接継手			
		低温割はう酸注入ライン			
		配管の周溶接継手 (呼び径50Aを超える母管と管台及び 母管と枝管との溶接継手)	表面	7.5%	
C5.41	C-F	C丸ん／高压注入ポンプ出口冷却 水ライン～C丸ん／高压注入ポン プ入口ライン接続ライン	表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 5. 配管 (7/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査方法	検査範囲	備考
	支持構造物	主給水ライン	VT-3	7.5%			※1
		主蒸気ライン	VT-3	7.5%			※1
F1.21	F-A	内部スプレボンブ入口ライン	VT-3	7.5%			※1
		内部スプレボンブ出口ライン	VT-3	7.5%			※1
							※1 : 非破壊検査免除の適用除外による追加

## 5. 配管 (8/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
	支持構造物	内部スプレーカー入ロライン	VT-3	7.5%	※1
		内部スプレーカー出ロライン	VT-3	7.5%	※1
F1.21	F-A	ク拉斯2機器供用期間中検査で管理 RIRS-CSS連絡ライン	VT-3	7.5%	※1
		恒設代替低圧注水ポンプ出ロライ ン	VT-3	7.5%	※1
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ 出ロライン	VT-3	7.5%	※1

※1 : 非破壊検査免除の適用除外による追加

## 5. 配管 (9/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考		
	支持構造物	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気管	VT-3	7.5%	※1		
		ほう酸注入タンクスローライン	VT-3	7.5%	※1		
F1.21	F-A	ほう酸注入タンク出口ライン	VT-3	7.5%	※1		
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%			

※1 : 非破壊検査免除の適用除外による追加

## 5. 配管 (10/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考		
	支持構造物						
F1.21	F-A	余熱除去クーラ出口ライン	VT-3	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理		
		余熱除去クーラハイパスライン	VT-3	7.5%			

## 5. 配管 (1.1/1.3)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考		
	支持構造物	高温側ループ注入ライン	VT-3	7.5%			
		低温側ループ注入ライン	VT-3	7.5%			
F1.21	F-A	低温側ほう酸注入ライン	VT-3	7.5%			
		低温側ほう酸注入ライン	VT-3	7.5%			
		充てん／高压注入ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	※2		

※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む

## 5. 配管 (1.2/1.3)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考		
	支持構造物	充てん／高圧注入ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	※2		
		充てん／高圧注入ポンプ 出口バイパスライン	VT-3	7.5%	※1		
F1.21	F-A	ほう酸注入ライン	VT-3	7.5%	※1		
		C充てん／高圧注入ポンプ出ロ冷却 水ライン～C充てん／高圧注入ポン プ入口ライン接続ライン	VT-3	7.5%	※1		
		C充てん／高圧注入ポンプ出ロライ ン～C充てん／高圧注入ポンプ入口 冷却水ライン接続ライン	VT-3	7.5%	※1		

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む  
 ※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む

## 5. 配管 (13/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
	支持構造物				
		格納容器再循環サンプ 戻りライン (RIRS)	VT-3	7.5%	
F1.21	F-A				クラス2機器供用期間中検査で管理
		格納容器再循環サンプ 出口ライン (CSS)	VT-3	7.5%	※1
		燃料取替用水タンク 出口ライン (SIS)	VT-3	7.5%	
		燃料取替用水タンク 出口ライン (CS)	VT-3	7.5%	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 6. 充てん／／高压注入ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
C3.30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	※1
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%	※1
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	※1
F1.43	F-A	支持構造物ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 7. 余熱除去ボンブ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
F1.43	F-A	支持構造物ボンブ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%		

## 8. 内部スプレーボンブ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	クラス2 機器供用期間中検査で管理	※1
F1.43	F-A	支持構造物ボンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%		※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 9. 幷 (1/3)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10方年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
	支持構造物	主蒸気逃がしライン	VT-3	代表1個 の7.5%	※1
		タービン動捕助給水ポンプ 駆動蒸気管	VT-3	代表1個 の7.5%	※1
F1.43	F-A	内部スプレーケーラ出ロライン	VT-3	代表1個 の7.5%	※1
		RHRS-CSS連絡ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	※1
		燃料取替用水タンク 出口ライン(CSS)	VT-3	代表1個 の7.5%	※1
					※1 : 非破壊検査免除の適用除外による追加

## 9. 弁(2/3)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10万年)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査方法	検査範囲	備考
	支持構造物						※1
F1.43	F-A	充てん／高圧注入ポンプ 出口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	ク拉斯2機器供用期間中検査で管理		※2
		充てん／高圧注入ポンプ 出口ライン(1)	VT-3	代表1個 の7.5%			
		充てん／高圧注入ポンプ 出口ライン(2)	VT-3	代表1個 の7.5%			

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む

※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む

## 9. 幷 (3/3)

項目番号	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014			検査範囲 検査方法	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		
F1.43 F-A	支持構造物				
		格納容器再循環サンプ 戻りライン (RIRS)	VT-3 代表1個 の7.5%		
	余熱除去クーラー出口 ライン(1)				
		余熱除去クーラー出口 ライン(2)	VT-3 代表1個 の7.5%		
		余熱除去クーラー出口 ライン(3)	VT-3 代表1個 の7.5%		
		余熱除去クーラバパス ライン	VT-3 代表1個 の7.5%		
		低温側ほう酸注入ライン	VT-3 代表1個 の7.5%		
	クラス2機器供用期間中検査で管 理				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表（クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

項目番号	維持規格 JSME S NAI-2012./2013./2014			美浜発電所第3号機検査計画（7カ年）			備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲			
—	配管の円周方向溶接部	充てんライン	体積	25%	クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査で管理		
—	再生クーラ連絡管	充てんライン連絡管	体積	25%			

## 原子炉容器

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表（クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査範囲）

項目番号	カテゴリ	維持規格	JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
				検査箇所	検査方法	
—	—	600系Ni基合金製の底部	—	クラス1機器Ni基合金使用部位	BMV	特別検査で管理 100% (3.5年)

BMV：ペアメタル検査

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表（原子炉格納容器供用期間中検査範囲）

### 1. 原子炉格納容器

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(1.0カ年)			備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	原 子 炉 格 納 容 器 供 用 期 間 中 檢 査 で 管 理		
E8.10	E-G	機器搬入口用ボルト締付け部	VT-4	25%			

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画表

1. 漏えい検査 (1/7)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)													
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	S A時使用圧力 (MPa) (工場記載値)	検査方法*	2016~2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル	2024年度 第29保全 サイクル	2025年度 第30保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル	2027年度 第32保全 サイクル	2028年度 第33保全 サイクル	2029年度 第34保全 サイクル	備考
D2.10 D2.30 D・B	電源車内燃機関	—	VT-2	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	電源車(緊急時対策所用) 内燃機関	—	VT-2	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用) 内燃機関	—	VT-2	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	冷却水ポンプ(電源車)	—	VT-2	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	冷却水ポンプ(電源車(緊急時対策所用))	—	VT-2	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	冷却水ポンプ(電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	—	VT-2	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	燃料タンク(電源車)	大気圧	VT-2	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	燃料タンク(電源車(緊急時対策所用))	大気圧	VT-2	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	燃料タンク(電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	大気圧	VT-2	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	可搬式オイルポンプ	1.05	VT-2	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	
可搬式オイルポンプ入口ライン接続用10mホース		0.78	VT-2	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	
可搬式オイルポンプ出口ライン接続用75m、10mホース		1.0	VT-2	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	

\*SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。  
具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

## 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画表

## 1. 漏えい検査 (2/7)

		維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)											
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	S A時使用圧力 (MPa) (工器記載値)	検査方法*	2016~2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル	2024年度 第29保全 サイクル	2025年度 第30保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル	2027年度 第32保全 サイクル	2028年度 第33保全 サイクル	2029年度 第34保全 サイクル	備考
D2.10 D2.30	増圧装置空気だめ 窒素ボンベ (加圧器逃がし弁作動用)	1.0	VT-2	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
		窒素ボンベ (加圧器逃がし弁作動用 (A系) ) ~ホース先端	17.16/0.98	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
		窒素ボンベ (加圧器逃がし弁作動用 (B系) ) ~ホース先端	17.16/0.98	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
		加圧器逃がし弁作動用制御用空気ライン 窒素供給用13m (B系) 、10m (A系) フレキシブルホース	0.98	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
		可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用) 減圧装置行き3mフレキシブルホース	0.98	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
		減圧装置増圧装置空気だめ行き1.5mフレキシブルホース	0.98	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
		増圧装置空気だめ窒素ボンベ (加圧器逃がし弁作動用) 行き10m (A系) 、5m (B系) フレキシブルホース	0.98	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	

\*S A時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。  
具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

## 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画表

## 1. 漏えい検査 (3/7)

		維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014										美浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)									
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		S A時使用圧力 (MPa) (工場記載値)	検査方法*	2016~2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル	2024年度 第29保全 サイクル	2025年度 第30保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル	2027年度 第32保全 サイクル	2028年度 第33保全 サイクル	2029年度 第34保全 サイクル	備考					
D2.10 D2.30	送水車	機器名	1.6	VT-2												○					
	大量ポンプ (放水砲用)		1.2	VT-2												○					
	大量ポンプ (放水砲用) 取水用20mホース		0.25	VT-2												○					
	大量ポンプ (放水砲用) 送水用50m、20m、10m、5mホース		1.2	VT-2												○					
	放水砲		1.2	VT-2												○					
	送水車吸水用10mホース		0.2	VT-2												○					
	送水車吸水用5mホース		0.2	VT-2												○					
	送水車送水用10m、5mホース		1.6	VT-2												○					
	送水車送水用50m、10m、6m、2mホース		1.6	VT-2												○					
	可搬式代替低圧注水ポンプ		1.7	VT-2												○					
D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ出 口接続口		1.7	VT-2												○					
	可搬式代替低圧注水ポンプ (法兰シジネス付、法兰シジネス付)		1.7	VT-2												○					
	大量ポンプ		1.2	VT-2												○					

\*S A時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。  
具体的な実施方法により3サイト統一する計画である。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画表

1. 漏えい検査 (4/7)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所 第3号機 検査計画 (10万年)										
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	S A時使用圧力 (MPa) (工器記載値)	検査方法**	2016~ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル	2024年度 第29保全 サイクル	2025年度 第30保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル	備考
D2.10 D2.30	機器名	大容量ポンプ取水用20mホース	0.25	VT-2	—	—	—	—	○	—	—	
	大容量ポンプ送水用50m、20m、10m、5mホース	1.2	VT-2	—	—	—	—	○	—	—	—	
	タンクローリー	0.024	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	○	
	タンクローリー給油ライン接続用10mホース(燃料油貯蔵タンク用)	0.78	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	○	
	タンクローリー給油ライン接続用30mホース	1	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	○	
	屋外燃料油取出ライン用短管接続口(上流側)～屋外燃料油取出ライン用短管接続口(下流側)	0.6	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	○	
	軽油用ドラム缶	大気圧	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	○	
	送水車燃料タンク	大気圧	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	○	
	大容量ポンプ燃料タンク	大気圧	VT-2	—	—	—	—	○	—	—	○	
	大容量ポンプ(放水施用)燃料タンク	大気圧	VT-2	—	—	—	—	○	—	—	○	

※S A時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。  
具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画表

1. 漏えい検査 (5/7)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)												
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 機器名	S A時使用圧力 (MPa) (工場記載値)	検査方法※ 2020年度 第25保全 サイクル	2016~ 2021年度 第25保全 サイクル	2022年度 第26保全 サイクル	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度 第29保全 サイクル	2026年度 第30保全 サイクル	2027年度 第31保全 サイクル	2028年度 第31保全 サイクル	2029年度 第31保全 サイクル	備考
D2.10 D2.30	D-B	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	0.33	VT-2							○	-		
		窒素ボンベ (1次系冷却水タンク加圧用)	14.7	VT-2							-	○		
		窒素ボンベ (1次系冷却水タンク加圧用) ~1次系冷却水タンク加圧用マニホールド接続用座(上流側)	17.16/0.98	VT-2							-	○		
		1次系冷却水タンク窒素供給用3.5mフレキシブルホース	0.98	VT-2							-	○		
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ吸水用10mフレキシブルホース	0.33	VT-2							○	-		
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ送水用10mフレキシブルホース	0.33	VT-2							○	-		
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ送水用10mフレキシブルホース	0.33	VT-2							○	-		
		格納容器界隈ガスサンプリング冷却水屋外排水用50mフレキシブルホース	0	VT-2							○	-		
		窒素ボンベ (ニューラス循環系ダンバ作動用)	14.7	VT-2							-	○		
		窒素ボンベ (ニューラス循環系ダンバ作動用) ~ホース先端	17.16/0.98	VT-2							-	○		
※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第55条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。 具体的な実施方法については、今後の成立性確認などに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。														

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画表

1. 漏えい検査 (6/7)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014

項目番号	カテゴリ	機器名	検査の対象箇所	S A時使用圧力 (MPa) (工器記載値)	検査方法** 2020年度 サイクル	美浜発電所 第3号機 検査計画 (10万年)						
						2016~ 2020年度 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル	2024年度 第29保全 サイクル	2025年度 第30保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル
		可搬型格納容器内水素濃度計測装置出口側接続用8mフレキシブルホース		0.98	VT-2		-	-	-	O	-	
		空気供給装置		19.6	VT-2	○ 1カード ル	○ 6カード ル	○ 6カード ル	-	-	-	
D2.10	D-B	仮設ダクト(緊急時対策所非常用空気淨化ファン～緊急時対策所非常用空気淨化フィルタユニット)		0.0038	VT-2		-	-	-	-	-	O
D2.30		仮設ダクト(緊急時対策所非常用空気淨化フィルタユニット～緊急時対策所接続口)		0.0038	VT-2		-	-	-	-	-	O
		マニホールド(空気供給装置用)		19.6/0.98	VT-2		-	-	-	-	-	O
		ホース(空気供給装置用)		1	VT-2		-	-	-	-	-	O

※S A時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。  
具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画表

1. 漏えい検査 (7/7)

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)													
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	S A時使用圧力 (MPa) (工器記載値)	検査方法※ 2020年度 第25保全 サイクル	2016~ 2020年度 第26保全 サイクル	2021年度 第27保全 サイクル	2022年度 第28保全 サイクル	2023年度 第29保全 サイクル	2024年度 第30保全 サイクル	2025年度 第29保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル	2027年度 第31保全 サイクル	2028年度 第31保全 サイクル	2029年度 第31保全 サイクル	備考
D2.10	D-B	送水車送水用20mホース	1.6	VT-2		—	—	—	—	—	—	—	○		
D2.30		スフレイヘッダ	1.6	VT-2		—	—	—	—	—	—	—	○		

※S A時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。  
具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

## クラス1配管特別検査計画

		維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014							美浜発電所 第3号機 検査計画※1							
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数※2	検査方法	検査範囲	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		備考
								第26保全サイクル	第27保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	
-	配管の耐圧部分の溶接継手	加圧器サーボライン	体積	100%	1	UT	1箇所/ 保全サイクル	1箇所	—	1箇所	—	1箇所	—	1箇所	—	第28保全 サイクル
			体積	100%	1	UT	1箇所/ 保全サイクル	1箇所	—	1箇所	—	1箇所	—	1箇所	—	
		加圧器逃がしライン	体積	100%	3	UT	3箇所/ 保全サイクル	3箇所	—	3箇所	—	3箇所	—	3箇所	—	
			体積	100%	5	UT	5箇所/ 保全サイクル	5箇所	—	5箇所	—	5箇所	—	5箇所	—	
		加圧器スプレーライン	体積	100%	4	UT	4箇所/ 保全サイクル	4箇所	—	4箇所	—	4箇所	—	4箇所	—	
			体積	100%	2	UT	2箇所/ 保全サイクル	2箇所	—	2箇所	—	2箇所	—	2箇所	—	
		低温側ほう酸注入ライン	体積	100%	2	UT	2箇所/ 保全サイクル	2箇所	—	2箇所	—	2箇所	—	2箇所	—	
			体積	100%	3	UT	3箇所/ 保全サイクル	3箇所	—	3箇所	—	3箇所	—	3箇所	—	
		余熱除去ポンプ入ロライン	体積	100%	3	UT	3箇所/ 保全サイクル	3箇所	—	3箇所	—	3箇所	—	3箇所	—	

※1：事業本部指示文書「大飯3号機 加圧器スプレーライン配管溶接部における有意な欠陥指示の原因調査結果を踏まえた個別検査について」(原保計第58号)に従い、3定期に亘って検査を実施する。

※2：試験カテゴリB-J、項目番号B9.1.1の溶接継手のうち、「運転温度200°C以上」、「応力改善の実施の有無」、「全層TIG溶接の適用の有無」、「過大な溶接入熱の可能性の有無」及び「形状による影響」の条件により抽出される箇所